

# 学生便覧

2023年度



群馬パース大学  
Gunma Paz University

# 事務室・各センター窓口

## 校舎案内

- 1号館  
看護学科・理学療法学科・  
作業療法学科・言語聴覚学科・  
図書館棟



- 2号館 検査技術学科棟



## アクセスマップ

- 3号館 体育棟



- 4号館



放射線学科・  
臨床工学科棟

- 5号館



学生支援センター・  
健康管理センター・  
国際交流センター・  
地域連携センター・  
看護実践教育センター・  
学生専用マンション

## 事務室

事務室及び各センターは下表のとおり配置しています。事務室は1号館と4号館にあります。1・2号館の学生は1号館の事務室を、4号館の学生は4号館の事務室を主に利用してください。

5号館の学生支援センターでは学生生活全般のサービスを行っています。目的に応じた窓口を利用してください。

### 【事務室・各センター窓口取扱業務】

棟	課・センター名等	業務内容
1号館（2階） 4号館（2階）	事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>履修登録、授業、欠席、試験、成績その他履修に関すること</li> <li>証明書や学生証等の発行に関すること</li> <li>学内ロッカー、学内プリンター、駐輪場等の施設設備に関すること</li> </ul>
5号館（1階）	学生支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>奨学金、学生保険に関すること</li> <li>課外活動（学友会活動の補助含む）に関すること</li> <li>就職に関すること（キャリア支援室）</li> <li>学生相談に関すること（学生相談室）</li> <li>障害学生の支援に関すること</li> <li>学生専用マンションに関すること</li> <li>推奨 PC の修理、学内無線 LAN に関すること</li> </ul>
	健康管理センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断、予防接種、抗体検査等、健康管理に関すること</li> </ul>
	国際交流センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流に関すること</li> </ul>

窓口取扱時間 月曜日～金曜日 8：30～13：00 14：00～18：00 ※ただし大学で授業がある日のみ（それ以外は別途掲示します）

窓口休業日 原則、学則上の休業日（第11条）とします。

# 2023 年度 学生便覧 目次

この『学生便覧』は、みなさんが学生生活を送る上で、指針となる事柄をまとめたものです。内容は、「群馬パース大学の概要」、「学生生活の手引き」、「履修の手引き」で構成されています。

学生生活を送るなかで不明な点が生じた場合は、まず『学生便覧』で確認するよう心がけてください。

<b>I 大学の概要</b>	<b>1</b>
1. 建学の精神	2
2. 大学の目的	2
3. 教育研究上の目的・養成する人材像	3
4. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	5
5. カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）	7
6. 沿 革	10
<b>II 学生生活の手引き</b>	<b>12</b>
1. 学 籍	13
2. 学籍異動	14
3. 学納金	15
4. 学生生活の心得	16
5. 各棟の開館時間	17
6. 各種手続き	18
7. 健康管理	21
8. 奨学金	22
9. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険制度	23
10. 各施設の利用	24
11. 通 学	30
12. ノートPCの利用・インターネットの利用	32
13. 学内プリンターの利用	33
14. 課外活動	34
15. 防災・災害対策	36
16. 注意事項等	36
<b>III 履修の手引き</b>	<b>41</b>
1. 履 修	42
2. 開設授業科目	42
3. 履修登録	72
4. 授 業	75
5. 試 験	76
6. 単位認定	78
7. 成績通知	79
8. 進 級	79
9. 卒 業	80
10. 学 位	80
11. 資 格	81
12. 臨地・臨床実習科目	84
13. 留年者の履修	87
<b>IV 学則</b>	<b>89</b>
<b>V 校舎案内</b>	<b>113</b>

## 群馬パース大学における個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報保護に関する法律、その他関係法令・ガイドラインを遵守し、「学校法人群馬パース大学 個人情報保護に関する規程」に基づき、学生、保証人、卒業生、入学予定者（以下、「学生等」という。）から取得した個人情報を適正に取り扱います。

### <利用目的>

学生等の個人情報は、以下の目的の範囲内で、業務遂行上必要な限りにおいて利用します。

- 入学志願者に対する選抜試験運営、入学手続き、学生募集・広報活動（ホームページ、SNS、パンフレット等の本学公式広報媒体への写真や著作物の掲載を含む）
- 学籍管理、学籍異動（休学、復学、退学、除籍等）管理、履修・成績管理、単位認定、進級・卒業判定、学位授与
- 臨地・臨床実習に係る健康診断結果、感染症に関する検査結果、ワクチン接種記録の取得・利用
- 学生証発行、各種証明書発行、ネットワーク利用アカウント発行
- 奨学金事務、学納金管理
- 進学・就職支援業務
- 施設・備品等利用管理
- 学生生活相談、健康管理、保健指導、課外活動支援
- 成績通知、学籍異動通知、学修相談、学納金等納入通知、大学行事案内等の保証人への送付
- 同窓会、学生支援後援会との連携
- 大学評価に必要な情報
- 教育・研究・FD・SD・IRのための各種統計業務
- その他、本学の管理・運営業務上必要とするもの

### <個人情報の管理>

本学は、個人情報の不正利用、漏えい、破損、紛失、改ざん等がないよう厳重に管理します。

### <外部委託>

本学は、個人情報の取り扱いを含む業務の一部を外部の事業者へ委託することがあります。その際、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結することを義務付けています。

## 保証人の役割について

- 保証人は、学納金等の納入について、学生と連帯してその債務※の責任を負います。
- 保証人は、学生が学籍異動（休学、復学、退学等）を願い出る際に、同意の上、本学所定用紙に連署します。
- 保証人は、学生が故意又は重大な過失により、大学に損害を与えたときは、学生と連帯してその損害を賠償する責任を負います。
- 保証人は、緊急時や、病気等やむを得ない事情等により学生本人と連絡がつかない場合、大学からの連絡に対応します。
- 保証人は、保証人の住所、氏名等に変更が生じた際、速やかに本学所定用紙により届出ます。

※債務の極度額（年度あたりの上限度）は、入学する学部の定める各年次の学納金及び諸費用の合計金額とします。

# 大学の概要

## I

1. 建学の精神
2. 大学の目的
3. 教育研究上の目的・養成する人材像
4. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）
5. カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）
6. 沿革



# I 大学の概要

## 1. 建学の精神

*Paz* は平和を意味するポルトガル語、パース (*Paz*) に由来します。

同時に *Paz* にはこの3文字を頭文字とする *Pessoa* (個性)、*Assistencia* (互助)、*Zelo* (熱意) の意味が与えられています。

### *Paz* (平和) 平和で公正な社会の発展

<i>Pessoa</i> (個性)	個人の尊厳と自己実現、
<i>Assistencia</i> (互助)	多様な人々の共存と協調、
<i>Zelo</i> (熱意)	知の創造、
	への貢献

## 2. 大学の目的

豊かな教養と人間愛を備えた質の高い保健医療専門職を育成し、保健・医療・福祉サービスとの協働及び知の創造を通じて、国際社会、地域社会に貢献することを目的とします。



## 3. 教育研究上の目的・養成する人材像

### 看護学部

建学の精神である「平和で公正な社会の発展」を目指し、豊かな教養と人間愛、看護職としての知識と技術、柔軟な適応力を備え、保健・医療・福祉サービスの中で看護の役割を果たし、広く社会に貢献していける人材を養成することを目指します。そのため、看護の対象を全人的に捉え、科学的根拠に基づいた看護を実践する能力、社会の変化や環境に柔軟に適応し、医療チームの中で協調して看護の役割を果たす能力を習得させ、あわせて看護職としての感性や倫理観、社会の平和と発展に貢献していこうとする姿勢を育てることを教育研究上の目的としています。

### 看護学科

人の尊厳を尊重できる豊かな人間性と高い見識をもち、看護の対象を全人的に捉え、様々な人々と調和し連携しながら、科学的根拠に基づく判断と適切な技術を用いて看護を実践でき、さらには、地域社会や国際社会にも関心を向け、看護学をとおして社会の平和と発展に貢献していくことを目指し、生涯にわたって自己研鑽し続けることができる人材を養成することを目指します。そのため、看護の対象とその健康課題を適切に捉え、科学的根拠に基づいた看護を実践できる能力、チーム医療の中で多職種と連携し、リーダーシップを発揮できる能力、社会の変化や地域の特性を踏まえ、多様な人や環境に積極的かつ柔軟に対応できる能力を習得させること、また、看護職に相応しい感性、倫理観、教養、及び看護職として対象に寄り添い、役割を果たし、社会に貢献していこうとする姿勢を育てることを教育研究上の目的としています。

### リハビリテーション学部

リハビリテーション学部では、建学の精神である「平和で公正な社会の発展」を目指す豊かな教養と人間愛、そして情熱に基づいた人間性の涵養を基盤とし、地域の医療・福祉と生活上の困難を抱える障害を持った人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設において、多職種と連携し共同してその責務を果たすことができる知識・技術と実践能力を備えたリハビリテーション専門職者を養成することを目的としています。

そのため、教育研究上の目的は、対象者の生活の質の向上と社会参加を目指すために、対象者の自分らしく生きようとする主体性を尊重し、対象者が必要とする機能の回復・代償あるいは残存能力の強化を最適に図ることができること、そして、地域社会を含めた生活環境づくりに医療専門職として参加し、十分に支援できることを目指します。

### 理学療法学科

いかなる障害を持つ人に対しても、人としての尊厳と権利を認識できる真摯で柔軟な心を持ち、身体に障害を持つ対象者が自分らしく活動し、社会へ参加するという目的のために、多様で最新の理学療法の知識と技術を求め、それらを駆使して、運動や動作能力の向上を図ることができる人材養成を目指します。

急性期から回復期、維持期リハビリテーションにおいて活躍できるように、基本となる理学療法の知識と技術を幅広く学習し、多職種連携の中で実践し貢献できる能力を培うことを目指します。さらに、リハビリテーション分野にとどまらず、健康維持・増進に貢献できる力を養うことを教育目的としています。

### 作業療法学科

年齢の差異や障害の程度に関わらず、対象者が自分らしく人生を送るよう支援する作業療法を学び、仕事・生産的活動・遊び、余暇活動、日常生活活動からなる作業を求める人間を多側面から理解し、多様な臨床現場や地域社会で求められる分野において、作業療法の専門性と知識を生かして柔軟に活躍できる人材養成を目指します。



対象者や家族、他職種との適切な対人関係を作るコミュニケーション能力、協調性を基盤とした多職種連携を図ることのできる能力、求められる問題の解決に向けて問いを立て続ける意識、複雑な人間行動を理解するために論理的に思考する科学的視点と対象者の個別で多様な生活を洞察する力、作業療法の発展と社会に貢献する活動や研究に参加しようとする能力を培うことを教育目的としています。

## 言語聴覚学科

高いコミュニケーション能力を有し、他者や地域に貢献する意識、新たな課題や未知の課題を創造的に解決しようとする意欲、さらに専門知識・技術を生涯にわたって学習し続ける倫理観を有する人材養成を目指します。

言語聴覚士の役割の理解に基づき、人が地域で生活する視点に立ち、高次脳機能障害・言語発達障害・運動系障害及び聴覚系障害を持つ対象者のコミュニケーション能力の評価はもとより、活動、地域・社会参加の生活機能を多面的に支援でき、また、その方法の開発に関わろうとする姿勢を培うことを教育目的としています。

## 医療技術学部

医療技術に裏付けられた医学的知識と専門技術にかかわる知識、技術力を養い、高度な医療人として、個人の尊厳と倫理を尊重する人間性の醸成を基盤とし、社会が求める医療技術を国際社会、地域社会と協働して実践できる、熱意を持ち自ら学ぶ人材を養成することを目的としています。

## 検査技術学科

生命の尊厳を理解し、思いやりの心を持つとともに高い倫理観を備え、臨床検査分野において健康や医療に関する専門知識と最新技術を学び、科学的根拠に基づく適切な判断ができ、臓器移植、遺伝子治療及び不妊治療分野などの生命科学や検査技術学分野に貢献できる人材で、実践的な診療支援ができる質の高い臨床検査技師 (Clinical Laboratory Scientist) の人材養成を目指します。

医療の現場では様々な要素が要因・背景となって生じる課題や問題は千差万別であり、それらの状況に的確・柔軟に対応するため、実践的な高度な知識と技術を習得し、科学的根拠に基づく適切な判断能力と問題解決能力を培うことを教育目的としています。

## 放射線学科

様々な疾病で苦しむ人々に対して、尊厳と人間愛をもって、診療画像検査、放射線治療の過程をとおして、病気の発見・治療を目指す高度医療技術をもった人材養成を目指します。

また、放射線による障害や防護、安全管理をとおして、画像生成と解析に関する知識、放射線と物理、生物、化学との相互作用による医療技術に関する知識を深め、問題解決能力を有し、高度なデータ・サイエンスと連携した臨床応用技術を自ら実践できる臨床力を養うことを目的としています。

## 臨床工学科

生命の尊厳を自覚し、畏敬の念を持つとともに豊かな人間性と高い倫理観を備え、医学・工学に関する専門知識と技術を学び、論理的思考・高い洞察力と的確な判断力をもって医療機器の操作及び保守管理を行うことができ、チーム医療の一員として医療に貢献できる質の高い臨床工学技士の人材養成を目指します。

高度化・複雑化する医療技術に対応するため、医工学に関する基本的知識・技術を修得し、医療分野におけるさまざまな課題に対して、国際的視野を兼ね備えた広い視野で物事を捉え、問題意識と探求心、問題解決能力を培うことを教育目的としています。



## 4. ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

### 看護学部看護学科 ディプロマ・ポリシー

大学の目的のもとに定められた教育課程にそって研鑽に努め、卒業に必要な単位を修得し、以下の要件を満たすと認められた者に学位を授与します。

- ・社会人の基盤となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を備え、看護職としての態度を身につけている。
- ・看護の対象を身体的・心理的・社会的側面からとらえることができる。
- ・対象の健康課題を適切にとらえ、科学的根拠(知識・技術)に基づいた看護が実践できる。
- ・チーム医療の中で多職種と協調し、調整することができ、リーダーシップを発揮できる。
- ・生涯にわたって専門分野を探究し、その発展に貢献する意欲と姿勢を身につけている。
- ・社会の変化や地域の特性をふまえ、多様な人や環境に積極的かつ柔軟に対応できる。
- ・世界で生じている保健医療の問題に関心をもち、看護職の役割を考えることができる。

### リハビリテーション学部 ディプロマ・ポリシー

リハビリテーション学部の教育目的に基づき、学生が卒業時に身につけるべき知識や能力を次のように定めています。これらを身につけたことを卒業要件とし、学位を授与します。

- ・倫理観を持って障害の有無にかかわらず、人間の個性と尊厳を尊重する姿勢
- ・人間や社会に関する幅広い教養に根差し、リハビリテーションを取り巻く諸問題を認識できる能力
- ・リハビリテーションにおける専門領域に必要な基本的知識と技術
- ・多様化する地域社会の諸問題を理解し、多職種と連携してリハビリテーションを実践できる能力
- ・自己研鑽に励み、人格的成長を目指す姿勢

### 理学療法学科 ディプロマ・ポリシー

理学療法学科では、倫理観をもって人間の個性と尊厳を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時まで身につけている知識や能力を次のように定めています。

- ・理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養
- ・理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術
- ・地域に根差したリハビリテーションの必要性和多職種連携による問題解決の重要性の理解
- ・自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力

### 作業療法学科 ディプロマ・ポリシー

作業療法学科では、倫理観をもって人間の個性と尊厳を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時まで身につけている知識や能力を次のように定めています。

- ・心身の障害の有無によらず、家族、多職種との適切な対人関係を作るコミュニケーション能力と協調性
- ・複雑な人間行動を理解するために論理的に思考する科学的視点と対象者の個別で多様な生活を洞察する能力
- ・求められる問題の解決に向けて、問いを立て続ける能力
- ・作業療法学の発展と社会に貢献する活動や研究に主体的に従事しようとする姿勢

### 言語聴覚学科 ディプロマ・ポリシー

言語聴覚学科では、倫理観をもって人間の個性と尊厳を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時まで身につけている知識や能力を次のように定めています。

- ・QOLの向上を支援するための言語聴覚療法学に必要な基本的知識・技術

- ・リハビリテーションに関わる多職種、家族、地域住民とのコミュニケーション能力と協調性
- ・新たな課題、未知の課題に取り組み解決しようとする姿勢
- ・人間の個性と尊厳を尊重し、言語聴覚療法に必要な知識と技術を生涯にわたり学習しようとする倫理観

### 医療技術学部 ディプロマ・ポリシー

医療技術学部の教育目的に基づき、学生が卒業時に身につけるべき知識や能力を次のように定めています。これらを身につけたことを卒業要件とし、学位を授与します。

- ・人権を尊重し、高い倫理観をもって社会に貢献する姿勢
- ・チーム医療を実践するための、コミュニケーション能力と協調性
- ・医療技術専門職としての基礎的知識と技術、及び社会人としての教養
- ・医療技術分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる能力
- ・生涯にわたって専門分野を探究し、その発展に貢献する意欲と姿勢

### 検査技術学科 ディプロマ・ポリシー

検査技術学科では、倫理観をもって人間の個性と尊厳を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時に身につけている知識や能力を次のように定めています。

- ・臨床検査で求められる基本的知識及び技術を修得し、これを実践の場で活用することができる能力
- ・コミュニケーション能力を生かしチーム医療へ貢献する能力
- ・検査技術学に関する課題等の発見とその解決に向け、科学的根拠に基づいた思考や適切な判断をする能力
- ・幅広い教養と医療専門知識を身につけ、多様な価値観の認識と異文化を理解し、グローバル社会に適応できる能力

### 放射線学科 ディプロマ・ポリシー

放射線学科では、科学的応用技術をとおして、対象である尊厳と人間愛を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時に身につけている知識や能力を次のように定めています。

- ・先進・高度化する専門分野の基本的技術を実践できる問題解決型臨床医療技術力
- ・医療技術専門職としての基礎的知識と医療人としての教養と協調性をもつ医療コミュニケーション力
- ・多様な情報を適切に分析し、放射線の管理、防護、制御技術をとおして、医療安全に寄与する実践力や研究能力
- ・人と社会に関心を持ち、自らの医療技術力を応用し、様々な分野で貢献する活動力

### 臨床工学科 ディプロマ・ポリシー

臨床工学科では、倫理観をもって人間の個性と尊厳を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時に身につけている知識や能力を次のように定めています。

- ・医工学分野の基本的知識及び展開される医療分野に対応できるスキルを身につけ、実践に活かす能力
- ・チーム医療の一員として多職種と連携し、全人的医療の実践及び医療安全の確保に貢献できる能力
- ・思考力・洞察力・判断力を身につけ、医療分野における諸課題について国際的知識水準を背景に解決する能力
- ・異なる文化を理解・尊重し、国際的視野を持って考察できる能力

## 5. カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

### 看護学部看護学科 カリキュラム・ポリシー

看護学部看護学科は、ディプロマポリシーを実現するために、教育課程を以下のように編成します。

- ・大学初年次教育を充実させ、在学中の成長を学生・教員が共に確認しあうために、修学ポートフォリオを活用します。
- ・豊かな感性と倫理観、幅広い教養を身に付けるために、思想・表現・環境・情報に関連する科目を教養科目群に配置します。
- ・看護の対象となる人間を理解するために、発達や生活及び社会に関連する科目を教養科目群に配置します。
- ・看護学を理解する上で基盤となる知識を獲得するために、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度などに関連する科目を専門基礎科目群に配置します。
- ・専門科目群は看護学の概要を理解し、具体的な看護の方法を段階的に学べるよう科目を配置します。授業は講義・演習・実習を有機的に連動させて展開します。
- ・授業では、能動的学習を充実させ、自ら考え、解決する力を養うために、多様なアクティブ・ラーニングの方法を積極的に取り入れます。
- ・実習は、看護実践能力を身に付けるために、多様な場を活用して、入学後早期から段階的に実施します。
- ・チーム医療に対する理解を深めるために、多職種の連携・協働を学ぶ科目を配置します。
- ・看護に対する関心や意欲を高め、更に探求できるための科目を適切な時期に配置します。
- ・助産師または保健師の国家資格取得希望者には、各国家試験受験に必要な科目を選択できるように配置します。
- ・人の多様性を理解し、国際的視野を広げるために、コミュニケーション、外国語、国際看護および看護の各専門領域における国際的な課題について学ぶ科目を初年次より段階的に配置します。

### リハビリテーション学部 カリキュラム・ポリシー

リハビリテーション学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、その専門性に応じ、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。特に、多職種連携の基礎となる科目と、国際生活機能分類（ICF）の概念に基づくリハビリテーションに対応できるよう授業科目を工夫しています。

- ・豊かな教養、コミュニケーション能力の育成、人工知能や情報社会に対応する能力、人間を多側面から理解するために、『人と社会及び自然の理解』と『情報と言語の理解』に区分した教養科目を配置しています。
- ・『大学の学びの基盤』として、学び方入門、専門への導入、多職種理解と連携の科目を配置しています。
- ・人間の運動や行動を解剖学、生理学、運動学、心理学、発達学的観点から分析・考察でき、リハビリテーション専門職として必要な医学的知識を学ぶための科目を配置しています。
- ・リハビリテーションにおける専門領域に必要な基本的知識と技術を身につけるため、各学科に『評価学』『治療学』『支援学』の該当科目を配置しています。
- ・保健医療チームとして、連携・協働を図りながら、社会参加、健康増進、障害予防の見方ができるように、「チーム医療とリハビリテーション」、「地域リハビリテーション学」を配置しています。
- ・学内で学んだ知識と実践との経験を統合できる機会として、対象者との人間関係の構築、施設内外における多職種連携の構築を経験し、将来の人間像を形成する場として、『臨床実習』を配置しています。
- ・専門職として基盤となる科学的思考や自己研鑽力を身につけるため、研究の基礎につながる科目を配置しています。

### 理学療法学科 カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

- ・幅広い教養と、専門に必要な物理学などの自然科学の科目、大学での学び方を1年次で学びます。
- ・理学療法に必要な基礎医学と臨床医学などの専門基礎科目及び語学を1年次から2年次にかけて学ぶように配置しています。
- ・理学療法の専門科目は、全学年で学べるように、評価学及び総論を1・2年次に、疾患別理学療法、及び分野別の理学療法を2・3年次に、臨床実習を順次内容が豊かになる形で3・4年次に配置しています。
- ・自らの問題意識をもち、科学的手続きをもって解明していく機会として「理学療法研究論」、「事例研究法」、及び「卒業研究」を3・4

年次で学べるように配置しています。

## 作業療法学科 カリキュラム・ポリシー

作業療法学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。教養科目、専門基礎科目で修得した知識や技術を基に、専門科目でさらにそれを拡大していく編成としています。

- ・幅広い教養を修得するため、教養科目群、共通基盤科目群を中心に学びつつ、医療専門職としての意識を高めるための専門基礎科目群に加え、「作業療法概論」、「基礎作業学」といった専門科目を必修科目として1年次から配置しています。
- ・基礎医学系及び臨床医学系の専門基礎科目を学び、作業療法の専門科目として『作業療法評価学』、『作業療法治療学』区分の科目を学ぶことで具体的な作業療法の知識の輪郭が理解できるよう段階的に配置しています。なお、後期の「見学実習」によって実践的な知識への導入を図ります。
- ・作業療法の専門科目の学びから、より実践的に考えられるよう「作業療法理論」、「作業療法リーズニング」、「日常生活活動学」を深く学びます。また、「作業療法基礎実習Ⅰ」、「作業療法基礎実習Ⅱ」、「総合臨地実習Ⅰ」、「総合臨地実習Ⅱ」でこれまでの学習効果が確認できる配置とします。
- ・論理的な思考、問題解決能力を高めるために、「作業療法学研究法演習」、「事例研究法」、「卒業研究」を3・4年次で学ぶことができるよう配置します。

## 言語聴覚学科 カリキュラム・ポリシー

言語聴覚学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

- ・大学で学ぶことの意味と学習の姿勢、地域への貢献、研究の姿勢、並びにコミュニケーション・スキルの向上、その他の言語聴覚士の役割について、教養科目、専門基礎科目、1年次の専門科目で学びます。
- ・人間の尊厳並びに権利と障害、国際生活機能分類（ICF）の理解、個性の基盤である生活と地域・社会参加をそれが展開される地域そのものについて、1年次から2年次にかけて専門基礎科目、専門科目により理解を深めます。
- ・言語聴覚機能の評価、機能回復訓練、機能回復の限界と障害を持ちながら地域・社会に参加するための支援並びに街づくりの実践について、2・3年次の専門科目に地域参加系科目を配置して学習します。
- ・臨床実習は、学んだ知識を確認し、問題解決能力、創造力、実践力、応用力が育つよう1年次から4年次に配置します。

## 医療技術学部 カリキュラム・ポリシー

医療技術学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、検査技術学科、放射線学科、臨床工学科のそれぞれの専門性に応じてカリキュラムを編成しています。その教育課程は、教養科目群・共通基盤科目群、専門基礎科目群、専門科目群から構成されています。

- ・教養科目群は社会人としての教養、問題解決能力、コミュニケーション能力を身につけるため、「人と社会及び自然の理解」の科目群と「情報と言語の理解」の科目群に大別された広範な科目を3学科共通科目として配置しています。
- ・共通基盤科目群は、「大学の学びの基盤」として、大学の学び入門、大学の学び—専門への誘い—、多職種理解と連携の科目を3学科共通必須科目として配置しています。
- ・専門基礎科目群は、医療技術専門職を養成する3学科それぞれに展開される専門領域の理論、技能の習得のための学術的基盤となる科目を配置しています。
- ・専門科目群は各学科の専門領域とそれに関連する理論、技能を学ぶ科目を配置し、さらに高い実践力を獲得するため、臨地実習の科目を配置しています。

## 検査技術学科 カリキュラム・ポリシー

検査技術学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

- ・幅広い教養を修得するため、教養科目群、専門基礎科目群を中心に学びつつ、医療技術専門職としての意識を高めるための専門基礎科目群に加え、検査技術の概要を学ぶ専門科目を必修科目として1年次から配置しています。
- ・多様な疾病、病態に沿った臨床検査を理解する上で必要となる知識と技術を修得するため、専門科目群の必修科目を2年次から多く配置しています。

- ・専門的知識、実践的検査技術を系統的に修得できるよう体系づけ、専門科目群の学内実習の必修科目を3年次に多く配置しています。
- ・実践的な高度な知識と技術を修得するための「臨地実習」と将来の医学・医療の発展に貢献できる評価能力及び研究能力を養うための「卒業研究」を4年次に配置しています。

## 放射線学科 カリキュラム・ポリシー

放射線学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

- ・自然科学の基礎、医学系科目や医療技術専門職としての医療コミュニケーションスキルを学ぶための専門基礎科目、大学の学び方を1年次で配置しています。
- ・放射線学の基礎に関連する物理学、計測学、解剖学、診療放射線技師として必要な知識・技術・態度の基盤を形成する科学力を習得する科目を2年次に配置しています。
- ・診療放射線技師の臨床実践での高度な思考と基本的技術を学ぶ科目は、3年次を中心にして、講義、演習、学内実習として配置しています。
- ・専門分野の発展に寄与する科学的思考や倫理観を獲得するための診療放射線学研究は3—4年次を中心に、診療放射線技師としての知識、技術、態度を統合して臨床実践を学ぶ臨床実習は4年次に配置しています。

## 臨床工学科 カリキュラム・ポリシー

臨床工学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

- ・幅広い知識と教養の修得、豊かな人間性を身につけるための教養科目群と共通基盤科目群に加え、医療技術専門職として必要な医学・工学の基礎知識を修得するための専門基礎科目群を中心に学ぶとともに、臨床工学の概要を学ぶ専門科目を必修科目として1年次に配置しています。
- ・医療者としての基盤を形成するため、生命の尊厳及び倫理観への認識を深めるための教養科目群の「生命倫理」に加え、臨床工学に必要な臨床医学と理工学の基礎知識を修得する専門基礎科目群と、両者を有機的に統合して医療機器に応用するための知識・技術を修得するための専門科目群を中心に必修科目として2年次に配置しています。
- ・生体医工学の理論・知識・技術を統合させ、医療技術の提供に必要となる実践的な知識と技術を修得するための専門科目（講義・学内実習）と、チーム医療の一員としての臨床工学技士の責任と役割の理解を深め、医療者としての自覚を身につけるための専門基礎科目「チーム医療概論」を3年次、専門科目「臨床実習」を4年次に配置しています。
- ・修得した知識と技術を整理し、連携させることにより総合的な理解を深め、医療分野における問題の発見と創造的な研究を行う能力、問題解決能力を修得する「卒業研究」を4年次に配置しています。



## 6. 沿革

1994年	8月 1日	群馬パース看護短期大学の設立準備室発足
	12月 13日	高山村村議会に群馬パース看護短期大学の事業計画の説明
1995年	4月 11日	大蔵省、文部省に準備財団群馬パース看護短期大学の指定寄附申請
1996年	6月 13日	文部省より財団法人群馬パース看護短期大学設立準備財団の認可を受ける
	7月 22日	大蔵省より指定寄附の認可を受ける
	9月 27日	文部省へ群馬パース看護短期大学設置認可申請
	9月 30日	文部省へ学校法人群馬パース学園寄附行為認可申請
1997年	12月 19日	文部省から大学設置認可、寄附行為認可を受ける
1998年	4月 7日	看護学科第1回入学式
2000年	9月 28日	文部省へ地域看護学専攻科の保健師養成学校指定申請
	12月 21日	文部省から地域看護学専攻科の認可を受ける
2001年	3月 4日	看護学科第1回卒業証書授与式 群馬パース看護短期大学の3周年記念式典
	4月 8日	地域看護学専攻科第1回入学式
	4月 26日	文部科学省へ理学療法学科設置認可申請・寄附行為変更認可申請
	12月 20日	文部科学省から理学療法学科の設置認可を受ける
2002年	3月 2日	地域看護学専攻科第1回修了証書授与式
	4月 1日	大学名を「群馬パース学園短期大学」に変更
	4月 6日	理学療法学科第1回入学式
2003年	9月 13日	高崎キャンパス竣工
2004年	4月 1日	高崎キャンパス・高山キャンパス間の遠隔講義開始
	4月 28日	文部科学省へ群馬パース大学設置認可申請・寄附行為変更認可申請
	11月 30日	文部科学省から群馬パース大学保健科学部の設置認可を受ける
	12月 22日	群馬パース大学設立記念式典
2005年	3月 17日	理学療法学科第1回卒業証書授与式
	4月 6日	群馬パース大学第1回入学式
2006年	4月 1日	文部科学省から学校法人ほたか会（ほたか保健福祉専門学校）の吸収合併認可を受ける
2008年	5月 28日	文部科学省へ群馬パース大学大学院設置認可申請
	5月 30日	文部科学省へ群馬パース大学大学院寄附行為変更認可申請
	10月 31日	文部科学省から群馬パース大学大学院設置認可を受ける
	11月 29日	群馬パース大学大学院開学記念式典
2009年	3月 11日	群馬パース大学第1回学位記授与式
	4月 8日	群馬パース大学大学院第1回入学式
2010年	2月 1日	1号館【看護学科・理学療法学科・図書館棟】竣工
2011年	3月 9日	群馬パース大学大学院第1回学位記授与式
	10月 5日～7日	大学機関別認証評価実地調査
2012年	3月 26日	大学機関別認証評価、認定（財）日本高等教育評価機構
	3月 30日	文部科学省へ群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可申請
	4月 26日	文部科学省へ検査技術学科設置届出
	5月 25日	文部科学省へ助産師学校指定申請
	6月 21日	文部科学省から群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可を受ける

	6月25日	文部科学省に検査技術学科設置届出が受理される
	8月31日	文部科学省から助産師学校の指定を受ける
2013年	2月28日	2号館【検査技術学科棟】竣工
	4月10日	検査技術学科第1回入学式
	10月2日	3号館【体育棟】竣工
2016年	3月31日	文部科学省へ群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可申請
	4月27日	文部科学省へ放射線学科設置届出
	4月27日	文部科学省へ臨床工学科設置届出
	5月25日	文部科学省へ診療放射線技師学校指定申請
	6月30日	文部科学省から群馬パース大学収容定員増加に係る学則変更認可を受ける
		文部科学省に放射線学科設置届出が受理される
		文部科学省に臨床工学科設置届出が受理される
	8月31日	文部科学省から診療放射線技師学校の指定を受ける
2017年	3月3日	4号館【放射線学科・臨床工学科棟】竣工
	3月8日	検査技術学科第1回学位記授与式
	3月31日	文部科学省へ群馬パース大学大学院保健科学研究科保健科学専攻課程変更認可申請
	4月7日	放射線学科・臨床工学科第1回入学式
	8月29日	文部科学省から群馬パース大学大学院保健科学研究科保健科学専攻課程変更認可を受ける
	12月20日	文部科学省へ群馬パース大学大学院収容定員の増加に係る学則変更届出
2018年	2月24日	群馬パース大学大学院博士後期課程開設記念式典
	10月3日～7日	大学機関別認証評価実地調査
	10月29日	日本看護協会から認定看護師教育機関(摂食・嚥下障害看護)の認定を受ける
2019年	3月5日	大学機関別認証評価、認定(公財)日本高等教育評価機構
	7月6日	認定看護師教育課程(摂食・嚥下障害看護)第1回開講式
2020年	1月25日	認定看護師教育課程(摂食・嚥下障害看護)第1回修了式
	3月25日	文部科学省へ群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可申請
	4月27日	文部科学省へリハビリテーション学部設置届出
	7月21日	文部科学省へ理学療法士学校、作業療法士学校、言語聴覚士学校指定申請
	9月1日	5号館【学生支援センター・学生専用マンション】竣工
	10月2日	文部科学省から群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可を受ける
		文部科学省にリハビリテーション学部設置届出が受理される
	10月30日	文部科学省からリハビリテーション学部理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科が 理学療法士学校、作業療法士学校、言語聴覚士学校の指定を受ける
2021年	1月30日	1号館 ANNEX(別館)竣工
	3月12日	放射線学科・臨床工学科第1回卒業証書・学位記授与式 群馬パース大学大学院博士後期課程第1回学位記授与式
	4月1日	学校法人群馬パース学園から学校法人群馬パース大学へ法人名変更
	4月7日	リハビリテーション学部理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科第1回入学式
	4月26日	文部科学省へ看護学部設置届出
	5月31日	文部科学省へ看護師学校、保健師学校、助産師学校指定申請
	6月28日	文部科学省に看護学部設置届出が受理される
	9月17日	文部科学省から看護学部看護学科が看護師学校、保健師学校、助産師学校の指定を受ける
2022年	4月1日	保健科学部(検査技術学科・放射線学科・臨床工学科)が医療技術学部へ名称変更
	4月7日	看護学部看護学科第1回入学式



# 学生生活の手引き

## Ⅱ

1. 学籍
2. 学籍異動
3. 学納金
4. 学生生活の心得
5. 各棟の開館時間
6. 各種手続き
7. 健康管理
8. 奨学金
9. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険制度
10. 各施設の利用
11. 通学
12. ノート PC の利用・インターネットの利用
13. 学内プリンターの利用
14. 課外活動
15. 防災・災害対策
16. 注意事項等

# II 学生生活の手引き

## 1. 学籍

### 学籍

入学と同時に本学学生として学籍が決定します。学生の身分はこの学籍により保障されますので、身辺に関する変更事項等は速やかに事務室に届け出てください。学籍は所定期日までに学納金を納入することにより年度ごとに継続できます。また、休学を除く期間を在学期間といい、最長8年まで在学することができます。定められた期日までに学納金を納入しない場合は学則に基づき除籍となり、学生の身分を失うことになります。

### 学籍番号

学籍番号とは、学部・学科・学年ごとに付与された個人番号のことです。教科に関すること、学生生活に関すること、その他事務手続きを円滑にするために学籍番号が決定されます。すべての提出物、届出、申請等には、氏名の他に学籍番号の記入が必要となります（卒業後の証明書交付にも必要）。

【学籍番号の構成（学籍番号 230101 の場合）】

23  
入学年度

01  
学部・学科

01  
個人番号

01: 看護学部 看護学科  
11: リハビリテーション学部 理学療法学科  
12: リハビリテーション学部 作業療法学科  
13: リハビリテーション学部 言語聴覚学科  
21: 医療技術学部 検査技術学科  
22: 医療技術学部 放射線学科  
23: 医療技術学部 臨床工学科

### 学生証

学生証は本学の学生であることを証明するものです。学生証は入学時に交付され、有効期間は在学中とします。卒業、退学、除籍の際には必ず返却してください。特に、次の場合は学生証が必要となります。

- ① 各棟に入館するとき
- ② 図書館等の施設を利用するとき
- ③ 証明書自動発行機を利用するとき
- ④ 学内プリンターを利用するとき
- ⑤ 定期試験、追・再試験を受験するとき
- ⑥ 通学定期券を購入するとき
- ⑦ 本人確認が必要な書類や、各種証明書、遺失物（忘れ物・落とし物）を事務室で受け取るとき

#### (1) 学生証 (IC 機能付)

##### ○学生証の機能

本学の学生証は非接触型 IC 機能を有しています。各棟の入館（17 ページ参照）、1 号館図書館入口のゲート開閉、証明書自動発行機や学内プリンターを利用する際に使用します。

##### ○IC 機能付学生証の注意点

精巧な電子機器なので強い磁気を発する物（スマートフォン等の電子機器）には近づけないでください。また、強い力をかけたり、折り曲げたりしないでください。ズボンのポケットに入れたまま座ると、変形・破損する恐れがあります。

**(2) ネームホルダー（吊下げ）の着用**

学内では学生証を入れたネームホルダーを常時着用してください（学内でネームホルダーをつけていない学生は、不審者とみなされます）。この取り組みは防犯対策の一環として、自分たちの身を守るために行っています。各自が防犯意識を持ってネームホルダーを着用してください。

**(3) 学生証の再交付**

紛失その他の理由で学生証の再交付を受ける場合は、「**学生証再交付願**」（証明書自動発行機で発行）を事務室に提出してください。なお、再交付の手続き後、取り消しはできません。学生証の盗難・紛失の場合は悪用されることがありますので、最寄りの交番または警察署へ届け出てください。また、留年等により学生証の有効期限が切れる場合においても、学生証の再交付を受けてください。

**(4) 記載事項の変更**

改姓その他の理由で学生証の記載事項を変更する場合は、変更手続き（以下、「**身上に関する変更**」）を参照して学生証の再交付を受けてください。

**(5) 仮学生証**

教務課が公示した定期試験や追・再試験等において、学生証の提示が義務付けられています。学生証が無いと各試験を受けられません。学生証の盗難・紛失・破損等やむを得ない場合、証明書自動発行機にて試験当日限り有効の仮学生証を交付します。

**身上に関する変更**

在学中に身上に関する変更が生じたときは、速やかに手続きをとってください。

**(1) 本人の住所・電話番号等の変更**

Active Academy Advance（74 ページ参照）の「プロフィール変更」にて該当項目を変更してください。誤った内容の入力や、必要な情報の削除をしてしまうと、大学からの大切な連絡等が届かない場合があります。常に最新の情報が正しく登録されているようにしてください。

**(2) 本人の氏名の変更**

氏名を変更したときは「**改姓改名届**」（様式第 1-3 号）に戸籍抄本（写）を添付して事務室に提出してください。

**(3) 保証人に関する変更**

保証人を変更する場合や、保証人の住所が変更となった場合には、「**保証人変更届**」（様式第 1-2 号）を事務室に提出してください。なお、住所を変更する場合には、変更後の住所が確認できる書類の添付が必要となります（市町村合併による住所変更の場合を除く）。

**2. 学籍異動****休学**

病気その他やむを得ない理由のため、3ヶ月以上修学することが困難なときは、その理由を証明する書類（病気の場合は医師の診断書）を添えて、「**休学願**」（様式第 3-2 号）を学年担任またはチューターを経て事務室に提出し、学長の許可を得れば休学することができます。休学の期間は半年間または1年間とし、休学開始の時期は学年の始めまたは学期の始めとします。なお、特別な理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることがあります。休学手続きの期限は、当該年度後期より休学を希望する場合は9月20日、翌年度前期より休学を希望する場合は3月31日までとします（土日祝の場合はその前の事務室開室日）。なお、休学期間中は、在籍料として50,000円（半期分）徴収します。

## 復学

休学期間が満了したとき、または休学期間中にその理由が消滅して復学しようとするときは、復学する1ヶ月前までにあらかじめ事務室へ「復学願」(様式第3-3号)\*を提出し、学長の許可を得なければなりません。※病気による休学の場合は診断書を添付

## 退学

病気その他やむを得ない理由のため退学しようとするときは、その理由を証明する書類(病気の場合は医師の診断書)を添えて、「退学願」(様式第3-4号)を学年担任またはチューターを経て事務室に提出し、学長の許可を得なければなりません。退学手続きの期限は、前期末の退学を希望する場合は9月20日、後期末の退学を希望する場合は3月31日までとします(土日祝の場合はその前の事務室開室日)。なお、退学の場合、該当期分の授業料は返還できません。

## 除籍

授業料または在籍料を納入しない場合や、長期にわたり行方不明の場合など、学則に定める事項に該当する場合は除籍となります。

# 3. 学納金

## 学納金 内訳

### 2023年度入学生

看護学部・医療技術学部				リハビリテーション学部			
		初年次	2～4年次			初年次	2～4年次
入学金		250,000円	—	入学金		250,000円	—
授業料等*	前期	750,000円	各800,000円	授業料等*	前期	750,000円	各750,000円
	後期	750,000円	各800,000円		後期	750,000円	各750,000円

### ※「授業料等」に含まれるもの

- 学内実験・実習費
- 施設設備費

### ※「授業料等」に含まれない費用

- 教科書、実習ユニフォーム、実習器具など授業に係る費用
- 新入生研修費
- 臨地・臨床実習に係る費用(抗体検査、予防接種、宿泊交通費など)
- 看護学科の保健師課程履修料(50,000円)、助産師課程履修料(200,000円)

## 学納金 納入期限

○ 前期分…4月末日 ○ 後期分…10月末日(土日祝の場合は繰上げます)

※大学に届出された学納金納入者へ振込依頼書を郵送します(前期:4月1日、後期:10月1日付発送)。なお、納入者の住所が変更になった場合は、速やかに所定の手続きにより届け出てください。

※期日までに入金の確認ができない場合には、再請求の案内を行います(督促手数料5,000円/回)。授業料または在籍料の納入を怠り、催促してもなお納入しない場合には、学則に基づき除籍の対象となります。

## 学納金 納入方法

以下のいずれかの方法により納入してください。

○ 金融機関窓口 ○ ATM ○ ネットバンキング

## 休学期間中の納入金

在籍料として 50,000 円 (半期分) を徴収します。納入方法は、15 ページ記載のとおりです。

※納入期限 ○前期分…4 月末日 ○後期分…10 月末日 (土日祝の場合は繰上げます)

※大学に届出された学納金納入者へ振込依頼書を郵送します (前期: 4 月 1 日、後期: 10 月 1 日付発送)。なお、納入者の住所が変更になった場合は、速やかに所定の手続きにより届け出てください。

※期日までに入金の確認ができない場合には、再請求の案内を行います (督促手数料 5,000 円/回)。在籍料の納入を怠り、催促してもなお納入しない場合には、学則に基づき除籍の対象となります。

## 4. 学生生活の心得

### 大学から学生への連絡

大学 (教職員) から学生への告示・通達、各種の連絡事項等は、掲示板への掲示によって行います。掲示板は学生と大学 (教職員) を結ぶ重要な伝達手段です。一旦掲示した事項は学生に周知されたものとみなし、学生がこれを見なかったことによる不利益について、大学は一切の責任を負いかねます。登下校時は必ず掲示を確認するように心がけてください。なお、掲示期間は原則として 1 週間です。また特に緊急を要するもの (天候不良による休講等) や特に重要な事項、学生の緊急呼び出しについては、Active Academy Advance (74 ページ参照) から情報伝達を行います。

《学内掲示板設置場所》

- 1 号館 2 階事務室前……………看護学科・理学療法学科
- 1 号館 ANNEX (別館) 2 階 ……言語聴覚学科
- 1 号館 ANNEX (別館) 3 階 ……作業療法学科
- 2 号館 3 階連絡ブリッジ前……………検査技術学科
- 4 号館 2 階事務室前……………放射線学科・臨床工学科

### 所持品の管理

学内での紛失や盗難等の防止のため、所持品には必ず氏名を記入してください。また、講義室等に私物を置き忘れることのないよう、各自責任をもって所持品の管理を行ってください。なお、学内で遺失物・拾得物及び盗難があったときは、速やかに事務室へ届け出てください。事務室に届けられた遺失物 (忘れ物・落とし物) は、持ち主が現れない場合各学期末に処分します。

### 喫煙の禁止

本学は「群馬県禁煙施設認定制度」で定められている「禁煙認定施設」であり、敷地内はすべて禁煙です。喫煙の事実が確認され、教職員から度重なる注意を受けても改善しない場合、懲戒処分 (退学・停学等) の対象となる場合があります。なお、キャンパス近隣での路上喫煙や、民間駐車場での喫煙も禁止とします。保健医療専門職を目指す立場として健康管理を自覚し、かつ堅持してください。

### キャンパスの美化

学内で飲食をした後のゴミは、必ずごみ箱へ捨ててください。また、講義室や学生ホール、ロッカー室にゴミや私物を放置することのないよう心がけてください。みなさん一人ひとりの心がけでキャンパスを美しく保つことができます。お互いに気持ちよく過ごせるクリーンキャンパスにしていきましょう。

### 省エネ対策

省エネルギー対策の取り組みとして、クールビズ・ウォームビズを実施しており、エアコン設定温度を夏は 28℃、冬は 20℃を目標としています。「寒いときには着る、暑いときには脱ぐ」「過度に冷暖房器具に頼らない」など、各自で工夫をお願いします。なお、夏場のエアコンについては、同じ講義室内でも場所や個人の体感によって暑い、寒いが生じてしまいます。各自羽織るものを一枚用意しておくといいでしょう。

## スマートフォン・携帯電話の使用

スマートフォン・携帯電話による通話、メール、ウェブ、ゲームなど授業中の使用は禁止です。学生として、利用者としてスマートフォン・携帯電話の使用マナーは必ず守ってください。なお、学内のコンセントを使用してのスマートフォン・携帯電話等の充電は禁止です。

## 飲食

飲食をする際は、講義室（大講義室を除く）、1号館1階の学生ホール、体育棟2階のホール（休憩スペース）、4号館1階のブックカフェを利用してください。実験・実習室、演習室、ゼミ室、共有スペース、大講義室は飲食禁止です。

## 学生生活実態・満足度調査

学生生活実態・満足度調査は、学生の学修・生活などの環境について調査し、改善点や問題点を明確にして、より快適な生活環境の実現を目指すために全学生を対象に毎年1回実施しています。調査結果は基礎資料として活用し、学生支援のあり方について具体的に検討を重ね改革を進めます。この調査はみなさんが思っていることを伝える有効な手段のため、積極的に協力してください。調査方法、調査時期は別途お知らせします。

## 5. 各棟の開館時間

各棟の開錠・施錠時間は以下のとおりです。自動ドアは定刻になると自動的に施錠しますので、施錠時間までに必ず退出してください。なお、開錠及び施錠時間に変更がある場合は事前に周知します。

	フロア	開館時間	
		平日	土曜日
1号館 【看護学科・理学療法学科・ 作業療法学科・言語聴覚学科・図書館棟】	1階自動ドア <sup>*1</sup>	8:00～22:00	Closed
	2階自動ドア	8:00～22:00	Closed
	ANNEX（別館）自動ドア <sup>*1</sup>	8:00～22:00	Closed
2号館 【検査技術学科棟】	1階自動ドア <sup>*1</sup>	8:00～22:00	Closed
	3階1・2号館 連絡ブリッジ自動ドア	8:00～22:00	Closed
3号館 <sup>*2</sup> 【体育棟】	1階自動ドア <sup>*1</sup>	8:00～22:00	8:00～22:00
4号館 【放射線学科・臨床工学科棟】	1階自動ドア	8:00～19:00	Closed
	1階エレベーター ホール自動ドア <sup>*1</sup>	8:00～22:00	Closed
	2階自動ドア	8:00～22:00	Closed
5号館 【学生支援センター・健康管理 センター・国際交流センター】	1階自動ドア（中ドア） <sup>*1</sup>	8:30～18:00	Closed
	2階自動ドア <sup>*3</sup>	8:00～22:00	Closed

日曜、祝日、長期休業期間、年末年始は全館終日閉館です。

※1 入館の際は、学生証を自動ドアのカードリーダーにかざしてください。

※2 申請により閉館時でも利用が可能となる場合があります。

※3 説明会等の行事があるときのみ開放する場合があります。

## 6. 各種手続き

(★…証明書自動発行機から即時発行可能な証明書)

種類 (様式番号)	こんなとき	提出書類・期日等	発行料	手続き場所	掲載ページ
<b>【1】身上に関するもの</b>					
保証人変更届(1-2)	保証人の変更、住所変更のとき	【添付書類】変更箇所を証明する書類 例)住民票写し、公共料金支払通知等	—	1・4号館	14
改姓改名届(1-3)	婚姻等により氏名が変更したとき	【添付書類】戸籍抄本写し等	—	1・4号館	14
<b>【2】各種証明に関するもの</b>					
在学証明書★	就職等で必要なとき	証明書自動発行機より直接発行	各300円	1・4号館	—
成績証明書★					—
卒業見込証明書★ (4年次以降発行可)					—
健康診断証明書★					20
卒業証明書	就職等で必要なとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から3日後	300円	1・4号館	—
英文在学証明書	外国への進学、留学、就職等で必要なとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から2週間程度	各1,000円	1・4号館	—
英文成績証明書					—
英文卒業見込証明書					—
英文卒業証明書					—
就職・奨学金等に関する推薦書	就職試験で大学の推薦が必要とき 奨学金等で大学の推薦が必要とき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から2週間程度	300円	1・4号館	—
学力に関する証明書	養護教諭二種免許を申請するとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から3日後	300円	1・4号館	82
修業・履修証明書 (国家試験受験用)	卒業後国家試験受験で必要なとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から3日後	500円	1・4号館	—
その他証明書	上記以外の証明書が必要なとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 ※発行時期等は証明書によって異なるため事務室に問い合わせること	300円	1・4号館	—
<b>【3】学籍・修学に関するもの</b>					
再履修願	1科目を2度にわたり履修登録したいとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【提出期日】毎学期の所定期日	1単位 6,000円	1・4号館	73
欠席・遅刻・早退届 (3-1)	学校保健安全法による出席停止、天災等の理由による公共交通機関の遅延、忌引きにより欠席・遅刻・早退したとき (公欠)	【添付書類】対象となる病気の場合:医師の診断書 公共交通機関遅延の場合:関係機関の証明書 忌引きの場合:会葬礼状等証明する書類 【提出期日】当該事由が解消した日から1週間以内	—	1・4号館	75
休学願(3-2)	引き続き3ヶ月以上修学することができないとき	【添付書類】診断書(休学理由が疾病等による場合のみ) 【提出期日】当該年度後期より休学を希望する場合:9月20日 翌年度前期より休学を希望する場合:3月31日	—	1・4号館	14
復学願(3-3)	休学期間の満了または休学理由の消滅により復学したいとき	【添付書類】診断書(休学理由が疾病等による場合のみ) 【提出期日】復学する1ヶ月前	—	1・4号館	15
退学願(3-4)	退学したいとき	【添付書類】学生証・診断書(退学理由が疾病等による場合のみ) 【提出期日】前期末の退学を希望する場合:9月20日 後期末の退学を希望する場合:3月31日	—	1・4号館	15
追・再試験願	追試験、再試験を受けたいとき ※特別追試験(公欠に該当する理由により定期試験を欠席した場合)を受けたいときの手続きは、事務室に問い合わせること	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【添付書類】※追試験のみ 追試験願 定期試験を欠席した事を証明する書類 【提出期日】指定期日	1科目 2,000円	1・4号館	76・77
単位認定申請書(3-6)	他大学で取得した単位の認定を受けたいとき	【添付書類】単位取得を証明する書類等 【提出期日】履修登録期間内	—	1・4号館	73
単位認定緩和措置願(3-7)	再履修科目が時間割上重複するとき	【提出期日】履修登録期間内	—	1・4号館	73
追加実習願(3-8)	追加実習を行うとき	【添付書類】公欠を証明する書類 【提出期日】指定期日	—	1・4号館	85・86
再実習願	再実習を行うとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【提出期日】指定期日	1日 1,500円	1・4号館	85・86



種類 (様式番号)	こんなとき	提出書類・期日等	発行料	手続き場所	掲載ページ
<b>【4】課外活動に関するもの</b>					
学外活動許可願(4-1)	学外で活動を行いたいとき	【提出期日】活動する3日前	—	5号館	34
学生集会許可願(4-2)	学生または学生の団体が集会を行いたいとき	【提出期日】活動する3日前	—	5号館	34
サークル活動に伴う学外者の大学構内立入許可願(4-3)	大学構内に学外者を立入れてサークル活動を行いたいとき	【提出期日】活動する3日前	—	5号館	34
掲示(配布)願(4-4)	学内でビラ・ポスター等を掲示または印刷物を配布したいとき	【添付書類】掲示(配布)する文書等 【提出期日】掲示(配布)する3日前 ※掲示期間は2週間程度	—	5号館	34
施設・備品利用願(4-5)	大学の施設(敷地のみも含む)・備品を利用したいとき	【提出期日】利用する3日前	—	5号館	34
学生団体設立許可願(4-6)	団体を設立したいとき	その都度提出 【添付書類】 サークル設立の場合:「サークル規約」「構成員名簿」 「サークル活動計画書兼支援費申請書」 任意団体設立の場合:「構成員名簿」	—	5号館	34・35
部活動設立許可願(4-7)	公認部を設立したいとき	その都度提出 【添付書類】「活動計画書」「構成員名簿」「部規約」等	—	5号館	35・36
廃部届(4-8)	設立した団体または公認部を廃部にするとき	その都度提出	—	5号館	—
サークル支援費銀行口座振込依頼書(4-9)	サークルの銀行口座を新規開設または変更したいとき	その都度提出 【添付書類】通帳の口座名義掲載ページ写し	—	5号館	—
サークル活動実施報告書(4-10)	サークル支援費を請求したいとき	その都度提出	—	5号館	—
海外渡航届(4-11)	海外渡航をするとき	その都度提出	—	5号館	—
インターンシップ参加届(4-12)	インターンシップに参加するとき	その都度提出	—	5号館	—
<b>【5】その他</b>					
仮学生証★	教務課が公示した試験時、学生証不携帯のため身分の証明ができないとき	証明書自動発行機より直接発行 ※試験当日限り有効	500円	1・4号館	14
学校学生生徒旅客運賃割引証★	学割証が必要なとき	証明書自動発行機より直接発行 ※1日3枚まで発行可能	—	1・4号館	20
実習用通学証明書交付願	臨地・臨床実習用の通学定期券を購入したいとき	【提出期日】定期券使用開始日の1ヶ月前	—	5号館	21
学生証再交付願	記載事項に変更が生じたとき 紛失・破損したとき 有効期限が切れるとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【交付時期】受付から7日後	2,000円	1・4号館	14
学生証ネームホルダー	紛失・破損により新たに購入したいとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書	500円	1・4号館	14
実習名札再交付願	記載事項に変更が生じたとき 紛失・破損したとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【交付時期】受付から3日後	1,000円	1・4号館	—
実習名札ケース	紛失・破損により新たに購入したいとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書	200円	1・4号館	—
履歴書	就職等で必要なとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 ※セット内容(履歴書4枚、大封筒2枚、小封筒2枚)	200円	1・4号館	—
学内駐輪場利用ステッカー交付願	自転車を変えたとき 複数の自転車を登録するとき	【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書	200円	1・4号館	30
学内プリンター追加ポイントコード記載用紙	付与されたポイントを超えて印刷したいとき	証明書自動発行機より発行された用紙に記載の「追加ポイントコード」により、自身でポイントチャージ ※有効期限(発行後72時間)あり	20P 100円 40P 200円 60P 300円 100P 500円	1・4号館	33

- 〈注意事項〉
- ① 手続きは本人が行ってください。
  - ② 窓口取扱時間を厳守してください。
  - ③ 証明書等の種類により発行までに日数がかかるものがあります。余裕をもって申請してください。
  - ④ 様式番号のある書類は、一部を除き申請書ケース(事務室内や事務室前のエントランス)にあります。また同様の書類をActive Academy AdvanceのWebフォルダからダウンロードすることもできます。
  - ⑤ 押印が必要な申請書類があります。親元を離れて生活している(する)学生は、各自印鑑所持をお願いします。

## 証明書自動発行機

各種証明書、申請書等が発行できる証明書自動発行機を学内に設置しています。学生証を発行機にかざして、タッチパネルでパスワードを入力し、必要な証明書等を指定して発行してください。パスワードは新入生ガイダンスでお知らせします。

### (1) 設置場所

1号館2階エントランスホール及び4号館2階エレベーターホール(各1台)

### (2) 利用時間

事務室開室日の8:00~19:00

### (3) 発行可能な証明書等 ※詳細は、18・19ページ記載

発行書類等	発行料
各種証明に関するもの	
在学証明書	300円
成績証明書	300円
卒業見込証明書	300円
健康診断証明書	300円
卒業証明書(注2)	300円
英文在学証明書	1,000円
英文成績証明書	1,000円
英文卒業見込証明書	1,000円
英文卒業証明書(注2)	1,000円
就職・奨学金等に関する推薦書	300円
学力に関する証明書(注2)	300円
修業・履修証明書(国家試験受験用)(注2)	500円
その他証明書	300円
学籍・修学に関するもの	
再履修願	6,000円/1単位
追・再試験願(注3)	2,000円/1科目
再実習願	1,500円/1日

発行書類等	発行料
その他	
仮学生証(注1)	500円
学校学生生徒旅客運賃割引証	—
学生証再交付願(注1)	2,000円
学生証ネームホルダー	500円
実習名札再交付願	1,000円
実習名札ケース	200円
履歴書	200円
学内駐輪場利用ステッカー交付願	200円
学内プリンター	100円 20P
追加ポイントコード	200円 40P
記載用紙	300円 60P
	500円 100P

(注1) タッチパネルで学籍番号とパスワードを入力して発行してください。

(注2) 事務室窓口で発行方法をお伝えします。

(注3) 公欠による追試験は「特別追試験」とし、試験料を免除します。

## 学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)

学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)は、学生の修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されている制度です。この制度の利用については以下の事項に注意してください。

- ① 学割証は片道100kmを越える場合に適用され、普通旅客運賃の2割引で乗車券が購入できます。
- ② 学割証の有効期間は発行日から3ヶ月です。なお、学割証の発行は1日3枚が限度です。

## 健康診断証明書

毎年6月までに実施する学内定期健康診断の結果に基づいた健康診断証明書を発行します。発行は証明書自動発行機で行い、発行時期は健康診断終了後、約1ヶ月半以降とします。ただし、本学が実施する当該年度の健康診断を受けていない場合は発行できません。

## 通学定期券

通学定期券を購入する場合は、必要事項(通学する住所・氏名・学籍番号・通学区間)を記載した「学生証裏面シール」を学生証の裏面に貼付し、最寄り駅の窓口で提示してください。「学生証裏面シール」は新入生ガイダンス時に配付します。また事務室窓口でも随時お渡しします。

## 実習用通学定期券

臨地・臨床実習において、現住所や実習期間中の滞在先から実習施設まで鉄道や路線バスを利用して通学する際は、実習用通学定期券を購入することができます。通常の通学定期券と違い、購入の際は「実習用通学証明書」が必要となりますので、「実習用通学証明書交付願」を学生支援センターに提出してください。「実習用通学証明書」は、各公共交通機関の承認を得てからの発行となりますので時間がかかります。実習の開始日と定期券の購入日を考慮し、時間に余裕をもって（定期券使用開始日の1ヶ月前を目安）申請してください。

## 7. 健康管理

学生生活を健康に過ごすため、常に自己の健康状態に留意し、十分な睡眠と規則正しい食生活を心掛けてください。

### 健康診断

本学では毎年1回、6月までに学生全員に対して健康診断を行います。

### 感染症

学校保健安全法に定める、新型コロナウイルス、インフルエンザ、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎等に罹患した場合は、まん延を防ぐため「健康管理センター」へ速やかに連絡してください（5号館 健康管理センター TEL:027-388-0424）。登校すると感染が拡大するため、罹患していない、もしくは治癒したことが確認されるまで登校しないでください。

### 健康保険証

親元を離れて生活をする場合、本人専用の遠隔地被保険者証を携帯してください。作成に必要な書類は事務室で申請してください。詳細は各健康保険によって変わりますので、各組合等に問い合わせてください。

### AED（自動体外式除細動器）の設置

1号館2階エントランスホール、3号館（体育棟）2階ホール、4号館2階エレベーターホール、及び5号館1階に備え付けられており、救命処置が必要な場合はいつでも使用できます。

## 8. 奨学金

本学独自の奨学金、日本学生支援機構奨学金、都道府県等の奨学金、医療機関等の奨学金を取り扱っています。募集等の連絡は掲示及びActive Academy Advance で案内しますので、見落とさないよう注意してください。

### 神戸奨学金(本学独自の奨学金)

「神戸(かんべ)奨学金」は、本学創設者である樋口建介の「教育の原点」に多大な影響を及ぼし、学園創設に当たり多額の私財を投じた神戸照子先生の思いを尊重して設立された奨学金制度です。高い志があり、学業が優秀であるにも関わらず経済的な理由により修学困難な学生に対し給付されます。給付は当該年度限りですが、毎年申請可能です。

申請資格	本学学部在籍する2～4年生 ※特待生奨学金受給者を除く
申請時期	毎年5～6月
給付額	300,000円 後期授業料納入時に減免
募集人数	各学科の2～4年生において、それぞれ原則1名以内

### 日本学生支援機構奨学金(2023年度)

貸与奨学金：利息の付かない第一種奨学金と、利息の付く第二種奨学金があります。

種別	内容(月額)
第一種奨学金 無利子貸与	自宅通学者：20,000円、30,000円、40,000円、54,000円の4種類から選択可 <sup>**</sup>
	自宅外通学者：20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円の5種類から選択可 <sup>**</sup>
第二種奨学金 有利子貸与	20,000円～120,000円(10,000円単位)から選択可

※最高月額は、併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。

給付奨学金：世帯収入に応じた3段階の基準で支援区分(第Ⅰ区分・第Ⅱ区分・第Ⅲ区分)が決まります。

支援区分	通学形態	支援月額	併給時第一種貸与額 <sup>**2</sup>
第Ⅰ区分	自宅通学者	38,300円(42,500円) <sup>*1</sup>	0円
	自宅外通学者	75,800円	0円
第Ⅱ区分 (第Ⅰ区分の2/3)	自宅通学者	25,600円(28,400円) <sup>*1</sup>	0円
	自宅外通学者	50,600円	0円
第Ⅲ区分 (第Ⅰ区分の1/3)	自宅通学者	12,800円(14,200円) <sup>*1</sup>	21,700円 (20,000円、30,300円) <sup>*1</sup>
	自宅外通学者	25,300円	19,200円

※1 生活保護世帯で自宅から通学する場合及び児童養護施設等から通学する場合は、( )内の金額となります。

※2 給付奨学金と第一種奨学金を併給する場合、第一種奨学金の月額が調整されます。

### 家計が急変した学生への支援制度

通常、在学中は年2回奨学金の申込期間が設けられていますが、生計維持者の失業、破産、事故、死亡、災害等により家計が急変し、奨学金を緊急に必要とする場合には、年間を通じて随時申し込むことができます。

#### (1) 緊急採用・応急採用

①緊急採用(第一種奨学金)：貸与は採用された年度末までとなります。

②応急採用(第二種奨学金)：貸与は通常の修業年限の終期までとなります。

※家計急変事由発生日から12か月以内に申し込みが必要です。

※当制度は通常の日本学生支援機構貸与奨学金(第一種・第二種)と同一種別のため、すでに利用している種別の採用には申し込みできません。

#### (2) 家計急変採用(給付奨学金)

急変後の収入状況が地方税情報に反映される前に緊急に支援の必要がある場合には、急変後の所得の見込みにより要件を満たすこと

が確認できれば、家計急変採用（給付奨学金）の支援対象となります。採用後は「大学等における修学の支援に関する法律に基づく授業料等の減免」も併せて受けられます。

※家計急変事由発生日から3か月以内に申し込みが必要です。

※採用後3か月ごとに支援区分が見直されます。

### 高等教育の修学支援新制度

住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯を対象に、日本学生支援機構による「給付型奨学金」と、国による「授業料等の減免」による2つの経済的支援を行う制度です。世帯構成や年収に応じた3段階の基準で支援区分と支援額が決まります。（第Ⅰ区分の減免（入学金約260,000円<sup>\*</sup>、授業料約700,000円<sup>\*</sup>）、第Ⅱ区分（第Ⅰ区分の2/3）・第Ⅲ区分（第Ⅰ区分の1/3）が受けられます。）

年2回の在学採用時に申し込むことができるほか、家計が急変した場合は随時申し込みが可能です。

※上限額のため、実際に納入する授業料、入学金額を超えることはありません。

※入学金の減免は、新入生のみが対象となります（1年次前期までの申込対象）。

### 都道府県等の奨学金・医療機関等の奨学金

全国から本学に届いた都道府県・市町村・その他団体の奨学金及び病院・施設等の奨学金の案内を、Active Academy Advance から閲覧することができます。また1号館2階図書館内の就職コーナー、4号館2階図書室内の就職コーナーに紙媒体の案内がファイリングされていますので、各自で確認してください。奨学金によっては大学を通して申し込みをする場合がありますが、基本的には学生が直接問い合わせをして申し込みを行います。

## 9. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険制度

学生が教育研究活動中に不慮の事故によって被った傷害や、他人の財物を損壊する等、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対する救済制度です。この制度は全国の大学に在学する学生の加入によって負担される保険料により運営されています。保険約款と加入者のしおりは紛失しないよう4年間大切に保管してください。

### 保険の対象となる傷害

大学の教育研究活動中（以下①～⑤）に生じた事故により被害を受けたり、加害事故を起こしたりした場合に支払われます。ただし、病気はこの保険の対象にはなりません。なお、臨地・臨床実習中の接触感染予防措置は保険の対象となります。

①正課（実習を含む）を受けている間

②学校行事に参加している間

③大学施設内にいる間

※賠償責任を伴う加害事故については対象とならない場合もあります。

④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間

※事前の届出がないと保険の対象にならないので注意してください。

⑤上記①～④の通学（移動）している間

※自動車や原動機付自転車等を利用したことによる賠償は対象外となります。詳しくは保険約款を確認してください。

### 事故が起こった場合

保険の対象となる傷害（詳細は学生支援センターで確認）が起きた場合、直ちに学生支援センターに申し出てください。

## 10. 各施設の利用

1号館から5号館には福利厚生も含めた施設が多数あります。以下の①～⑥の利用者の義務を確認のうえ、マナーを守って利用してください。なお、施設・設備・備品等を破損、滅失したときは、当該損害を賠償しなければならない場合がありますので、速やかに事務室または学生支援センターに申し出てください。

### 利用者の義務

- ①施設・設備・備品等を大切に利用してください。
- ②火災には十分注意してください。
- ③許可された利用時間及び場所を厳守してください。
- ④許可された目的以外の利用はしないでください。
- ⑤利用の際は教職員の指示に従ってください。
- ⑥施設・設備・備品等の利用が終わった後は、整理整頓、清掃を必ず行ってください。

#### 1号館 学生ホール

学生ホールは飲食や自己学習、学生間の交流など自由に利用することができます。また、同フロアにはファミリーマート群馬パース大学店があります。

〈ファミリーマート 営業時間〉 8:00～18:00(月～金)

※学内の行事等による営業日時の変更は、店頭で確認してください。

#### 4号館 ブックカフェ

4号館1階には一般の方も利用可能なカフェやブックストア等があります。ブックカフェは、自己学習や学生間の交流の場として自由に利用してください。

〈ウーノ・オット カフェ 営業時間〉 10:30～14:00(月～金)

〈紀伊國屋ブックセンター 営業時間〉 10:00～15:00(月～金)

※学内の行事等による営業日時の変更は、店頭で確認してください。

#### 学生専用個人ロッカー

学内には学生専用の個人ロッカーがあります。以下の注意事項を守り各自指定されたロッカーを使用してください。ロッカーには鍵がありませんので、必要な場合は各自で用意してください。

〈注意事項〉

- ・危険物、臭気物、高価装飾品などの保管を禁止します。
- ・ロッカー内外は、ステッカー及びシールなどの貼付を禁止します。
- ・指定外のロッカーを使用したり、指定されたロッカーを他人に使用させることを禁止します。
- ・ロッカー上に置かれた物品は放置物として処分します。
- ・非常時は開錠することがあります。
- ・使用期間終了時にはロッカーの明け渡し及び清掃をしてください。
- ・使用期間終了後に荷物が残っている場合は、3ヶ月の保管期間後処分します。



## 附属図書館

附属図書館では、学習や研究の支援のため、図書約 55,000 冊・雑誌約 1,200 タイトル・視聴覚資料約 1,400 点を所蔵し、インターネットを通して利用できる電子ブックや電子ジャーナル、論文検索のデータベースなどの電子リソースも導入しています。授業の課題や論文の作成、また日頃の読書などに活用してください。図書館内では注意事項を守り、マナー良く利用してください。

### 1号館 図書館

1号館の図書館は蔵書の大半が看護・リハビリテーション・臨床検査などの医療関連の資料で構成されています。

場 所 1号館 1階・2階

開館時間 9:00～21:00(月～金)

休 館 日 土・日曜日、国民の祝日、長期休業期間、年末年始、館内整理期間

※学内の行事等により臨時休館・開館日時を変更する場合は、事前に図書館内掲示板、Active Academy Advance 及び図書館ホームページで周知します。

#### 〈利用方法〉

##### (1) 入館

入館には学生証が必要です。入館ゲートで学生証をかざすとゲートが開きます。バッグ等手荷物の持ち込みは自由です。

##### (2) 閲覧

図書館内での資料の閲覧は自由です。利用後は必ず元の配架位置に戻してください。

##### (3) 貸出

以下の表の範囲内で館外貸出を受け付けます。借りたい資料と学生証を持参し、カウンターで手続きを行ってください。なお、学生証を他者に貸すことは認めていません。また、資料の又貸しは禁止です。

	貸出冊数	期間
図 書	5冊	14日
雑 誌	無制限	当日

##### (4) 返却

返却資料はカウンターに提出し、返却手続きを行ってください。閉館時は2階図書館入り口前に設置している返却ボックスが利用できます。なお、返却期限を守れず延滞した場合はペナルティが課されます。

##### (5) 資料複写

館内の資料は著作権法で認められた範囲内で複写が可能です。複写したい資料があるときは、「複写申込書」に必要事項を記入してから複写してください。複写に要する費用は自己負担です。

##### (6) 視聴覚資料の利用

視聴覚資料はカウンターで保管しています。利用の際は図書館員に申請してください。館内でのみ利用可能です。

##### (7) グループ学習室

館内には3つのグループ学習室があります。利用の際は事前予約が必要ですので、カウンターで申し込んでください。

#### 〈注意事項〉

- ・館内では私語を慎み、他人の迷惑にならないようにしてください。
- ・館内での飲食、スマートフォン・携帯電話の使用は禁止です。また、スマートフォン・携帯電話やデジタルカメラ等での写真撮影も禁止です。

### 4号館 図書室

4号館の図書室は主に放射線・臨床工学関連の資料で蔵書が構成されています。

場 所 4号館 2階



開館時間 9:00～21:00(月～金)

休館日 土・日曜日、国民の祝日、長期休業期間、年末年始、室内整理期間

※学内の行事等により臨時休室・開室時間を変更する場合は、事前に Active Academy Advance 及び図書館ホームページで周知します。

#### 〈利用方法〉

##### (1) 入館

入室時には入口に設置してあるバーコードリーダーに学生証をかざしてください。バッグ等手荷物の持ち込みは自由です。

##### (2) 閲覧

図書室内での資料の閲覧は自由です。利用後は必ず元の配架位置に戻してください。

##### (3) 貸出

以下の表の範囲内で室外貸出を受け付けます。借りたい資料と学生証を持参し、自動貸出機で貸出手続きを行ってください。

なお、資料の又貸しは禁止です。

	貸出冊数	期間
図 書	5 冊	14 日
雑 誌	無制限	当日

##### (4) 返却

返却資料は自動貸出機で手続きを行うか、2階に設置してある返却ボックスへ入れてください。なお、返却期限を守れず延滞した場合はペナルティが課されます。

#### 〈注意事項〉

- ・室内では私語を慎み、他人の迷惑にならないようにしてください。
- ・室内での飲食、スマートフォン・携帯電話の使用は禁止です。また、スマートフォン・携帯電話やデジタルカメラ等での写真撮影も禁止です。

## 健康管理センター

5号館1階には健康管理センターがあり、本学における健康管理全般に関する業務を行っています。センター内には保健室がありますので、体調を崩した場合、けがをした場合などには保健室に入室してください。保健室職員から健康指導を受けることもできます。

### 5号館 保健室

場 所 5号館1階

開室時間 8:30～17:30(月～金)

休室日 土・日曜日、国民の祝日、長期休業期間、年末年始

※学内の行事等により臨時休室、開室時間を変更する場合があります。

### 1・4号館 静養室

体調不良やケガのため5号館の保健室まで赴くことが困難な場合は、1号館(1階)と4号館(2階)にある静養室で保健室職員の対応を受けることができます。静養室を利用したい場合は、1・4号館の事務室に申し出てください。

## 学生支援センター

5号館1階には学生支援センターがあり、学生のキャリア形成支援及び就職支援をするための「キャリア支援室」と、学生相談を行う「学生相談室」があります。予約方法や利用方法につきましては、以下を確認してください。

## 5号館 キャリア支援室

キャリア支援室では、進路に関する相談、履歴書の書き方や添削、面接指導等を行っています。相談を希望する場合は、事前に予約をしてください。

場 所 5号館1階

利用形式 対面相談、Skype 相談、メール相談

開室時間 10:00~13:00 14:00~18:00 (月~金)

休 室 日 土・日曜日、国民の祝日、年末年始

予約方法 Active Academy Advance の「キャリア相談予約」から、開室日時、予約状況を確認の上、予約してください。

<予約(相談)日の前日までにキャンセルを行う場合>

Active Academy Advance の「キャリア相談予約」の「予約済一覧」より予約取消を行ってください。

<予約(相談)日にキャンセルを行う場合>

以下「問い合わせ先(メディカルサフラン)」までご連絡ください。

問い合わせ メディカルサフラン

アドレス :info@medical-safran.com TEL:027-381-6002

## 就職コーナー

- ・1号館2階図書館内(主に看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師に関わる情報)
  - ・4号館2階図書室内(主に診療放射線技師、臨床工学技士に関わる情報)
- ※就職コーナーにある求人票は Active Academy Advance の企業検索(トップ画面)で閲覧できます。就職コーナーにある求人票の受付番号と Active Academy Advance (企業検索)の受付番号は同じです。
- ※ Active Academy Advance の Web フォルダ<学生支援センター(キャリア支援室)>で就職コーナーにある「就職活動報告書」の他、「インターンシップ・説明会の案内」「採用選考案内」等閲覧できます。

## 5号館 学生相談室

学生相談室では、みなさんが豊かで充実した学生生活を送るために、カウンセラーが様々な相談に無料で応じています。学業のこと、将来のこと、性格のこと、異性のこと、対人関係、メンタルヘルスなど、相談はどのようなことでも構いません。相談内容の秘密は守られますので、安心して来室してください。

場 所 5号館1階

相談方法 対面相談、電話相談

開室時間 10:00~ ※閉室時間は曜日によって異なります。学内掲示等で確認してください。

※上記開室時間であっても閉室する場合がありますので、Active Academy Advance の「キャリア相談予約」であらかじめ予約を入れておくことをお勧めします。

休 室 日 木・土・日曜日、国民の祝日、年末年始

予約方法 (1) Active Academy Advance から予約

### 初回の予約方法

Active Academy Advance の「キャリア相談予約」から、開室日時、予約状況を確認の上、予約してください。

### 2回目以降の予約について

初回の面接でお話しいただいた内容に基づいて、学生相談室で担当カウンセラーを決定します。相談日時はカウンセラーより Active Academy Advance の「個人へのお知らせ」により学生に連絡し、相談日等の調整をします。

3回目からの予約は、相談の終わりに担当カウンセラーと調整します。

#### (2) 直接来室

開室日時に相談室へ直接来室してください。ただし、他の学生が相談中の場合はすぐに対応はできませんので、あらかじめ予約を入れておくことをお勧めします。

その他 些細なことでも結構ですので、何かあれば学生相談室代表アドレス [gakuso@paz.ac.jp](mailto:gakuso@paz.ac.jp) にメールをしてください。

#### 心の健康に関する主な学外相談機関

名 称	電話番号	備 考
群馬県こころの健康センター(群馬県)	027-263-1156	9:00~17:00 【月~金(年末年始・祝祭日を除く)】
こころの健康相談統一ダイヤル(群馬県)	0570-064-556	9:00~22:00 【月~金(年末年始・祝祭日を除く)】
群馬いのちの電話(群馬いのちの電話事務局)	027-221-0783	9:00~24:00 【毎日】 9:00~ 翌日 9:00 【第2・第4金】
いのちの電話(日本のいのちの電話連盟)	0120-783-556	16:00~21:00 【毎日】 毎月10日 8:00~ 翌日 8:00 ※通話料無料
	0570-783-556	10:00~22:00
よりそいホットライン(社会的包摂サポートセンター)	0120-279-338	24時間対応※通話料無料

※詳細は、各団体のHP等で確認してください。

### 障害学生支援

群馬パース大学は、障害を理由とする不当な差別的取り扱いを排除し、障害のあるすべての学生(本学で修学を希望する者を含む)の教育を受ける権利を尊重し、修学に関わる支援を必要とする皆さんへの配慮を、全学の取り組みとして進めています。障害等による修学上の支援を受けるためには、以下窓口へ直接お越しいただくか、電話・メールにて事前にご相談ください。

相談窓口 5号館1階 学生支援センター

電話番号 027-388-0421

受付時間 8:30~13:00 14:00~18:00(月~金)

メールアドレス [paz-gakusei@paz.ac.jp](mailto:paz-gakusei@paz.ac.jp)

※修学支援までの流れやバリアフリーの状況等については、「群馬パース大学HP-学修支援」をご確認ください。

### 体育棟(3号館)

体育棟には、アリーナ、ホール、多目的スペースがあり、部活動やサークル活動等で利用が可能です。スポーツを通じて皆さんの課外活動を充実させてください。

利用時間 [平常時] 8:30~21:30(月~土) } 開錠 8:00、施錠 22:00  
[長期休業中] 8:30~21:30(月~金)

閉館日 日曜日、国民の祝日、学事及び行事等において支障のある日等

※申請により閉館日でも利用が可能となる場合があります。

アリーナは、公認部活動、サークル活動等の課外活動で利用することができます(個人利用は原則できません)。アリーナの利用を希望する場合は、以下の手続きをとってください。なお、各階のホール、多目的スペースは個人利用が可能です。

#### 〈利用手続き〉

##### (1) サークル活動等課外活動として長期的に利用する場合

指定の期日までに必要書類を学生支援センターに提出し、長期の利用申請を行ってください。

他のサークル等と調整を行った後、長期利用を許可します。

**(2) サークル活動等課外活動として都度利用する場合**

利用する3日前までに「施設・備品利用願」(様式第4-5号)を学生支援センターに提出し、利用許可を受けてください。

**体育棟2階ホールの休憩スペース**

体育棟2階ホールの休憩スペースは、学生ホールと同様に昼食をとったり、学生間の交流や学習等、自由に利用することができます。ただし、休憩スペース以外での飲食は禁止です(アリーナは水分補給のみ可)。

**〈注意事項〉**

- ・入館の際は学生証を自動ドアのカードリーダーにかざしてください。
- ・体育棟入口の自動ドアは定刻になると自動で施錠されますので、時間内に必ず退館してください。
- ・館内は下足での利用を禁止します。
- ・更衣室内のロッカーは当日のみ利用可能です。日をまたいで利用した場合は、ロッカー内の荷物を回収します。
- ・体育棟の駐車場は来客者用のため、学生は駐車できません。
- ・当該サークル等内外でのカードキーの学生間転貸は厳禁です。
- ・アリーナ内は水分補給以外の飲食を禁止します。
- ・アリーナ内の用具庫にサークルや個人の荷物を置くことは原則できませんが、アリーナ内で活動するサークルは、事情により一部サークル備品(ボールなど)を置くことができます。
- ・体育棟の施設設備・備品等を破損・汚損または紛失したときは、速やかに学生支援センターに申し出てください。
- ・使用後は責任をもって清掃及び整理整頓を行ってください。
- ・大学の行事等で体育棟が使用できなくなる場合は事前に周知します。

**学友会館**

学園祭やスポーツ大会等の行事に関することや、ボランティアの協力に関する準備など、学友会の自治活動の拠点となるのが学友会館です。学友会館では室内で行うサークル活動等も利用可能ですので、学友会活動や課外活動を通じて皆さんの学生生活を充実させる場としてください。

利用時間 [平常時] 8:30～21:30(月～土) } 開錠8:00、施錠22:00  
[長期休業中] 8:30～21:30(月～金)

閉館日 日曜日、国民の祝日、学事及び行事等において支障のある日等

※学友会執行部、及び学友会館を恒久的に利用するサークル等の役員の学生証で、上記開錠～施錠時間内に入館することができます。入館の際は学生証を入口ドアのカードリーダーにかざしてください。

学友会館は、公認部活動、サークル活動等の課外活動で利用することができます(個人利用は原則できません)。学友会館の利用を希望する場合は、以下の手続きをとってください。

**〈利用手続き〉****(1) サークル活動等課外活動として長期的に利用する場合**

指定の期日までに必要書類を学生支援センターに提出し、長期の利用申請を行ってください。

他のサークル等と調整を行った後、長期利用を許可します。

**(2) サークル活動等課外活動として都度利用する場合**

利用する3日前までに「施設・備品利用願」(様式第4-5号)を学生支援センターに提出し、利用許可を受けてください。

#### 〈注意事項〉

- ・利用時間内に必ず退館してください。
- ・学友会館にある駐車場は来客者及び教職員用のため、学生は駐車できません。
- ・館内の飲食は禁止します(水分補給可)。
- ・館内に個人の荷物を放置しないでください。
- ・学友会館の施設設備・備品等を破損・汚損または紛失したときは、速やかに学生支援センターに申し出てください。
- ・使用後は責任をもって清掃及び整理整頓を行ってください。
- ・大学の行事等で学友会館が使用できなくなる場合は事前に周知します。

## 11. 通学

### 自動車・バイク乗り入れの禁止

本学には学生専用駐車場がありません。自動車・バイク(原動機付自転車を含む)の乗り入れを禁止します。

### 迷惑駐車禁止

本学は高崎市の中心部にあり、人や車の通りが盛んです。大学周辺の一般道、付近のアパート、大型店等の駐車場、公園周辺等に無断駐車をすることは、地域で生活している方々に多大な迷惑をかけるばかりではなく、緊急時の通行等の障害にもなります。学生一人ひとりがモラルとマナーを守り、地域で生活している方々と共存していきましょう。なお、迷惑駐車をした学生に対しては「処置・処分」の対応を取り、警察に通報します。

### 学内自転車駐輪場の利用

本学の学生は大学敷地内の駐輪場を利用することができます。入学時全員に配付した「学内駐輪場利用ステッカー」を通学で使用する自転車の目立つところ(後輪の泥除け等)に貼ってください。なお、在学中に自転車を変えた際や、複数台の自転車の登録が必要な場合は、「学内駐輪場利用ステッカー交付願」を証明書自動発行機で発行し、事務室に申請してください。

#### 〈注意事項〉

- ・指定された駐輪場以外の駐輪は絶対にしないでください。
- ・学内駐輪場は通学目的でのみ利用できます。実家への帰省や学外実習中などの長期駐輪は絶対にしないでください。
- ・長期の無断駐輪をしている所有者不明の自転車は処分します。

### 自転車保険の加入義務化について

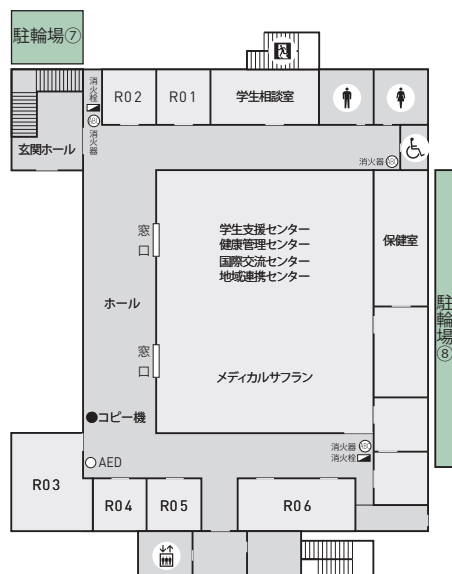
2021年4月1日より、群馬県交通安全条例の一部改正により、自転車保険の加入が義務化・自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されました。自転車で通学する場合は、必ず自転車保険に各自で加入してください。また、ヘルメットの着用に努めてください。

駐輪場の位置は下図のとおりです。





## 5号館



駐輪場⑦  
5号館利用者

駐輪場⑧  
学生専用マンション入居者

## 12. ノート PC の利用・インターネットの利用

### ノート PC 利用の目的

医療現場では情報収集能力が必要であり、臨床・研究において PC は必需品となっています。そのため、本学でも積極的に PC を利用し、最新の保健医療、その他の情報を常に取得できる環境作りに取り組んでいます。

### ノート PC の準備

入学後は講義、実習やゼミなどの授業時間内だけではなく、講義資料の取得やレポートの作成・印刷等、様々な場面で PC の利用が必須となります。各自で「Word・Excel・PowerPoint」及び「PDF ファイルの閲覧」が可能なノート PC を準備してください。また、コンセントを使用できる授業は限られますので、PC の充電は自宅で済ませてください。

### Microsoft Office (Excel、Word、PowerPoint 等) の利用

全学生に Microsoft365 アカウントが付与されますので、在学中は Office (Excel、Word、PowerPoint 等) の利用が可能となります。デバイスへのインストール方法等の詳細については、新入生ガイダンスや Active Academy Advance でお知らせします。

### 学内無線 LAN

ノート PC を利用した講義資料の取得やレポートの作成・印刷等には、インターネット環境が不可欠です。本学は学生が利用できる学内無線 LAN を設置しており、無料でインターネットに接続することができます。

#### 【利用可能な学内無線 LAN について】

##### (1) 学内無線 LAN のアクセスポイント

「pazNstd」のアクセスポイント (SSID : Service Set Identifier) が利用可能です。

## (2) 学内無線 LAN の接続

個人の PC で学内無線 LAN を利用する場合、学内無線 LAN 接続用の ID とパスワードが必要になります。接続に必要なパスワードは新入生ガイダンス時にお知らせします。接続の詳細については新入生ガイダンスや Active Academy Advance でお知らせします。

### 〈ウイルス対策〉

Web の閲覧や E メールの利用により、ウイルス感染の被害を受ける場合があります。ウイルスは学内全体に感染する恐れもあるので、自分の PC のウイルス対策はしっかり行いましょう。また、大学ではウイルス感染の被害による損害の補償はできませんのでご注意ください。

### 〈ソーシャルメディア〉

LINE や Twitter、Facebook、Instagram など、利用者が情報を発信することにより形成されるソーシャルメディアの普及が進み、情報伝達手段の一つとして広く活用されています。ソーシャルメディアを利用することにより、一人ひとりが社会に向けて容易に情報を発信し、数多くの情報を入手できる一方で、注意を怠ると個人情報の漏洩、名誉棄損、プライバシーの侵害、守秘義務違反などの犯罪行為になることもあります。軽率な行為で自身の将来を損なう可能性があることはもちろん、家族や友人にも迷惑をかけることを十分に認識し、節度ある利用を心がけてください。

## 13. 学内プリンターの利用

学生サービスの一環として、印刷したいデータをインターネットで送信して印刷することができるプリンターを学内に設置しています。各年度で無料印刷枚数の上限が設定されていますので、計画的に利用してください。

### (1) 設置場所

1 号館	4 階、7 階エレベーターホール (各 2 台)
1 号館 ANNEX (別館)	2 階 (1 台)、3 階 (2 台)
2 号館	3 階廊下 (2 台)
4 号館	6 階、10 階エレベーターホール (各 2 台)

### (2) 印刷ポイントについて

- ・学内プリンターを利用するために、印刷ポイントが年度ごとに付与されます。学生 1 人に付与されるポイントは 1 年ごとに 700 ポイント (年度繰り越し不可) です。なお、学生支援後援会より 100 ポイント (年度繰り越し可) が贈呈されますので、年度始めに毎年 800 ポイントが付与されます。
- ・印刷に必要なポイントは A4 白黒 (片面) 1 ポイント、A4 白黒 (両面) 1.5 ポイント、A4 カラー (片面) 5 ポイント、A4 カラー (両面) 7 ポイントです。
- ・付与された 800 ポイントを超過して印刷したい場合は、20 ポイント 100 円、40 ポイント 200 円、60 ポイント 300 円、100 ポイント 500 円でポイントを追加購入できます。

### (3) その他

- ・送信した印刷データを印刷する際は、学生証が必要です。
- ・用紙は A4 サイズのみです。
- ・ポイントの追加購入は、1 号館と 4 号館に設置してある証明書自動発行機を利用します。
- ・付与された無料ポイントの年度繰り越しはできませんが、学生支援後援会より贈呈される 100 ポイントと、追加購入したポイントは年度繰り越しができます。ただし、卒業や退学などで利用資格を喪失した場合の払い戻しはできませんので注意してください。
- ・学内プリンターの利用方法等の詳細については、新入生ガイダンスや Active Academy Advance でお知らせします。

## 14. 課外活動

有意義な学生生活を送るために、課外活動の果たす役割は大きなものがあります。課外活動を通じて豊かな人間性を身につけ、友人との交流を深めることにより、さらに充実した学生生活を送ってください。

### 学友会

学生の自治活動を通じて相互の親睦、学術文化の向上、体育活動の増進を図り、建学の精神である個性の重視と互助の精神、そして熱意ある人間形成を目的として、学生全員参加による学友会を組織しています。学友会は全学生から学友会執行部を選任し、学園祭その他の学生課外活動（新入生歓迎会、スポーツ大会等）、サークル活動等の中心的役割を果たします。また、学友会費の予算配分や執行は、学生委員会の助言のもと学友会執行部が行います。

### 学外活動・集会

学外活動（試合、合宿、ボランティア活動など）を行う場合には「**学外活動許可願**」（様式第 4-1 号）を、また大学構内において集会を開催する場合は「**学生集会許可願**」（様式第 4-2 号）を活動する 3 日前までに学生支援センターへ提出して許可を得てください。施設・備品を利用する場合は「**施設・備品利用願**」（様式第 4-5 号）に日時・場所及び内容を明記して、利用する 3 日前までに学生支援センターへ提出して許可を得てください。

### サークル活動に伴う学外者の大学構内立入り

サークル活動において外部コーチや外部講師の大学構内への招聘や、試合・練習等で他大学（他団体）の相手が構内に立入る場合は、「**サークル活動に伴う学外者の大学構内立入り許可願**」（様式第 4-3 号）を活動する 3 日前までに学生支援センターへ提出して許可を得てください。

### 掲示及び印刷物の配布

学内でポスター等を掲示する場合、「**掲示（配布）願**」（様式第 4-4 号）に掲示物のコピーを添付の上、掲示を希望する 3 日前までに学生支援センターへ提出して許可を得てください。掲示物に承認印を受けた後、指定された場所に掲示することができます。印刷物の配布・立看板への掲示、その他の掲示についても同様です。

### サークル活動

サークル活動は、学友会執行部管理のもと学生が主体的に行う活動であり、個人の才能や趣味に合わせて自由に選択できます。サークル活動の目的は、学生の自律心や学生相互の啓発を高め、人間形成を促進することにあります。学生生活をより充実させるため、健全で知性、教養、健康等の心身の向上を図るサークル活動でなければなりません。同じ趣味や活動を通して、一生の友を得ることができるのもサークルならではのといえるでしょう。

#### (1) サークルの設立条件

サークルの設立には以下の条件をすべて満たす必要があります。

- ・ 構成人員は複数学年で 5 人以上とする
- ・ 活動目的が明確である
- ・ 専任教職員の顧問を 1 名おく

#### (2) サークルの承認

サークルを設立するためには (1) の条件を満たした上で、「**学生団体設立許可願**」（様式第 4-6 号）に以下の書類一式を添付の上、学生支援センターに提出しなければなりません。提出された書類について教授会で審議され、学長の承認を得ることでサークルとして承認されます。なお、次年度も引き続きサークル活動を行う場合は、指定の期日までに同様の書類を学生支援センターに提出し、再申請しなければなりません。

- ① 「サークル活動計画書兼支援費申請書」(所定様式)
- ② 「構成員名簿(代表者 1 名、副代表者 2 名、会計 1 名を含めた全構成員の名簿)」(所定様式)
- ③ 「サークル規約」(所定様式)

## 任意団体

予算的措置はありませんが、本学では任意団体を設立することが認められています。県人会や愛好会を設立して、学科、学年隔てなく幅広い人間関係を築きましょう。

### (1) 任意団体の設立条件

任意団体の設立には以下の条件を満たす必要があります。

- ・ 構成人数は 2 人以上とする
- ・ 活動目的が明確である
- ・ 専任教職員の顧問を 1 名おく

### (2) 任意団体の承認

任意団体を設立するためには (1) の条件を満たした上で、「学生団体設立許可願」(様式第 4-6 号)と構成員名簿(所定様式)を学生支援センターに提出しなければなりません。提出された書類について教授会で審議され、学長の承認を得ることで任意団体として承認されます。なお、次年度も引き続き活動を行う場合は、指定の期日までに同様の書類を学生支援センターに提出し、再申請しなければなりません。

### (3) 任意団体設立時の注意点

- ・ 体育会には任意団体の位置づけはありません。
- ・ 学友会費等の予算の充当はありません。
- ・ 学内外で活動を行う際は、顧問の認可・監督のもとで行わなければなりません。
- ・ サークル倉庫の使用は認められません。
- ・ 任意団体からのサークル昇格はありません。

### (4) 任意団体に認められていること

- ・ 大学名の使用
- ・ 課外活動時の事故証明(学研災)
- ・ 学内の施設・備品の利用(その都度申請)
- ・ 学園祭等のイベントへの参加

## 公認部活動

部活動は、スポーツ、芸術、文化の活動を通じて学生の自律心や人間形成を促進することにより、学生生活を充実させるとともに、群馬パース大学の伝統を築き帰属意識を高めることを目的とします。

### (1) 公認部の設立条件

公認部を設立するためには以下の条件をすべて満たす必要があります。

- ・ 構成人員は複数学年で 10 人以上とする
- ・ 全国規模の大会(リーグ戦や発表会等)があり、その大会を運営する大学連盟等に所属している
- ・ 行事及び授業等において、教職員の活動に積極的に協力する
- ・ 部員は他の学生の模範となるよう、規則正しい学生生活及び社会生活を営むこと

## (2) 公認部の承認

公認部を設立するためには(1)の条件を満たした上で、「部活動設立許可願」(様式第4-7号)に以下の書類一式を添付した上で、学生支援センターに提出しなければなりません。提出された書類について法人運営会議で審議され、承認を得ると公認部として認められます。

- ①「活動計画書」(所定様式)
- ②「構成員名簿(代表者1名、副代表者2名、主務1名、会計1名を含めた全構成員の名簿)」(所定様式)
- ③「加盟認可申請書及び加盟金、年会費、分担金、大会参加費等の費用書類」
- ④「部規約」(任意様式)

※部規約には次のことが含まれなければなりません。

部員負担金 (例:月額1,000円等)

その他公認部活動に関する詳細は、別途「群馬パース大学公認部活動規約」に定めます

# 15. 防災・災害対策

## 災害発生時

### 火災

大学構内で火災が発生すると自動火災報知器が鳴り、事務室に通報されます。非常放送で火災発生場所、状況、避難の指示があるので、教職員の指示に従ってください。避難経路等は状況に応じて対応してください。建物から避難した後は避難場所に集合し、点呼をとり教職員に報告してください。

\* 火災発見時の対応について

- ①初期消火をしてください。1人で処置できない時は、速やかに他の協力を得てください。
- ②火災報知器を押してください。
- ③教職員に知らせてください。
- ④できるだけ多くの人に声をかけて避難してください。

### 地震

大規模地震警戒宣言が発令された場合は休講となりますので、自宅にいる学生はそのまま待機して大学からの連絡を待ってください。通学途中の学生は通学を中止し、安全な場所に避難した後、所在及び安否を大学に連絡してください。

## 防災訓練

災害や事故から自分の身を守るには、体力や気力はもちろんのこと、注意力や知恵と勇気も必要です。日頃から災害に対する意識を高め、地域や大学での訓練に参加し、「非常時」に備える事が大切です。本学では防災教育として避難訓練や消火訓練を毎年実施しています。

# 16. 注意事項等

## 宗教団体などの悪質な勧誘行為に注意

駅周辺など人が集まる場所や、SNS等で勧誘活動を行っていることがあります。特にカルト団体は一度関係をもつとマインドコントロールされ、脱会が難しくなります。仮に何回かセミナー等に参加してしまい団体と関係ができてしまっても、違和感を抱いたら即座に関係を断ち切りましょう。直接会わずに電話で断っても大丈夫です。悪質な勧誘行為の被害に遭わないために以下の5点を注意してください。

- ・宗教団体と名乗って勧誘しているとは限らない(勉強会や自己啓発など)。
- ・自分の名前や連絡先を教えない。
- ・別の場所(事務所や車等)には簡単について行かない。
- ・怪しい場合は免許証等で身分を確かめる(名刺は信用できない)。
- ・周囲の他人には惑わされない(サクラの可能性あり)。

## 悪徳商法・詐欺に注意

悪徳商法の手口はますます巧妙になり、優しい口調で高度なテクニックを駆使し、人をだますような素振りを見せません。しかし、契約が成立すると解約に応じてくれないばかりか、話すら聞いてくれません。この手の業者はローン会社と提携している場合が多く、高額な商品に手を出してしまいがちで支払い不能に陥る場合も少なくありません。学生生活に支障をきたす可能性が大いにあるため、十分に注意してください。

### (1) 悪徳商法・詐欺の被害に遭わないために

#### ・キャッチセールス

(街角で声をかけ、エステ、化粧品、健康食品、絵画などの高額商品を売りつける)

誘い文句:「無料体験」といって誘うことが多い。

対処方法:曖昧な返事はせず「いません」とはっきり断る。

#### ・アポイントメントセールス

(アクセサリ、英会話教材などの高額商品を訪問したり呼び出して売りつける)

誘い文句:「当選しました」「以前の契約を解除します」

対処方法:怪しい誘いの電話は、はっきり断ってすぐに切る。呼び出されても行かない。

#### ・マルチ商法

(健康食品、化粧品、投資 DVDなどを売りつけられ、さらに人に売りつけさせられる)

誘い文句:「簡単に稼げる」「いい仕事がある」と知人やSNSで誘われる。

対処方法:うまい話、甘い話は信じない。身近な人の勧誘でもはっきり断る。

#### ・架空請求

(書面やメールにより、心当たりのない請求、支払いを求められる)

誘い文句:「支払い期限が過ぎています」「連絡がなければ法的措置をとります」

対処方法:請求元には絶対に連絡せず一切無視。ただし、裁判所から送られてきた文書には対応。

### (2) クーリング・オフ

訪問販売等による契約などで、契約日を含め8日間(マルチ商法は20日間)以内であれば無条件で解約できる制度です(キャッチセールスやアポイントメント商法なども適用)。クーリング・オフの期間が過ぎてしまった場合でも解約できる場合がありますので、早めに消費生活センターに相談してください。

・高崎市消費生活センター 平日 9:00~16:30 TEL:027-327-5155

## 学生ローン・クレジット・キャッシング

学生ローンは学生証だけで融資が受けられることから、安易な気持ちで利用してしまい、結果として金利が高いため元利返済に追われ、平穩な学生生活が送れなくなる恐れがあります。どうしてもお金が必要な場合は、先ず保証人の方に相談しましょう。また、商品をカード1枚で購入できる手軽さから、クレジットを利用する学生がいます。便利といえども必ず後日支払いがあります。使いすぎてカード破産に追い込まれないよう注意が必要です。クレジットカードのキャッシングは、その金利が大手消費者金融並みに高いため、クレジットなどの返



済ができなくなった場合、返済のためにキャッシングすることは絶対に避けてください。多重債務の多くはそれが原因です。クレジットを利用する際の注意点は以下のとおりです。

- ・本当に必要なものか、もう一度考える。
- ・ゆとりをもった利用返済額を決める。
- ・支払期日に支払額が銀行口座にあるか確認する。
- ・カードの保管は自分で行き、他人に貸さない、預けない。

## 防犯

本学の周辺に限らず、不審者の出没や空き巣狙いの報告が多々あります。一人暮らしをしている学生は戸締まりを十分注意するとともに、特に女子学生は、夜間の一人歩きや日中でも人通りの少ない道での一人歩きは避けるなど、各自が防犯意識を持つよう心がけてください。

### (1) 通学時の注意

- ・危険な場所を避けて、人通りの多い道・人家のある道・街灯のある明るい道など、安全な道を選ぶ。
- ・日頃から周囲を注視して、何か変わったことはないか「いつもと違う状態」を察知する。
- ・帰宅が遅くなった場合は、家族に迎えに来てもらうか、タクシーを利用する。
- ・どうしても危険な道を歩かなくてはならない場合は、隙を見せずいつもより周囲に気を配るなど注意力を高め、複数で歩いたり防犯ブザーを携帯したりするなどの対策をする。
- ・イヤホンを装着し、スマートフォンを操作しながら夜道を歩くのは大変危険です。不審者はそのような隙を狙っています。

### (2) 一人暮らしの注意

- ・自宅に入るときは周囲を確認してから鍵を開け、家に入ったらすぐに鍵とチェーンロックをかける。
- ・ゴミ出しなどわずかな時間でも必ず鍵をかける。
- ・チャイムが鳴ってもすぐにドアを開けず、ドアスコープで相手を確認する。
- ・見知らぬ人に対応する場合は、チェーンをかけたままドア越しに行く。
- ・女性が一人暮らしをしていることを察知されないよう工夫する。

## コミュニティサイト等に注意

インターネットは匿名性があり、悪意をもった人も利用している可能性があります。コミュニティサイト等を利用して、知り合った相手からのストーーカー行為や脅迫、性犯罪などの凶悪事件に巻き込まれるおそれがあります。自分には関係ない、自分だけは大丈夫と安易な判断をせず、十分に注意してください。

コミュニティサイト等で被害に遭わないために

- ・自分の写真を掲載しない、送らない。
- ・電話番号・メールアドレス・住所・氏名などの個人情報は教えない、書き込まない。
- ・ネットで知り合った人と気軽に会わない。
- ・コンサートチケットなどの売買の約束はしない。
- ・出会いの目的でネットを利用しない。
- ・無料通話アプリのIDを交換しない。

## アルバイト

アルバイトをする場合は、学業に支障をきたさないよう配慮してください。学業が第一優先です。また、求人条件と仕事の内容を理解し、自己の能力に応じたものを選ぶようにしてください。近年「ブラックバイト」が社会問題になっています。ブラックバイトの被害に遭い自分で解決できない場合は、まずは周囲の人に相談してください。以下が典型的なブラックバイトの事例です。

- ・長時間労働や深夜の勤務を強いられ、学業が疎かになる。

- ・学業を考慮してもらえず勝手にシフトを組まれる。
- ・厳しいノルマを課せられる、商品の自費買取りを強要される。
- ・時給や勤務条件が契約内容と違う。
- ・アルバイト先でパワハラ・セクハラが行われている。
- ・勉強や実習に集中したいのに辞めさせてくれない。

## 国民年金保険料納付（20才以上）の猶予

申請により国民年金の保険料を納めることが猶予される「学生納付特例制度」があります。学生はほとんどの場合所得がありませんので、国民年金の保険料を本人が納めることが困難です。したがって、社会人になるまで保険料を納めることが猶予されます。対象となるのは大学に在学する20歳以上の学生で、日本年金機構が定める各年度の所得基準未満の方です。申請手続等は、住民登録をしている市区町村役場の国民年金担当窓口かお近くの年金事務所へお問い合わせください。



# 履修の手引き

## III

1. 履修
2. 開設授業科目
3. 履修登録
4. 授業
5. 試験
6. 単位認定
7. 成績通知
8. 進級
9. 卒業
10. 学位
11. 資格
12. 臨地・臨床実習科目
13. 留年者の履修

# III 履修の手引き

## 1. 履修

大学が定めるルールに従って授業科目を学習し、卒業要件を満たすことを履修といいます。履修登録をせずに授業に出席しても履修したことにはなりません。また、履修登録をしても授業に出席しなかったり、試験に不合格になったら、履修したとは認められません。

## 2. 開設授業科目

本学が開設している授業科目は、学則別表第2のとおりです。4年間でこれらの中から必要な科目を履修することになります。

### 授業科目の分類

#### (1) 履修方法による分類

必修科目……進級及び卒業のために必ず履修しなければならない科目

選択科目……卒業要件を満たすように、一定の科目群の中から自由にいくつかを選択して履修する必要がある科目

#### (2) 授業実施時期による分類

通年開講科目……前期・後期の1年間を通して授業が行われる科目

前期・後期開講科目……前期または後期にのみ授業が行われる科目

集中講義科目……一定の時期に集中して授業が行われる科目（実施時期は別途連絡）

## 看護学部看護学科

### 教養科目群

教養科目群は、社会人の基盤となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を身に付けることにより、人間を深く理解する視点を育むための科目群である。

目標：

- ・思想・表現・環境・情報など幅広い知識の修得を促し、豊かな感性と創造力、理解力を養う。
- ・人間を発達や生活、社会などの視点からとらえ、成長発達する生活者として尊重する心を育む。
- ・多様な人と積極的にコミュニケーションを図る力を育成し、国際的な視点で考える力を養う。
- ・アカデミックスキルを育成することにより、自律的に学習する姿勢を育む。

### 専門基礎科目群

専門基礎科目群は、看護の対象である人間を身体的・心理的・社会的側面からとらえ、対象の健康課題を適切に理解する力を育むための科目群である。

目標：

- ・人間や健康、人間を取り巻く環境について理解を深め、対象を多面的にとらえる力を涵養する。
- ・対象の健康問題や健康ニーズを洞察する力を養う。

### 専門科目群

専門科目群は、多様な場において科学的根拠に基づく看護を実践する能力を育成し、人々と協調・協働する力や生涯にわたって看護学を探究する力を涵養するための科目群である。

目標：

- ・専門的知識・技術の修得を促し、科学的根拠に基づいて思考する力や判断する力を養う。
- ・対象の特性を理解し、対象にあわせて柔軟に看護を実践する能力を養う。
- ・対象を取り巻くあらゆる人々と連携し、協働する力を養う。
- ・国内外における健康課題に対する関心を高め、生涯にわたって主体的に看護学を探究する力を養う。



看護学部 看護学科 教育課程 (2022年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目群	心身の発達	教育学	2		講義	15	選択2単位+ 必修2単位以上	15						
		心理学		2	講義	15		15						
		教育心理学		1	講義	15		15						
		健康スポーツ理論		1	講義	15		15						
		健康スポーツ実技		1	実技	15		15						
	思想及び表現	現代文学		2	講義	15	選択4単位+ 必修2単位以上	15						
		人間と宗教		2	講義	15		15						
		芸術		1	講義	15		15						
		哲学		2	講義	15			15					
	人間と生活及び社会のしくみ	法学(日本国憲法含む)		2	講義	15	選択2単位+ 必修4単位以上	15						
		社会学		2	講義	15		15						
		生活文化と医療		2	講義	15		15						
		地域ボランティア活動論		1	講義	7.5				7.5				
		経済学		1	講義	7.5					7.5			
	自然の原理及び環境	環境学		2	講義	15	選択3単位以上	15						
		生物学		1	講義	7.5		7.5						
		数学		1	講義	7.5		7.5						
		化学		1	講義	7.5		7.5						
	情報と言語の理解	英語	英語リーディング		1	講義	15	選択1単位+ 必修3単位以上	15					
			医療英語リーディング		1	講義	15		15					
英語会話				1	講義	15			15					
医療英語会話				1	講義	15				15				
英語アカデミックリーディング・ライティング			1	講義	15						15			
初修外国語		中国語		1	講義	15	選択1単位以上	15						
		コリア語		1	講義	15		15						
		ドイツ語		1	講義	15		15						
		ポルトガル語		1	講義	15		15						
情報		情報処理		1	演習	15	必修1単位以上	15						
	情報リテラシー		1	講義	15	15								
大学の学びの基盤	大学の学び入門		1	講義	15	必修1単位	15							
計(卒業要件)						26								

必修13単位+選択13単位以上

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎科目群	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	解剖学Ⅰ	1		講義	15	必修16単位＋選択1単位以上  必修20単位＋選択3単位以上	15							
		解剖学Ⅱ	1		講義	15			15						
		臨床解剖学		1	講義	7.5									7.5
		生理学Ⅰ	1		講義	15			15						
		生理学Ⅱ	1		講義	15				15					
		臨床生理学		1	講義	7.5									7.5
		生化学	1		講義	15				15					
		病理学	1		講義	15				15					
		薬理学	1		講義	15				15					
		臨床薬理学		1	講義	7.5									7.5
		栄養学（含食品学）		1	講義	15				15					
		病態栄養学	1		講義	15					15				
		臨床病態学Ⅰ	1		講義	15					15				
		臨床病態学Ⅱ	1		講義	15					15				
		臨床病態学Ⅲ	1		講義	15						15			
		臨床病態学Ⅳ	1		講義	15						15			
		免疫・感染症学	1		講義	15					15				
		臨床検査学	1		講義	15					15				
		発達心理学	1		講義	15					15				
	臨床心理学	1		講義	15					15					
	緩和医療学		1	講義	7.5								7.5		
	健康支援と 社会保障制度	公衆衛生学	2		講義	15	必修4単位＋選択2単位以上		15						
		疫学		1	講義	15				15					
		保健統計		1	講義・演習	15						15			
		社会福祉・社会保障制度論	1		講義	15						15			
		地域保健行政	1		講義	15							15		
		リハビリテーション概論		1	講義	7.5						7.5			
		カウンセリング		1	講義	15						15			
計（卒業要件）						23									

看護学部 看護学科 教育課程 (2022年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門 科 目 群	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	1		講義	7.5		7.5						
		看護学概論Ⅱ	1		講義・演習	7.5			7.5					
		基礎看護技術演習	1		講義・演習	15		15						
		コミュニケーション論	1		講義・演習	7.5			7.5					
		日常生活援助学演習Ⅰ(活動・食事・排泄)	1		講義・演習	15			15					
		日常生活援助学演習Ⅱ(清潔・安楽)	1		講義・演習	15			15					
		ヘルスアセスメント	1		講義	7.5				7.5				
		ヘルスアセスメント演習	1		演習	15				15				
		看護過程論入門	1		講義	7.5				7.5				
		看護過程展開論演習	1		講義・演習	15				15				
		治療援助学演習	1		講義・演習	22.5					22.5			
		基礎看護学特論		1	講義	7.5								7.5
	在宅看護学 地域・	地域・在宅看護学概論	1		講義	7.5			7.5					
		地域・在宅看護方法論	1		講義	15				15				
		地域・在宅看護展開論	1		講義・演習	15					15			
		地域・在宅看護学演習	1		講義・演習	15						15		
		地域・在宅看護学特論		1	講義	7.5								7.5
	成人看護学	成人看護学総論	1		講義	7.5			7.5					
		成人看護方法論	1		講義	15				15				
		慢性期看護論	1		講義	15					15			
		周術期看護論	1		講義	15						15		
		クリティカルケア看護論	1		講義	15						15		
		成人看護学演習	1		講義・演習	22.5						22.5		
		救急看護		1	講義・演習	7.5							7.5	
		成人看護学特論		1	講義	7.5								7.5
	老年看護学	老年看護学総論	1		講義	7.5			7.5					
		高齢者の健康と障害	1		講義	15				15				
		老年看護方法論	1		講義	15					15			
		老年看護学演習	1		講義・演習	15						15		
		老年看護学特論		1	講義	7.5								7.5
	小児看護学	小児看護学総論	1		講義	7.5				7.5				
		小児看護方法論	1		講義	15					15			
		小児看護過程・技術論	1		講義	15						15		
		小児看護学演習	1		演習	15						15		
		小児看護学特論		1	講義	7.5								7.5
	母性看護学	母性看護学総論	1		講義	7.5				7.5				
		母性看護方法論	1		講義	15					15			
		母子の健康支援	1		講義	15						15		
		母性看護学演習	1		講義・演習	15						15		
		母性看護学特論		1	講義	7.5								7.5
	精神看護学	精神保健	1		講義	7.5			7.5					
		精神看護学概論	1		講義	7.5				7.5				
		精神看護方法論	1		講義	15					15			
		精神看護学演習	1		講義・演習	15						15		
精神看護学特論			1	講義	7.5								7.5	
看護の統合と実践	看護学への誘い	1		講義・演習	15			15						
	多職種理解と連携	1		講義	15				15					
	国際看護論	1		講義	7.5					7.5				
	災害看護論	1		講義	7.5						7.5			
	臨床看護管理学	1		講義	7.5								7.5	

必修44単位+選択5単位以上

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門 科 目 群	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2		講義	30			30					
		公衆衛生看護技術論		2	講義・演習	30				30				
		対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ		1	講義	15					15			
		対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ		2	講義	30					30			
		個人・家族の公衆衛生看護技術演習		1	演習	15								15
		集団・地域の公衆衛生看護技術演習		1	演習	15								15
		公衆衛生看護活動展開論		1	講義	7.5								7.5
		地域保健政策論		1	講義	15								15
		施策化・政策形成過程演習		2	演習	30								30
		公衆衛生看護管理		1	講義・演習	7.5								7.5
	助産学	助産学概論		1	講義	7.5						7.5		
		母子と家族の心理・社会学		1	講義	7.5					7.5			
		助産基礎医学		1	講義	7.5							7.5	
		周産期診断学		1	講義	7.5							7.5	
		妊娠期助産診断技術学		1	講義	7.5							7.5	
		分娩期助産診断技術学		2	講義・演習	15							15	
		産褥期助産診断技術学		1	講義	7.5							7.5	
		新生児・乳幼児期助産診断技術学		1	講義	7.5							7.5	
		ハイリスク助産診断技術学		1	講義	7.5							7.5	
		助産診断技術学演習		2	演習	30							30	
		ハイリスク助産診断技術学演習		1	講義・演習	15							15	
		地域母子保健論		1	講義	7.5								7.5
		助産管理		2	講義	15								15
	臨地実習	看護基礎実習	1		実習	1w		1w						
		療養生活支援実習	2		実習	2w			2w					
		臨床看護基礎実習	2		実習	2w				2w				
		地域・在宅看護学実習	2		実習	2w					2w			
		成人看護学実習	5		実習	5w						5w		
		老年看護学実習	3		実習	3w						3w		
		小児看護学実習	2		実習	2w						2w		
		母性看護学実習	2		実習	2w						2w		
		精神看護学実習	2		実習	2w						2w		
		統合実習	2		実習	2w							2w	
公衆衛生看護学実習			5	実習	5w								5w	
助産学実習			11	実習	11w								11w	
研究	看護研究概説	1		講義・演習	15	必修 5 単位					15			
	卒業研究	4		演習	60							30	30	
計（卒業要件）						77								
卒業要件（最低）単位数						126								

## リハビリテーション学部(共通)

### 教養科目群

リハビリテーション学部の教養科目群は、その時代の要請に応じる内容と、学士に必要な教養を育むことを目指す科目を開講する。ひとりの人間としての教養、現代社会の要請に対応できる教養、そして将来リハビリテーション職に就くものとしての幅広い教養を身につけることを目指した科目を設定している。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を修得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力度、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

### 共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における学びの基本姿勢とスキルの修得、リハビリテーション学部に通ずるチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群である。

目標：

- ・早期のアカデミックスキルの修得を目指す。
- ・将来、チーム医療を担う一員として、共に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・リハビリテーションの学びに向かう姿勢・態度を養う。

## 理学療法学科

### 専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群である。

目標：

専門教育に直結する知識の修得及び専門教育の理解と理論づけの基礎を形成する。

### 専門科目群

専門科目群は理学療法の高度な専門知識・技術を修得する科目群である。

目標：

- ・理学療法士としての知識・技術及び態度を養う。

リハビリテーション学部 理学療法学科 教育課程 (2021年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年			
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目群	心身の発達	心理学	2		講義	15	選択1単位以上 必修3単位+		15							
		教育学		2	講義	15			15							
		教育心理学		2	講義	15			15							
		健康スポーツ理論		1	講義	15			15							
		健康スポーツ実技	1		実技	15			15							
	思想及び表現	生命倫理	2		講義	15	選択2単位以上 必修2単位+					15				
		哲学		2	講義	15				15						
		現代文学		2	講義	15				15						
		人間と宗教		2	講義	15			15							
		芸術		2	講義	15			15							
	人和社会及び自然の理解	人間の生活及び社会の理解	法学(日本国憲法含む)	2		講義	15	選択1単位以上 必修3単位+			15					
			家族社会学	2		講義	15				15					
			生活文化と医療	2		講義	15				15					
		経済学	2		講義	15					15					
		人工知能・ロボットと社会	2		講義	15			15							
		地域ボランティア活動論		1	講義	7.5					7.5					
		人間関係・コミュニケーション論	1		講義	15						15				
	自然の原理及び環境	環境学	2		講義	15	選択2単位以上 必修4単位+	15								
		基礎生物学	1		講義	7.5			7.5							
		生物学	1		講義	7.5				7.5						
		基礎数学	1		講義	7.5			7.5							
		基礎統計学	1		講義	7.5			7.5							
		基礎化学		1	講義	7.5			7.5							
		化学		1	講義	7.5				7.5						
		基礎物理学	1		講義	7.5			7.5							
		物理学	1		講義	7.5			7.5							
	情報と言語の理解	英語	英語リーディング	1		講義	15	必修3単位以上	15							
			医療英語会話	1		講義	15			15						
			医療英語リーディング	1		講義	15				15					
			英語会話		1	講義	15				15					
		初修外国語	中国語		1	講義	15	選択1単位以上	15							
			コリア語		1	講義	15			15						
			ドイツ語		1	講義	15			15						
ポルトガル語				1	講義	15			15							
情報		情報処理	1		演習	15	必修1単位以上	15								
		情報リテラシー		1	講義	15			15							
		データサイエンス入門		1	講義	15			15							
共通基盤		大学の学びの基盤	大学の学び入門	1		講義	15	必修3単位	15							
			大学の学び-専門への誘い-	1		講義・演習	15			15						
	多職種理解と連携		1		講義	15				15						
計(卒業要件)						26										



リハビリテーション学部 理学療法学科 教育課程 (2021年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年			
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎科目群	人体の構造と機能及び心身の発達	運動器解剖学	2		講義	15	必修18単位以上	15								
		臓器解剖学	2		講義	15			15							
		局所解剖学(言語・聴覚・発声・嚥下)		1	講義	7.5					7.5					
		解剖学演習	1		演習	15					15					
		表面解剖学と触診法	1		講義	15				15						
		生理学Ⅰ	2		講義	15			15							
		生理学Ⅱ	2		講義	15			15							
		生理学実習	1		実習	22.5					22.5					
		生化学	1		講義	7.5				7.5						
		運動学	2		講義	15				15						
		臨床運動学	2		講義	15						15				
		運動学実習	1		実習	22.5						22.5				
		人間発達学	1		講義	15					15					
		生涯発達心理学		2	講義	15						15				
		学習・認知心理学		2	講義	15						15				
		心理測定法		2	講義	15						15				
	行動科学とリハビリテーション		1	講義	7.5							7.5				
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	2		講義	15	必修19単位		15							
		薬理学	1		講義	7.5					7.5					
		臨床薬学	1		講義	7.5						7.5				
		公衆衛生学	2		講義	15			15							
		臨床検査・画像診断学演習	1		演習	15						15				
		臨床医学関連領域論	1		講義	7.5						7.5				
		内科学	1		講義	15						15				
		整形外科学	1		講義	15						15				
		神経内科学	1		講義	15						15				
		精神医学	1		講義	15							15			
		小児科学	1		講義	15							15			
		リハビリテーション医学	2		講義	15							15			
		救急・免疫・感染症学	1		講義	15								15		
		栄養学	1		講義	7.5					7.5					
	緩和医療学	2		講義	15							15				
	リハビリテーションの保健医療福祉と理念	リハビリテーション概論	1		講義	15	必修6単位	15								
チーム医療とリハビリテーション		1		講義	7.5				7.5							
臨床心理学		1		講義	15					15						
安全管理		1		講義	15									15		
医療統計学		1		講義	15						15					
社会福祉・地域サービス論		1		講義	15							15				
計(卒業要件)						43										

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門 科 目 群	基礎理学療法学	理学療法概論	1		講義	15	必修5単位+選択2単位以上	15						
		障害と理学療法	1		講義	15			15					
		理学療法総合演習	1		演習	15								15
		理学療法研究論	1		講義	15							15	
		障害者スポーツ・レクリエーション論		1	講義	15			15					
		生体計測工学	1		講義	7.5							7.5	
		支援工学		1	講義	7.5							7.5	
		国際理学療法学		1	講義	7.5						7.5		
		事例研究法		1	講義	7.5						7.5		
		卒業研究		2	演習	30								
	理学療法管理学	理学療法管理学	2		講義	15	必修2単位					15		
	理学療法評価学	理学療法診断学	1		講義	15	必修6単位		15					
		基礎理学療法診断学演習	1		演習	15				15				
		運動機能系理学療法診断学演習	1		演習	15				15				
		神経機能系理学療法診断学演習	1		演習	15					15			
		内部機能系理学療法診断学演習	1		演習	15						15		
		高次脳機能評価学	1		講義	7.5						7.5		
	理学療法治療学	基礎運動療法	1		講義	15	必修21単位+選択2単位以上		15					
		運動機能系理学療法治療学演習	1		演習	15				15				
		脊髄疾患理学療法学演習	1		演習	15						15		
		神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ	1		演習	15					15			
		神経機能系理学療法治療学演習Ⅱ	1		演習	15						15		
		内部機能系理学療法治療学演習	1		演習	15							15	
		身体活動学	1		講義	7.5							7.5	
		発達支援理学療法学	1		講義	15						15		
		理学療法関連領域論	1		講義	7.5							7.5	
		物理療法学	2		講義	15					15			
		物理療法学演習	1		演習	15						15		
		装具学	2		講義	15						15		
		義肢学	2		講義	15							15	
		スポーツ理学療法学	1		講義	15							15	
		日常生活活動学	2		講義	15					15			
		高齢者理学療法学演習	1		演習	15							15	
		リハビリテーション栄養学	1		講義	7.5						7.5		
		福祉機器論		1	講義	7.5							7.5	
		作業療法理論		1	講義	7.5							7.5	
		就労支援技術論		1	講義	7.5							7.5	
	災害保健学		1	講義	7.5						7.5			
	地域理学療法学	地域理学療法学	1		講義	7.5	必修4単位以上					7.5		
		地域リハビリテーション学	1		講義	7.5						7.5		
		生活環境学	2		講義	15						15		
		国際保健学		1	講義	7.5								7.5
	臨床実習	見学実習	1		実習	1w	必修23単位			1w				
		評価学実習	5		実習	5w						5w		
		地域理学療法実習	1		実習	1w						1w		
総合臨床実習Ⅰ		8		実習	8w							8w		
総合臨床実習Ⅱ		8		実習	8w							8w		
計（卒業要件）						65								
卒業要件（最低）単位数						134								

## リハビリテーション学部(共通)

### 教養科目群

リハビリテーション学部の教養科目群は、その時代の要請に応じる内容と、学士に必要な教養を育むことを目指す科目を開講する。ひとりの人間としての教養、現代社会の要請に対応できる教養、そして将来リハビリテーション職に就くものとしての幅広い教養を身につけることを目指した科目を設定している。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を修得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力度、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

### 共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における学びの基本姿勢とスキルの修得、リハビリテーション学部に通ずるチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群である。

目標：

- ・早期のアカデミックスキルの修得を目指す。
- ・将来、チーム医療を担う一員として、共に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・リハビリテーションの学びに向かう姿勢・態度を養う。

## 作業療法学科

### 専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群である。

目標：

国際機能分類（ICF）の本質を理解し、幅広い知識をもとに多職種連携を実践できる基礎作りのための知識と技術、並びに作業療法理論の理解に必要な基礎知識を修得する。

### 専門科目群

専門科目群は作業療法学の高度な専門知識・技術を修得する科目群である。

目標：

人が環境の中で作業を展開することの意味、それを作業療法とする意味の理解に基づき、作業療法の理論を学ぶ。

リハビリテーション学部 作業療法学科 教育課程 (2021年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年			
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目群	人と社会及び自然の理解	心身の発達	心理学	2	講義	15	選択1単位以上 必修5単位+		15							
			教育学	2	講義	15		15								
			教育心理学		2	講義		15	15							
			健康スポーツ理論		1	講義		15	15							
			健康スポーツ実技	1		実技		15	15							
		思想及び表現	生命倫理	2	講義	15	選択2単位以上 必修2単位+					15				
			哲学		2	講義		15			15					
			現代文学		2	講義		15			15					
			人間と宗教		2	講義		15	15							
			芸術		2	講義		15	15							
		人間の生活及び社会の理解	法学(日本国憲法含む)	2	講義	15	選択3単位以上 必修3単位+				15					
			家族社会学	2	講義	15					15					
			生活文化と医療	2	講義	15					15					
			経済学	2	講義	15						15				
			人工知能・ロボットと社会	2	講義	15		15								
	地域ボランティア活動論			1	講義	7.5					7.5					
	人間関係・コミュニケーション論		1		講義	15						15				
	自然の原理及び環境	環境学	2	講義	15	選択3単位以上 必修1単位+	15									
		基礎生物学	1	講義	7.5		7.5									
		生物学	1	講義	7.5			7.5								
		基礎数学	1	講義	7.5		7.5									
		基礎統計学	1	講義	7.5		7.5									
		基礎化学	1	講義	7.5		7.5									
		化学	1	講義	7.5			7.5								
		基礎物理学	1	講義	7.5		7.5									
		物理学	1	講義	7.5		7.5									
	情報と言語の理解	英語	英語リーディング	1	講義	15	必修3単位以上	15								
			医療英語会話	1	講義	15			15							
			医療英語リーディング	1	講義	15				15						
			英語会話	1	講義	15				15						
		初修外国語	中国語	1	講義	15	選択1単位以上	15								
			コリア語	1	講義	15		15								
			ドイツ語	1	講義	15		15								
ポルトガル語			1	講義	15	15										
情報		情報処理	1	演習	15	選択1単位以上 必修1単位+	15									
		情報リテラシー	1	講義	15			15								
		データサイエンス入門	1	講義	15			15								
共通基盤 科目群		大学の学びの基盤	大学の学び入門	1	講義	15	必修3単位	15								
			大学の学び-専門への誘い-	1	講義・演習	15			15							
	多職種理解と連携		1	講義	15				15							
計(卒業要件)						29										

リハビリテーション学部 作業療法学科 教育課程 (2021年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年		
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎科目群	人体の構造と機能及び心身の発達	運動器解剖学	2		講義	15	必修15単位＋選択2単位以上	15							
		臓器解剖学	2		講義	15			15						
		局所解剖学 (言語・聴覚・発声・嚥下)		1	講義	7.5					7.5				
		解剖学演習	1		演習	15					15				
		生理学Ⅰ	2		講義	15			15						
		生理学Ⅱ	2		講義	15				15					
		生理学実習	1		実習	22.5					22.5				
		運動学	2		講義	15				15					
		運動学実習	1		実習	22.5					22.5				
		生化学	1		講義	7.5				7.5					
		人間発達学	1		講義	7.5					7.5				
		生涯発達心理学		2	講義	15						15			
		学習・認知心理学		2	講義	15						15			
		心理測定法		2	講義	15						15			
	行動科学とリハビリテーション		1	講義	7.5							7.5			
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	2		講義	15	必修19単位以上		15						
		薬理学	1		講義	7.5				7.5					
		臨床薬学		1	講義	7.5					7.5				
		公衆衛生学	2		講義	15			15						
		臨床検査・画像診断学演習	1		演習	15					15				
		臨床医学関連領域論	1		講義	7.5					7.5				
		内科学	1		講義	15				15					
		整形外科学	1		講義	15				15					
		神経内科学	1		講義	15				15					
		小児科学	1		講義	15					15				
		精神医学Ⅰ	1		講義	15				15					
		精神医学Ⅱ	1		講義	7.5					7.5				
		リハビリテーション医学	2		講義	15					15				
		救急・免疫・感染症学	1		講義	15						15			
		栄養学	1		講義	7.5				7.5					
		緩和医療学	2		講義	15						15			
	リハビリテーションの保健医療福祉と理念	リハビリテーション概論	1		講義	15	必修5単位	15							
		チーム医療とリハビリテーション	1		講義	7.5			7.5						
臨床心理学		1		講義	15				15						
社会福祉・地域サービス論		1		講義	15					15					
医療統計学		1		講義	15					15					
計 (卒業要件)						41									

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 科 目 群	基礎作業療法学	作業療法学概論	1		講義	7.5	選択2単位以上 必修5単位+	7.5							
		基礎作業学	1		講義	7.5		7.5							
		基礎作業学演習	1		演習	15			15						
		基礎作業学実習	1		実習	22.5				22.5					
		生体計測工学		1	講義	7.5							7.5		
		作業療法学研究法演習	1		演習	15							15		
		事例研究法		1	講義	7.5							7.5		
		卒業研究		2	演習	30									30
	作業療法管理学	作業療法管理学Ⅰ	1		講義	7.5	必修2単位			7.5					
		作業療法管理学Ⅱ	1		講義	7.5						7.5			
	作業療法評価学	作業療法評価学	2		講義	15	必修5単位		15						
		作業療法評価学演習	1		演習	15				15					
		作業療法評価学実習	1		実習	22.5					22.5				
		作業療法総合評価演習	1		演習	15						15			
	作業療法治療学	身体領域の作業療法学	2		講義	15	必修19単位				15				
		身体領域の作業療法学実習	1		実習	22.5						22.5			
		認知機能作業療法学	1		講義	7.5						7.5			
		精神領域の作業療法学	2		講義	15						15			
		精神領域の作業療法学実習	1		実習	22.5						22.5			
		発達領域の作業療法学	1		講義	7.5						7.5			
		発達領域の作業療法学演習	1		演習	15							15		
		老年期の作業療法学	1		講義	7.5							7.5		
		内部障害作業療法学	1		講義	7.5							7.5		
		作業療法理論	1		講義	7.5								7.5	
		作業療法リーズニング	1		講義	7.5								7.5	
		義肢装具学	1		講義	7.5							7.5		
		日常生活活動学	1		講義	7.5						7.5			
		日常生活活動学実習	1		実習	22.5							22.5		
		作業療法総合演習	1		演習	15									15
		就労支援技術論	1		講義	7.5								7.5	
	リハビリテーション栄養学	1		講義	7.5							7.5			
	地域作業療法学	地域作業療法学	1		講義	7.5	選択1単位以上 必修4単位+					7.5			
		生活環境学	1		講義	7.5						7.5			
		福祉機器論		1	講義	7.5							7.5		
		支援工学		1	講義	7.5						7.5			
		国際保健学		1	講義	7.5								7.5	
災害保健学		1		講義	7.5							7.5			
地域リハビリテーション学		1		講義	7.5							7.5			
臨床実習	見学実習	2		実習	2w	必修25単位				2w					
	作業療法基礎実習Ⅰ	3		実習	3w							3w			
	作業療法基礎実習Ⅱ	3		実習	3w							3w			
	総合臨地実習Ⅰ	8		実習	8w								8w		
	総合臨地実習Ⅱ	8		実習	8w								8w		
	地域臨地実習	1		実習	1w									1w	
計（卒業要件）						63									
卒業要件（最低）単位数						133									



## リハビリテーション学部(共通)

### 教養科目群

リハビリテーション学部の教養科目群は、その時代の要請に応じる内容と、学士に必要な教養を育むことを目指す科目を開講する。ひとりの人間としての教養、現代社会の要請に対応できる教養、そして将来リハビリテーション職に就くものとしての幅広い教養を身につけることを目指した科目を設定している。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を修得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

### 共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における学びの基本姿勢とスキルの修得、リハビリテーション学部に通ずるチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群である。

目標：

- ・早期のアカデミックスキルの修得を目指す。
- ・将来、チーム医療を担う一員として、共に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・リハビリテーションの学びに向かう姿勢・態度を養う。

## 言語聴覚学科

### 専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群である。

目標：

- ・人の体の構造と働きを理解する。
- ・ことばとコミュニケーションの過程と働きについて理解する。
- ・人の心の仕組みを理解する。
- ・ことばの障がいとその支援に関する理念と社会の環境、制度について理解する。

### 専門科目群

専門科目群は言語聴覚学の高度な専門知識・技術を修得する科目群である。

目標：

- ・言語聴覚士として障がいのある方に向き合う姿勢、態度を修得する。
- ・言語聴覚療法の実践に必要な感性、想像力、創造力、応用力を養う。
- ・言語聴覚療法のよりどころとなる専門的な知識・技術を修得する。
- ・生涯にわたり学修し、真実を探求し、成果を社会に発信する姿勢を養う。

リハビリテーション学部 言語聴覚学科 教育課程 (2021年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年			
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目群	人和社会及び自然の理解	心身の発達	心理学	2	講義	15	選択4単位以上 必修2単位+	15								
			教育学	2	講義	15		15								
			教育心理学	2	講義	15		15								
			健康スポーツ理論	1	講義	15		15								
			健康スポーツ実技	1	実技	15		15								
		思想及び表現	生命倫理	2	講義	15	選択2単位以上 必修2単位+					15				
			哲学	2	講義	15				15						
			現代文学	2	講義	15				15						
			人間と宗教	2	講義	15		15								
			芸術	2	講義	15		15								
	人間の生活及び社会の理解	法学(日本国憲法含む)	2	講義	15	選択3単位以上 必修3単位+			15							
		家族社会学	2	講義	15				15							
		生活文化と医療	2	講義	15				15							
		経済学	2	講義	15			15			15					
		人工知能・ロボットと社会	2	講義	15			15								
		地域ボランティア活動論	1	講義	7.5				7.5							
		人間関係・コミュニケーション論	1	講義	15					15						
	自然の原理及び環境	環境学	2	講義	15	選択3単位以上 必修1単位+	15									
		基礎生物学	1	講義	7.5		7.5									
		生物学	1	講義	7.5			7.5								
		基礎数学	1	講義	7.5		7.5									
		基礎統計学	1	講義	7.5		7.5									
		基礎化学	1	講義	7.5		7.5									
		化学	1	講義	7.5			7.5								
		基礎物理学	1	講義	7.5		7.5									
		物理学	1	講義	7.5		7.5									
	情報と言語の理解	英語	英語リーディング	1	講義	15	必修3単位以上	15								
			医療英語会話	1	講義	15			15							
			医療英語リーディング	1	講義	15				15						
			英語会話	1	講義	15				15						
		初修外国語	中国語	1	講義	15	選択1単位以上	15								
			コリア語	1	講義	15		15								
			ドイツ語	1	講義	15		15								
ポルトガル語			1	講義	15	15										
情報		情報処理	1	演習	15	選択1単位以上 必修1単位+	15									
		情報リテラシー	1	講義	15			15								
		データサイエンス入門	1	講義	15			15								
共通基盤 科目群		大学の 学びの基盤	大学の学び入門	1	講義	15	必修 3単位	15								
			大学の学び-専門への誘い-	1	講義・演習	15			15							
	多職種理解と連携		1	講義	15				15							
計(卒業要件)						29										

リハビリテーション学部 言語聴覚学科 教育課程 (2021年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間 コマ数	履修方法び 卒業要件	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目群	基礎医学	医学概論	1		講義	7.5	必修6単位	7.5						
		解剖学総論	1		講義	7.5		7.5						
		局所解剖学 (言語・聴覚・発声・嚥下)	1		講義	7.5		7.5						
		基礎生理学	1		講義	7.5		7.5						
		基礎病理学	1		講義	7.5		7.5						
		医療危機管理 (窒息・誤嚥・吸引含む)	1		講義	15		15						
	臨床医学	内科学	1		講義	15	必修10単位		15					
		小児科学	1		講義	15				15				
		精神医学	1		講義	7.5		7.5						
		リハビリテーション医学	2		講義	15				15				
		リハビリテーション関連領域実技実習	1		実習	7.5		7.5						
		耳鼻咽喉科学	1		講義	15		15						
		神経内科学	1		講義	15				15				
		形成外科学	1		講義	15				15				
		脳神経外科学	1		講義	7.5				7.5				
	臨床歯科医学	歯科・口腔外科学	1		講義	15	必修1単位		15					
	音声・言語・聴覚医学	口腔運動医学	1		講義	7.5	3単位 必修		7.5					
		言語医学	1		講義	7.5			7.5					
		聴覚医学	1		講義	7.5			7.5					
	心理学	臨床心理学	1		講義	15	必修7単位			15				
		生涯発達心理学	2		講義	15		15						
		学習・認知心理学	2		講義	15				15				
		心理測定法	2		講義	15					15			
	言語学	言語学	2		講義	15	必修2単位	15						
	音声学	音声学	2		講義	15	必修2単位		15					
	音響学	音響音声学	1		講義	7.5	必修2単位	7.5						
		聴覚心理学	1		講義	7.5		7.5						
言語発達学	言語発達学	2		講義	15	必修2単位		15						
社会福祉・教育	ICF とリハビリテーション	1		講義	7.5	選択1単位以上 必修5単位+	7.5							
	AAC と教材学	1		講義	7.5				7.5					
	臨床スキル論	1		講義	15							15		
	リハビリテーション経済学		1	講義	7.5					7.5				
	チーム医療とリハビリテーション	1		講義	7.5		7.5							
	地域社会学		1	講義	7.5					7.5				
	社会福祉制度・関連法規	1		講義	15		15							
計 (卒業要件)						41								

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年		
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門科目群	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論	1		講義	15	必修59単位+選択7単位以上	15							
		言語聴覚障害学演習	1		演習	7.5		7.5							
		言語聴覚障害学診断学	1		講義	15			15						
		言語聴覚障害学臨床論	1		講義	15							15		
		地域リハビリテーション学	1		講義	15			15						
		地域参加支援総論	1		講義	15								15	
	失語・高次脳機能障害学	失語症学	2		講義	15		必修8単位		15					
		高次脳機能障害学	2		講義	15					15				
		失語・高次脳機能障害学評価法	2		講義	15						15			
		失語・高次脳機能障害学支援論	2		講義	15							15		
	言語発達障害学	言語発達障害学	2		講義	15		6単位 必修			15				
		言語発達障害学評価法	2		講義	15						15			
		言語発達障害学支援論	2		講義	15							15		
	運動系障害学	病理音声学	2		講義	15		必修11単位		15					
		発声発語・嚥下障害学評価法	2		講義	15					15				
		器質性・機能的発話障害学支援論	2		講義	15						15			
		運動性発話障害学支援論	2		講義	15							15		
		非流暢性発話学支援論	1		講義	15							15		
		摂食・嚥下障害学支援論	2		講義	15							15		
	聴覚障害学	聴覚障害学	2		講義	15		必修8単位		15					
		聴覚検査法	2		講義	15					15				
		聴覚補償	1		講義	15						15			
		先天性聴覚障害学支援論	2		講義	15							15		
		後天性聴覚障害学支援論	1		講義	7.5							7.5		
	演習	地域参加支援演習Ⅰ	2		演習	30		必修4単位+ 選択7単位以上			30				
		地域参加支援演習Ⅱ	2		演習	30						30			
		聴覚障害学演習		2	演習	30							30		
		運動系障害学演習		2	演習	30								30	
		言語系障害学演習		2	演習	30								30	
		小児系障害学演習		2	演習	30									30
卒業研究			3	演習	45									45	
臨床実習	見学実習	1		実習	1w	必修16単位		1w							
	観察実習	3		実習	3w				3w						
	評価実習	6		実習	6w						6w				
	統合実習	6		実習	6w								6w		
計（卒業要件）						66									
卒業要件（最低）単位数						136									

# 医療技術学部検査技術学科

## 教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、情報対応力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群である。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を修得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

## 共通基盤科目群

共通基盤科目群は、医療技術学部に通ずる学習の基盤を形成し、チーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群である。

目標：

- ・高等学校教育から大学教育へ円滑な転換を図る。
- ・将来、チーム医療を担う一員としての態度を養う。
- ・他の医療専門職との協働に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。

## 専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群である。

目標：

- ・臨床検査技師としての基礎となる専門知識、及び保健・医療に携わるものとして共通理解をしておくべき知識を修得する。

## 専門科目群

専門科目群は臨床検査技師の高度な専門知識・技術を修得する科目群である。

目標：

- ・多様な疾病、病態に沿った臨床検査を実践する上で必要となる専門知識と技術を養い、国家資格取得後、直ちに臨床現場で診療支援ができる能力の育成を目指す。

医療技術学部 検査技術学科 教育課程 (2022年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年		
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目群	心身の発達	心理学		2	講義	15	選択2単位以上		15						
		教育学		2	講義	15			15						
		教育心理学		2	講義	15			15						
		健康スポーツ理論		1	講義	15			15						
		健康スポーツ実技		1	実技	15			15						
	思想及び表現	生命倫理	2		講義	15	必修2単位+ 選択2単位以上			15					
		哲学		2	講義	15			15						
		現代文学		2	講義	15			15						
		人間と宗教		2	講義	15			15						
	人間と生活及び 社会のしくみ	法学（日本国憲法含む）		2	講義	15	必修2単位以上		15						
		社会学	2		講義	15			15						
		生活文化と医療		2	講義	15			15						
		経済学		2	講義	15			15						
		地域ボランティア活動論		1	講義	7.5				7.5					
	自然の原理及び環境	環境学		2	講義	15	必修5単位以上		15						
		基礎生物学		1	講義	7.5			7.5						
		生物学		1	講義	7.5			7.5						
		基礎数学		1	講義	7.5			7.5						
		数学		1	講義	7.5			7.5						
		基礎化学		1	講義	7.5			7.5						
		化学		1	講義	7.5			7.5						
		基礎物理学		1	講義	7.5			7.5						
		物理学		1	講義	7.5			7.5						
	英語	英語リーディング	1		講義	15	必修3単位以上		15						
		医療英語会話	1		講義	15			15						
		医療英語リーディング	1		講義	15				15					
		英語会話		1	講義	15				15					
		英語アカデミックリーディング・ライティング		1	講義	15					15				
		初修外国語	中国語		1	講義	15	選択1単位以上	15						
			コリア語		1	講義	15		15						
			ドイツ語		1	講義	15		15						
			ポルトガル語		1	講義	15		15						
		情報	情報処理	1		演習	15	必修1単位以上	15						
情報リテラシー			1	講義	15		15								
データサイエンス入門			1	講義	15		15								
共通基盤 科目群	大学の 学びの基盤	大学の学び入門	1		講義	15	必修3単位	15							
		大学の学び - 専門への誘い -	1		講義・演習	15		15							
		多職種理解と連携	1		講義	15			15						
計（卒業要件）						21									

医療技術学部 検査技術学科 教育課程 (2022年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目群	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	1		講義	15		15						
		解剖学Ⅱ	1		講義	15			15					
		生理学Ⅰ	1		講義	15		15						
		生理学Ⅱ	1		講義	15			15					
		生理学実習	1		実習	22.5				22.5				
		生化学	1		講義	15			15					
		組織学	1		講義	15				15				
		組織学実習	1		実習	15					15			
		基礎発生工学	1		講義	15		15						
	臨床検査の基礎とその疾病との関連	病理学	1		講義	15			15					
		病態薬理学	1		講義	15				15				
		臨床医学特殊講義		1	講義	15					15			
		内科学	1		講義	15				15				
		老年医学	1		講義	7.5					7.5			
		遺伝と病気		1	講義	15			15					
		感染と免疫	1		講義	15			15					
		健康食品学	2		講義	15						15		
		生殖医療技術学	1		実習	22.5					22.5			
	保健医療福祉と臨床検査	医学概論	2		講義	15		15						
		公衆衛生学	2		講義	15		15						
		カウンセリング		1	講義	15				15				
		臨床心理学		1	講義	15			15					
		国際医療協力論		1	講義	15		15						
		社会福祉・地域サービス論	1		講義	15					15			
	医療工学及び医療情報	医用電子工学	1		講義	15						15		
		医用電子工学実習	1		実習	22.5						22.5		
		医療システムとマネージメント		1	講義	15				15				
		情報科学概論	1		講義	15							15	
		生体計測工学		1	講義	7.5							7.5	
		医療統計学	1		講義	15		15						
計 (卒業要件)						27								

必修26単位+選択1単位以上



区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目群	病態学	臨床検査解析学 (Reversed CPC) I	1		講義	15					15			
		臨床検査解析学 (Reversed CPC) II	1		講義	15						15		
		臨床検査医学	2		講義	15				15				
		電気泳動分析病態解析学	2		講義	15						15		
		ビットフォール解析学	2		講義	15						15		
	血液学的検査	血液検査学	2		講義	30			15	15				
		血液検査学実習	2		実習	30					30			
	病理学的検査	病理検査学	2		講義	15			15					
		病理検査学実習	2		実習	30						30		
		細胞診断学	1		講義	15				15				
	尿・糞便等一般検査	臨床検査学総論	1		講義	15				15				
		臨床検査学総論実習	1		実習	22.5					22.5			
		医動物学実習	1		実習	22.5		22.5						
	免疫学的検査・生化学的検査	免疫検査学	2		講義	30			15	15				
		免疫検査技術学実習	2		実習	30					30			
		臨床化学検査学	2		講義	30			15	15				
		臨床化学検査学実習	2		実習	30						30		
		RI 検査学	1		講義	7.5						7.5		
		食品衛生学		2	講義	15						15		
	遺伝子関連・染色体検査	遺伝子検査学	1		講義	15			15					
		遺伝子検査学実習	1		実習	22.5				22.5				
		遺伝子分析学		1	講義	15				15				
	輸血・移植検査	輸血検査学	2		講義	15					15			
		輸血検査学実習	2		実習	30						30		
	微生物学的検査	微生物検査学	2		講義	15				15				
		微生物検査学実習	2		実習	45						45		
		ウイルス検査学	2		講義	15			15					
	生理学的検査	生理機能検査学	2		講義	30			15	15				
		生理機能検査学実習	2		実習	45					45			
		画像解析検査学	2		講義	15						15		
		生理検査判読学演習	2		演習	15						15		
		医療現場と臨床検査	2		講義	15				15				
総合臨床検査管理	関係法規	2		講義	15		15							
	臨床検査学総合演習 I	2		演習	22.5						22.5			
	臨床検査学総合演習 II	2		演習	30							30		
医療安全管理	医療安全管理学演習	1		演習	15			15						
	医療機器管理学	1		講義	15		15							
臨地実習	総合実習 (臨地実習前技能評価)	1		実習	1W						1W			
	臨地実習	11		実習	11W							11W		
卒業研究	卒業研究	8		演習	120							60	60	
計 (卒業要件)						79								
卒業要件 (最低) 単位数						127								

必修79単位以上

# 医療技術学部放射線学科

## 教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、情報対応力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群である。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を修得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

## 共通基盤科目群

共通基盤科目群は、医療技術学部に通ずる学習の基盤を形成し、チーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群である。

目標：

- ・高等学校教育から大学教育へ円滑な転換を図る。
- ・将来、チーム医療を担う一員としての態度を養う。
- ・他の医療専門職との協働に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。

## 専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群である。

目標：

- ・放射線学の基盤となる基礎的医学知識を修得する。
- ・診療放射線技師の臨床実践に必要な臨床医学知識及び技術を修得する。
- ・放射線学の基盤となる基礎的理工学知識を修得する。
- ・診療放射線技師の臨床実践に必要な放射線科学的知識及び技術を修得する。

## 専門科目群

専門科目群は、診療放射線技師の高度な専門知識・技術を修得する科目群である。

目標：

- ・医療専門職としての倫理と責務を実践する感性と責任感を身につけ、高度な知識・技術をもった診療放射線技師として、放射線学に基づく臨床実践を提供する能力(知識・技術・態度)を修得する。
- ・診療放射線技師の臨床実践における諸問題を抽出、問題提起し、解決方法の提案、検証を科学的に探求する能力を修得する。

医療技術学部 放射線学科 教育課程 (2023年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目群	心身の発達	心理学		2	講義	15	選択4単位以上		15					
		教育学		2	講義	15			15					
		教育心理学		2	講義	15			15					
		健康スポーツ理論		1	講義	15			15					
		健康スポーツ実技		1	実技	15			15					
	思想及び表現	生命倫理		2	講義	15	選択4単位以上				15			
		哲学		2	講義	15			15					
		現代文学		2	講義	15			15					
		人間と宗教		2	講義	15			15					
		芸術		2	講義	15			15					
	人間と生活及び社会のしくみ	法学 (日本国憲法含む)		2	講義	15	選択3単位以上		15					
		社会学		2	講義	15			15					
		生活文化と医療		2	講義	15			15					
		経済学		2	講義	15			15					
		地域ボランティア活動論		1	講義	7.5				7.5				
	自然の原理及び環境	環境学		2	講義	15	選択4単位以上		15					
		基礎生物学		1	講義	7.5			7.5					
		生物学		1	講義	7.5			7.5					
		基礎数学		1	講義	7.5			7.5					
		数学		1	講義	7.5			7.5					
		基礎化学		1	講義	7.5			7.5					
		化学		1	講義	7.5			7.5					
		基礎物理学		1	講義	7.5			7.5					
		物理学		1	講義	7.5			7.5					
	英語	英語リーディング	1		講義	15	必修3単位以上		15					
		医療英語会話	1		講義	15			15					
		医療英語リーディング	1		講義	15				15				
		英語会話		1	講義	15				15				
		英語アカデミックリーディング・ライティング		1	講義	15					15			
	初修外国語	中国語		1	講義	15	選択1単位以上		15					
		コリア語		1	講義	15			15					
		ドイツ語		1	講義	15			15					
ポルトガル語			1	講義	15			15						
情報	情報処理	1		演習	15	必修1単位以上		15						
	情報リテラシー		1	講義	15			15						
	データサイエンス入門		1	講義	15			15						
共通基盤科目群	大学の学びの基盤	大学の学び入門	1		講義	15	必修3単位		15					
		大学の学び - 専門への誘い -	1		講義・演習	15			15					
		多職種理解と連携	1		講義	15				15				
計 (卒業要件)						23								

医療技術学部 放射線学科 教育課程 (2023年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年				
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎科目群	基礎医学系	解剖学Ⅰ	1		講義	15	必修9単位	15									
		解剖学Ⅱ	1		講義	15			15								
		生理学Ⅰ	1		講義	15			15								
		生理学Ⅱ	1		講義	15			15								
		病理学	1		講義	15			15								
		薬理学	1		講義	15				15							
		生化学	1		講義	15			15								
		公衆衛生学	2		講義	15			15								
	臨床医学系	内科学		1	講義	15	必修2単位+ 選択2単位以上										
		看護技術論		1	講義	15					15						
		臨床心理学		1	講義	15				15							
		画像診断学Ⅰ	2		講義	15					15						
		画像診断学Ⅱ		2	講義	15						15					
	医療理工学系	医療基礎生物学		1	講義	7.5	必修1単位+ 選択1単位以上	7.5									
		医療基礎数学		1	講義	7.5		7.5									
		医療基礎化学		1	講義	7.5		7.5									
		医療基礎物理学	1		講義	7.5	7.5										
		医療電気・電子工学Ⅰ	2		講義	15	必修3単位+ 選択1単位以上	15									
		医療電気・電子工学Ⅱ		2	講義	15			15								
		医療電気・電子工学演習		1	演習	15										15	
		医療電気・電子工学実験		1	実験	15						15					
		医療統計学	1		演習	15					15						
	放射線科学系	放射線医療学概論	2		講義	15	必修14単位以上	15									
		放射線救急医学		1	講義	15					15						
		放射線文献講読Ⅰ		1	演習	15						15					
		放射線文献講読Ⅱ		1	演習	15							15				
		放射線物理学Ⅰ	2		講義	15					15						
		放射線物理学Ⅱ	2		講義	15						15					
		放射線物理学演習		1	演習	15										15	
		放射化学	2		講義	15					15						
		放射化学演習		1	演習	15						15					
		放射線生物学	2		講義	15			15								
		放射線生物学演習		1	演習	15										15	
放射線計測学Ⅰ		2		講義	15						15						
放射線計測学Ⅱ		1		講義	15							15					
放射線計測学演習			1	演習	15										15		
放射線計測学実験		1		実験	15							15					
計 (卒業要件)						33											

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目群	診療放射線学	診療放射線学概論	2		講義	15	必修8単位	15						
		診療画像検査学概論	2		講義	15			15					
		診療放射線学導入実習	1		実習	1W				1W				
		診療放射線学直前実習	1		実習	15						15		
		診療放射線学総合臨床実習	2		実習	2W							2W	
	診療画像解析学	診療画像解析学Ⅰ	2		講義	15	必修25単位以上	15						
		診療画像解析学Ⅱ	2		講義	15				15				
		診療画像解析学Ⅲ	2		講義	15					15			
		診療画像解析学演習		1	演習	15								15
		診療画像解析学実習Ⅰ	1		実習	22.5						22.5		
		診療画像解析学実習Ⅱ	1		実習	22.5						22.5		
		診療画像解析学実習Ⅲ	1		実習	22.5							22.5	
		診療画像解析学特論	2		講義	15							15	
		医療放射線機器学Ⅰ	2		講義	15			15					
		医療放射線機器学Ⅱ	2		講義	15				15				
		医療放射線機器学Ⅲ	2		講義	15					15			
		診療画像解剖学Ⅰ	2		講義	15			15					
		診療画像解剖学Ⅱ	2		講義	15				15				
		診療画像解析学臨床実習Ⅰ	2		実習	2W								2W
		診療画像解析学臨床実習Ⅱ	2		実習	2W								2W
	核医学検査技術学	核医学検査技術学Ⅰ	2		講義	15	必修11単位以上		15					
		核医学検査技術学Ⅱ	2		講義	15				15				
		核医学機器工学	2		講義	15					15			
		放射線防護学	2		講義	15						15		
		核医学検査技術学演習		1	演習	15								15
		核医学検査技術学実習	1		実習	22.5							22.5	
		核医学検査技術学臨床実習	2		実習	2W								2W
	放射線治療技術学	放射線治療技術学Ⅰ	2		講義	15	必修10単位以上		15					
		放射線治療技術学Ⅱ	2		講義	15				15				
		放射線治療機器工学	2		講義	15					15			
		粒子線治療技術学	1		講義	7.5						7.5		
		放射線腫瘍学		2	講義	15							15	
		放射線治療技術学演習		1	演習	15								15
		放射線治療技術学実習	1		実習	22.5							22.5	
	放射線治療技術学臨床実習	2		実習	2W							2W		
	医療画像情報学	医療画像情報学Ⅰ	2		講義	15	必修7単位以上		15					
		医療画像情報学Ⅱ	2		講義	15				15				
		医療画像工学	1		講義	7.5					7.5			
		放射線情報システム学	2		講義	15						15		
		医療画像情報学演習		1	演習	15								15
放射線医療安全管理学	放射線安全管理学	2		講義	15	必修8単位				15				
	診療放射線技師の義務と役割	1		講義	15					15				
	放射線関係法規	1		講義	15					15				
	放射線感染制御学	2		演習	30						30			
	医療安全管理学	2		演習	30						30			
総合領域	放射線科学特別講義		1	講義	15	必修8単位以上							15	
	診療放射線学総合演習	2		演習	30								15	15
	診療放射線技術と研究	1		講義	7.5						7.5			
	診療放射線学研究Ⅰ	1		演習	15						15			
	診療放射線学研究Ⅱ	4		演習	60								30	30
計（卒業要件）						77								
卒業要件（最低）単位数						133								

# 医療技術学部臨床工学科

## 教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、情報対応力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群である。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を修得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

## 共通基盤科目群

共通基盤科目群は、医療技術学部に通ずる学習の基盤を形成し、チーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群である。

目標：

- ・高等学校教育から大学教育へ円滑な転換を図る。
- ・将来、チーム医療を担う一員としての態度を養う。
- ・他の医療専門職との協働に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。

## 専門基礎科目群

専門基礎科目群は、臨床工学に必要な専門関連分野を系統的・体系的に理解するための科目群である。

目標：

- ・人体の生命現象における総合的な理解を深める。
- ・医療で応用される理工学的な基礎知識と技術を養う。
- ・医療機器の安全かつ適正使用のための基礎的知識を養う。

## 専門科目群

専門科目群は、多様な疾病や病態に沿った医療技術の提供に必要な知識と技術を系統的・体系的に理解するための科目群である。

目標：

- ・多様な疾病や病態に沿った医療技術を提供できる理論と実践力を養う。
- ・医療者としての高い倫理観を養う。
- ・臨床工学を生体医工学として追究するための問題意識と研究意識を養う。

医療技術学部 臨床工学科 教育課程 (2023年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1学年		2学年		3学年		4学年			
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目群	心身の発達	心理学	2		講義	15	必修2単位+ 選択2単位以上		15							
		教育学		2	講義	15			15							
		教育心理学		2	講義	15			15							
		健康スポーツ理論		1	講義	15			15							
		健康スポーツ実技		1	実技	15			15							
	思想及び表現	生命倫理	2		講義	15	必修2単位+ 選択2単位以上				15					
		哲学		2	講義	15			15							
		現代文学		2	講義	15			15							
		人間と宗教		2	講義	15			15							
		芸術		2	講義	15			15							
	人間と生活及び社会のしくみ	法学 (日本国憲法含む)	2		講義	15	選択3単位以上	15								
		社会学	2		講義	15			15							
		生活文化と医療	2		講義	15			15							
		経済学	2		講義	15			15							
		地域ボランティア活動論	1		講義	7.5				7.5						
	自然の原理及び環境	環境学	2		講義	15	必修4単位以上	15								
		基礎生物学	1		講義	7.5			7.5							
		生物学	1		講義	7.5			7.5							
		基礎数学	1		講義	7.5			7.5							
		数学	1		講義	7.5			7.5							
		基礎化学	1		講義	7.5			7.5							
		化学	1		講義	7.5			7.5							
		基礎物理学	1		講義	7.5			7.5							
		物理学	1		講義	7.5			7.5							
	英語	英語リーディング	1		講義	15	必修3単位以上	15								
		医療英語会話	1		講義	15			15							
		医療英語リーディング	1		講義	15				15						
		英語会話	1		講義	15				15						
		英語アカデミックリーディング・ライティング	1		講義	15					15					
		初修外国語	中国語	1		講義	15	選択1単位以上	15							
			コリア語	1		講義	15			15						
			ドイツ語	1		講義	15			15						
ポルトガル語			1		講義	15			15							
情報		情報処理	1		演習	15	必修1単位以上	15								
	情報リテラシー	1		講義	15			15								
	データサイエンス入門	1		講義	15			15								
共通基盤	大学の学びの基盤	大学の学び入門	1		講義	15	必修3単位	15								
		大学の学び-専門への誘い-	1		講義・演習	15			15							
		多職種理解と連携	1		講義	15				15						
計 (卒業要件)						23										



医療技術学部 臨床工学科 教育課程 (2023 年度入学者～)

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎科目群	人体の構造及び機能	解剖学Ⅰ	1		講義	15	必修18単位+選択2単位以上	15							
		解剖学Ⅱ	1		講義	15			15						
		生理学Ⅰ	1		講義	15			15						
		生理学Ⅱ	1		講義	15				15					
		生理学演習	1		演習	7.5					7.5				
		生化学	1		講義	15			15						
		基礎医学実習	1		実習	15					15				
	臨床工学に必要な医学的基礎	医学概論	1		講義	15			15						
		公衆衛生学	2		講義	15				15					
		病理学	1		講義	15			15						
		病理学演習	1		演習	7.5					7.5				
		臨床生化学	1		講義	15					15				
		臨床免疫学	1		講義	15						15			
		薬理学	1		講義	15			15						
		薬理学演習	1		演習	7.5				7.5					
		チーム医療概論	1		講義	7.5						7.5			
		医療関係法規	1		講義	7.5						7.5			
		臨床心理学		1	講義	15				15					
		臨床神経生理学		2	講義	15				15					
		臨床検査学総論		2	講義	15					15				
	臨床工学に必要な理工学的基礎	応用数学	2		講義	15	必修24単位		15						
		医用電気工学Ⅰ	2		講義	15		15							
		医用電気工学Ⅱ	2		講義	15			15						
		医用電気工学実習	1		実習	15			15						
		医用電子工学	2		講義	15				15					
		医用電子工学実習	1		実習	15				15					
		計測工学	2		講義	15			15						
		医用超音波工学	1		講義	15				15					
		放射線工学概論	1		講義	15					15				
		医用機械工学	2		講義	15				15					
		基礎工学実験	1		実験	22.5			22.5						
	臨床工学に必要なシステム工学の基礎	医療情報処理工学	2		講義	15				15					
		医療情報処理工学実習	1		実習	15					15				
システム工学		2		講義	15					15					
システム工学演習		1		演習	15						15				
医用情報通信工学		1		講義	15						15				
計 (卒業要件)						44									

区分	授業科目	単位数		授業形態	年間コマ数	履修方法び卒業要件	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年	
		必修	選択				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目群	医用生体工学	医用工学概論	1		講義	15		15						
		人間工学	2		講義	15			15					
		医用レーザ工学		2	講義	15					15			
		医用画像処理工学		2	講義	15					15			
		生体物性工学	2		講義	15					15			
		医用材料工学	2		講義	15						15		
	医用機器学及び臨床支援技術学	医用機器学概論	1		講義	15		15						
		医用治療機器学	2		講義	15				15				
		医用治療機器学演習	1		演習	7.5					7.5			
		生体計測装置学	2		講義	15			15					
		生体計測装置学演習	1		演習	7.5				7.5				
		臨床支援技術学	2		講義	15						15		
	生体機能代行技術学	臨床支援技術学実習	1		実習	15						15		
		生体機能代行技術学（呼吸）	1		講義	7.5				7.5				
		生体機能代行技術学（循環）	1		講義	7.5				7.5				
		生体機能代行技術学（代謝）	1		講義	7.5				7.5				
		呼吸療法技術学	2		講義	15					15			
		呼吸療法技術学実習	1		実習	15						15		
		体外循環技術学	2		講義	15					15			
		体外循環技術学実習	1		実習	15						15		
	医療安全管理学	血液浄化療法技術学	2		講義	15					15			
		血液浄化療法技術学実習	1		実習	15						15		
		医用機器安全管理学Ⅰ	2		講義	15			15					
		医用機器安全管理学Ⅱ	2		講義	15				15				
		医用機器安全管理学実習	1		実習	15					15			
		医療安全工学		2	講義	15				15				
		生体計測装置学実習	1		実習	15				15				
	関連臨床医学	医用治療機器学実習	1		実習	15					15			
		臨床工学関係法規	1		講義	7.5						7.5		
		臨床医学総論Ⅰ	2		講義	15			15					
		臨床医学総論Ⅱ	2		講義	15				15				
		臨床医学総論Ⅲ	2		講義	15					15			
	実習 臨床	臨床医学総論Ⅳ	2		講義	15						15		
		救急救命医学		2	講義	15					15			
	統合と探求の臨床工学の	総合実習	1		実習	15							15	
		臨床実習	7		実習	7W							7W	
		臨床工学総合演習Ⅰ	2		演習	30					15	15		
		臨床工学総合演習Ⅱ	2		演習	30								30
		臨床工学英文講読		2	講義	15						15		
		臨床工学研究セミナー	2		講義	15							15	
	卒業研究	4		演習	60							30	30	
計（卒業要件）						69								
卒業要件（最低）単位数						136								

必修63単位＋選択6単位以上

## 3. 履修登録

学生は、その年次に開講される授業科目の中から各自履修する科目を選択し、以下の手順にそって履修登録を行います。履修登録をした科目でなければ、授業に出席しても単位を修得することはできません。また、**所定の期日までに履修登録を行わなかった場合は、当該期間における履修の権利をすべて放棄したことになります**ので十分注意してください。

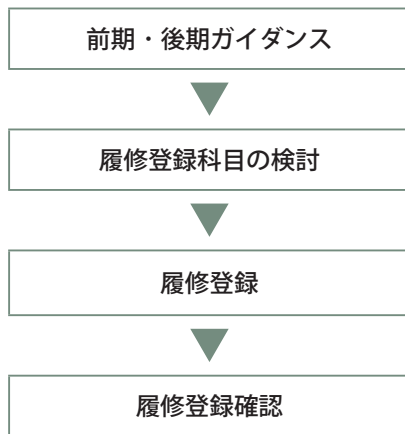
### 履修登録期間

前期開講科目及び通年開講科目は前期履修登録期間中に、後期開講科目は後期履修登録期間中に、集中講義科目は開講学期にそれぞれ履修登録を行ってください。

### 履修登録の手順

履修登録の手順は以下のとおりです。

#### 【履修登録の流れ】



#### 【学生の行動】

- 各学期開始前に「時間割」を受け取る。
- 「時間割」「シラバス」等を参考に履修登録科目を選択する。
- 所定の期日までに Active Academy Advance 上で履修する科目の登録を行う。
- Active Academy Advance 修学ポートフォリオ「履修情報」で履修登録科目が正確に登録されているか確認する。
- 履修登録科目に誤りがある場合のみ、履修登録確認表を持参のうえ、事務室へ訂正を申し出る。

### 履修登録上の注意

- ・履修登録は、各学期の定められた期間内に必ず学生本人が行ってください。
- ・同一時間に2科目以上の科目を重複して履修登録することはできません。
- ・既に単位を修得している科目の再履修はできません(留年者を除く)。
- ・履修登録確認期間後の追加、取消は一切認められません。
- ・休学期間中は履修登録を行うことはできません。
- ・既取得単位認定(※)申請中の科目でも必ず履修登録を行ってください。
- ・4年間を見通し、単位不足にならないよう余裕をもって履修してください。
- ・GPA制度では、単位を修得できなかった不合格科目も成績に加算されます。従って、不合格科目が多いとそれだけGPAが低くなります。また、途中で受講をやめたり、試験を放棄するとGPAが低下します(78ページ参照)。

## 既取得単位認定

短期大学を含む他大学での既取得単位のうち、本学教養科目群の中に対応する科目があり、教務委員会で認められた場合、本学の卒業に必要な単位として認定される場合があります。既取得単位の認定を希望する学生は、本学所定の「**単位認定申請書**」(様式第 3-6 号)に成績証明書及び科目の内容が判断できるもの(シラバス等)を添付し履修登録期間内に事務室へ提出してください。

### 【認定範囲】教養科目群の中から合計 4 科目を上限とする

\*ただし、理学療法学科または作業療法学科に在籍する学生で、既に理学療法士または作業療法士の国家資格を取得している学生については、上記以外の分野で単位を認める場合があります。希望者は履修登録期間内に事務室に相談してください。

## CAP 制(キャップ制/履修登録単位数の上限設定)

単位の修得に必要な学修時間を確保するため、学期ごとに登録できる総単位数の上限を設定する制度を CAP 制といいます。1 単位当たりが必要な 45 時間の学修時間を確保し、学修すべき授業科目を精選することで授業内容を真に身につけることを目的としています。本学では原則として年間に履修登録できる総単位数の上限を 48 単位と定めます。ただし、成績優秀者(前期 GPA が 3.50 以上の者)には後期の履修登録時に、定められた履修登録単位の上限以上の履修を認める場合があります。

なお、次の科目は CAP 制の対象とはなりません。

1. 集中講義科目
2. 臨地・臨床実習科目
3. 既取得単位認定科目

## 再履修

選択科目のうち、その年度に単位を修得できなかった科目について、次年度以降に再履修することができます。再履修を希望する学生は、当該科目の開講される履修登録期間中に「**再履修願**」を事務室へ提出してください。その場合、時間割上重複する科目は原則として再履修できませんが、単位認定者に「**単位認定緩和措置願**」(様式第 3-7 号)を提出し、単位認定者及び教務委員長がともに承認した場合のみ履修が認められます。

## シラバス

シラバスとは授業計画のことであり、以下の内容が記載されています。

- ① 授業形態：講義・演習・実習等の区分
- ② 授業計画：回数、題目、内容、担当者
- ③ 科目の目的：その科目の目指す事柄や目的、ディプロマ・ポリシーとの関連
- ④ 到達目標：到達を期待する目標
- ⑤ 関連科目：その科目と関連する科目
- ⑥ 成績評価方法・基準：成績評価の方法及び基準
- ⑦ 準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安：予習・復習等授業外の自己学習
- ⑧ 教科書・参考書：当該科目の教科書(必ず購入)及び教科書以外の参考書
- ⑨ オフィス・アワー：授業に関する質問等を受けるため教員が研究室等にいる時間帯
- ⑩ 国家試験出題基準：資格ごとに割り当てられた国家試験出題基準の項目
- ⑪ 履修条件・履修上の注意：履修にあたっての注意事項等
- ⑫ アクティブ・ラーニングの実施：「アクティブ・ラーニング」を導入している場合、その具体的な内容
- ⑬ 実務経験のある教員による授業：実務経験がある教員が担当し、実践的教育を行う授業科目

履修を予定している科目の内容の事前確認はもちろんのこと、授業の進行状況、成績評価の方法・基準等、普通の学習にシラバスを活用しましょう。

## Active Academy Advance

Active Academy Advance では、インターネットを利用して休講・補講情報や行事予定など大学から発信された情報をパソコンやスマートフォンで確認することができます。登下校時に大学の掲示板を確認するとともに、日頃から Active Academy Advance も確認し、最新の情報を得るよう心掛けてください。

また、Active Academy Advance では、情報の確認以外にも履修登録や履修状況の確認、講義資料の事前受け取り、成績表の閲覧なども可能です。Active Academy Advance を積極的に活用することにより、みなさんが主体的に日々の学習活動に取り組めるようサポートすることを目的としています。

機能名称	内 容
個人へのお知らせ・連絡事項	大学・教員からの連絡事項の確認
休補講情報	授業変更の確認（休講・補講・教室変更）
web フォルダ	授業や学生生活・就職等に関する情報の閲覧、各種届出用紙のダウンロード
履修登録	履修科目の登録
講義資料取得	各授業科目について、事前配付資料がある場合はここからダウンロード
レポート提出	各授業科目について、課題（レポート等）が課される場合はこちらから内容を確認し、適宜作成した課題をこちらからアップロードして提出
シラバス	シラバスの閲覧
キャリア相談予約	キャリア相談及び学生相談の予約
企業検索	求人票の検索 ※大学に届いている求人
授業評価アンケート	「学生による授業アンケート」への回答 ※各学期に実施
アンケート	その他アンケートへの回答
プロフィール変更	学生自身の住所、電話番号、E-mail アドレスの変更 ※学生自身の氏名変更や保証人に関する変更は事務室での手続きが必要(14ページ参照)
修学ポートフォリオ	学生自身の基本情報の確認、履修状況の確認、成績（修得単位・GPA 等）の確認、出席状況の確認

## 4. 授業

本学では1年を原則として前期と後期に分けて授業を行います。

前期(後期)開講科目 …… 前期(後期)15週で完結

通年開講科目…………… 30週(前期15週・後期15週)で完結

### 授業時間

授業時間は1時限(1コマ)90分です。

I時限	9:00～10:30
II時限	10:40～12:10
III時限	13:00～14:30
IV時限	14:40～16:10
V時限	16:20～17:50

注) 定期試験、追試験・再試験及び臨地・臨床実習は、別に定める時間割・計画表に基づいて行われます。

### 欠席・遅刻・早退

原則として授業を欠席・遅刻・早退する(した)場合、事前または事後(当該事由が解消した日から1週間以内)に各自単位認定者に申し出てください。

次の場合、授業を欠席・遅刻・早退しても出席扱いになります(公欠)。ただし、いずれの場合も「**欠席・遅刻・早退届**」(様式第3-1号)〈証明する書類を添付〉を事務室に提出した場合に限ります。

① 学校保健安全法による出席停止のため登校を停止された場合〈**診断書\***を添付〉 ※診断名・出席停止期間が記載されたもの

※学校保健安全法に定める感染症に罹患した場合は、健康管理センターへ速やかに連絡してください(21ページ記載)。

② 天災等の理由により、公共の交通機関が遅延して登校に支障があると本学が認めた場合〈**関係機関の証明書**を添付〉

③ 忌引きの場合〈**会葬礼状等証明する書類**を添付〉

※忌引きの範囲は次のとおりです。ただし、その起算日は原則亡くなった日の前日から告別式までの間とし、日数は土日祝日を含みます。

父母 7日

配偶者、子供 10日

祖父母、兄弟姉妹 3日

伯叔父母、曾祖父母など 1日

④ その他学長が認めた行事等に参加する場合

なお、授業開始後30分以上の遅刻や、理由なき途中退席は「欠席」とみなします。また、遅刻は3回をもって1回の「欠席」扱いとします。

※全授業回数の3分の1以上を欠席した場合は、当該科目定期試験の受験資格が失われます(公欠の場合はこれに含まれません)。

### 休講・補講・教室変更

休講・補講及び教室変更についての連絡はActive Academy Advanceにて行います。なお、休講の連絡がないにもかかわらず、授業開始予定時間から30分を過ぎても授業が開始されない場合は、事務室に問い合わせる指示を受けてください。休講・補講などに関して電話等での問い合わせには一切応じられません。掲示板やActive Academy Advanceで確認してください。

## 学生による授業アンケート

「授業」は、みなさんが保健医療分野の専門職になるために身につけなければならない専門知識や技術を学ぶために、権利として保障されている大切なものです。その大切な「授業」の在り方を考えていくため、毎学期末に「学生による授業アンケート」を実施しています。アンケート結果は各担当教員や学科へ還元され、より良い授業となるよう教育改善に役立てられます。アンケートは、みなさんが授業を受けて感じたことを教員に伝える有効な手段ですので、ぜひ積極的に回答してください。

「学生による授業アンケート」は、毎学期末に Active Academy Advance を利用して実施します。回答時期・回答方法は別途お知らせします。

## 5. 試験

単位を認定するために、定期試験、授業内試験、レポート等の試験を行います。

### 定期試験

当該科目の終了時に実施される試験です。

#### (1) 受験資格

以下のいずれかに該当する場合は、定期試験を受験することができません

- ①学生証（または仮学生証）を所持しない場合
- ②履修登録をしていない科目を受験しようとする場合
- ③全授業回数の3分の1以上を欠席した場合
- ④受験科目の試験開始時刻に遅れた場合
- ⑤追試験・再試験においては、所定の手続きをとっていない場合

#### (2) 定期試験受験上の注意

定期試験受験に際しては、以下の注意事項を厳守してください

- ①原則として遅刻は認めない
- ②学生証（または仮学生証）を机上に置くこと
- ③試験開始後30分を経過しなければ試験場から退出できない
- ④試験場から退出した者の再入室は認めない
- ⑤その他試験場においては、すべて試験監督者の指示に従うこと

### 追試験

定期試験の欠席理由がやむを得ない事由である場合、定められた期間内に所定の手続きを行うことにより追試験を願い出ることができます。

追試験の受験を希望する場合は、事前または当該試験終了後指定の期日までに「追・再試験願」にその理由を証明する書類を添え、事務室に提出してください。手続きは定められた期間内に必ず本人が行ってください。追試験の成績評価は原則として79点(B)を上限とします。

なお、公欠に該当する理由により定期試験を欠席した場合の追試験は「特別追試験」とし、追試験料を免除します。その場合の成績評価は100点(A+)を上限とします。特別追試験を受験したい場合の手続きは、事務室に問い合わせてください。



●追試験を願い出ることができる理由

【特別追試験：公欠に該当する／追試験：公欠に該当しない】

	理 由	必要書類	取扱い
1	学校保健安全法による出席停止 (インフルエンザ、新型コロナウイルス等)	医師の診断書	特別追試験
2	忌引 (75 ページ記載)	会葬礼状等	特別追試験
3	天災等の理由による交通機関の遅延	関係機関の証明書	特別追試験
4	学長が認めた行事等に参加する場合	事由を証明できるもの	特別追試験
5	上記 1 に該当しない病気やケガ 等	医師の診断書	追試験
6	事故など不測の事態	事由を証明できるもの	追試験
7	就職試験 (説明会やガイダンスなどは除く)	採用試験案内 等	追試験
8	資格取得 (学科に関係すると認められる重要な資格のみ)	試験案内 等	追試験

※個人の不注意 (寝坊、試験時間の間違いなど) によって定期試験を受験できなかった場合、また上記 1～8 に該当する場合においても事由を証明できる書類等がない場合は追試験を願い出ることができません。

※上記 1～8 に該当する場合でも試験を受験した (途中退室も含む) 科目においては、追試験を願い出ることができません。

再試験 (定期試験等不合格の場合)

単位認定者が認めた場合に限り再試験を行います。再試験の受験を希望する場合は、証明書自動発行機にて「追・再試験願」の発行を受け、必要事項を記入の上事務室に提出してください。手続きは定められた期間内に必ず本人が行ってください。再試験の成績評価は 60 点 (C) を上限とします。

不正行為

試験に際して不正行為が発覚した場合は、当該科目と履修中の全ての科目が無効となります。また、嚴重な処分が行われることがあります。

群馬パース大学履修規程より抜粋

(不正行為)

第 19 条 試験 (成績評価のために課す試験並びに課題に対する小論及び成果物等) に際し、不正行為を行った者に対して学則第 47 条に基づき懲戒処分を行う。

(1) 試験における不正行為とは、以下に該当する行為をいう。

- ① 代人に受験させる行為及びそれを補助する行為
- ② 指定された以外の書籍・ノートなどを見る行為
- ③ 他人の答案を見る行為及び他人に答案を見せる行為
- ④ 通信機能を備えた電子機器及びその他の電子機器を使用する行為
- ⑤ 他人の受験を妨害する行為
- ⑥ その他、監督者の指示に従わず受験態度が不良であると認められる行為

(2) 不正行為の有無の判断は、試験中は試験監督者が、試験終了後は単位認定者が行い、不正行為が行われたと判断された場合は教務委員会に報告する。

(3) 不正行為を行った者に対する懲戒処分は、教授会の議を経て、学長が行う。懲戒処分及び基準は、次のとおりとする。

前項①に該当する行為を行った者……退学または無期停学

前項②～⑥に該当する行為を行った者……停学または訓告

(4) 懲戒処分を受けた者については、当該科目のほか当該学期に履修中の全ての科目を無効とする。

## 6. 単位認定

単位の認定は、シラバス「成績評価方法・基準」に準拠して行われます。成績の評価は以下の5段階に区分され、60点(C)以上を合格として単位が認定されます。59点以下(F)は不合格となり単位は認定されません。

A <sup>+</sup>	A	B	C	F
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
合格(単位認定)				不合格

各授業科目の単位数は次の基準により計算します。

- 講義・演習 : 15時間から30時間までの範囲において1単位とする。
- 実習 : 30時間から45時間までの範囲において1単位とする。
- 臨地・臨床実習 : 1週間相当の実習をもって1単位とする。

### GPA 制度

成績通知書に成績評価指標として、GPA(グレード・ポイント・アベレージ)が付記されます。

#### GPA とは

履修科目の成績を4点から0点のGP(グレード・ポイント)に換算し、当該授業科目の単位数を掛け合わせ合計した数値を、履修登録した科目の合計単位数で割った数値のことです。GPAは、履修した科目1単位あたりの成績を数値で示していますので、「A<sup>+</sup>が多い」、「Cが少ない」というだけでなく成績を客観的に見ることができます。また、GPAは学習の質を評価する成績評価の国際標準となっています。合格した科目だけでなく、不合格や履修放棄した科目もGPA算出対象となるため、履修登録や日々の学習に対して真剣に取り組むことが求められます。

#### GPA 算出基準

履修した科目の成績評価は100点満点で行います。点数や5段階に応じて科目毎にGP評点を算出します。各GP及び成績評価は、履修した科目毎に到達目標をどの程度達成できたかを表しています。

成績評価	GP	評価基準(点数)	到達目標達成レベル
A <sup>+</sup>	4.0	100点～90点	到達目標をきわめて優秀なレベルで達成している
A	3.0	89点～80点	到達目標を優秀なレベルで達成している
B	2.0	79点～70点	到達目標の一定の水準に達している
C	1.0	69点～60点	単位を認める最低限の水準には達している
F	0	59点～0点	到達目標に達していない

#### GPA 算出方法

GPAは、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にGP(4.0、3.0、2.0、1.0、0のいずれか)をかけ、その合計ポイントをそれぞれの単位数の総和で割ります(小数点以下第3位切捨て)。

(例)

科目名	評定	単位数	GP		
○○○○○概論	A <sup>+</sup>	2単位	4	2 × 4 =	8
△△△△△学Ⅰ	F	1単位	0	1 × 0 =	0
◇◇◇◇◇演習	B	2単位	2	2 × 2 =	4
合計		5単位			12点

$$\text{GPA} = 12 \text{ 点} \div \underline{5 \text{ 単位}} = 2.4$$

(この単位数↑にはF:不合格科目の単位数も含まれます)

GPAは、前期と後期の年間計2回算出します。また4年間の累計も算出します。

不合格となった科目を後に再履修して合格となった場合、各学期のGPA及び通算のGPAはそれぞれの成績を対象として算出します。

他大学等で履修した科目の単位で、本学の履修科目として修得済みと認められた単位（73 ページ参照）については GPA の対象とはなりません。

#### 注意

GPA 制度では、単位を修得できなかった不合格科目 (F) も成績に加算されます。従って、不合格科目が多いとそれだけ GPA が低くなります。また、途中で受講をやめたり、試験を放棄したりすると GPA が低下します。

## 7. 成績通知

前期の成績評価は 10 月までに、前期後期を合わせた成績評価（その学年の最終成績）は次年度の 4 月までに Active Academy Advance 修学ポートフォリオの「成績表」でお知らせします。また、保証人の方々へは、前期の成績評価は 10 月、前期後期を合わせた成績評価（その学年の最終成績）は 5 月に郵送します。

## 8. 進級

各学年の進級要件は、次に定めるとおりです。

#### 《全学部共通》

	進級要件	在学期間の上限
1 年次から 2 年次	1 年次に必要な全単位の修得	同一学年に在学できる期間は、原則として 2 年とする（休学期間は含まず）。 ※履修規程第 22 条の 2 より
2 年次から 3 年次	2 年次までに必要な全単位の修得	
3 年次から 4 年次	3 年次までに必要な全単位の修得	

\* 編入学、転入学、再入学者の在学期間の上限は学則第 13 条に示す範囲

## 9. 卒業

本学を卒業するためには、各学部学科の教育課程に定められている授業科目の分野ごとの卒業要件単位数以上を修得しなければなりません。

### 《看護学部》

分野	看護学科
教養科目群	26
専門基礎科目群	23
専門科目群	77
卒業要件単位数 合計	126

### 《リハビリテーション学部》

分野	理学療法学科	作業療法学科	言語聴覚学科
教養・共通基盤科目群	26	29	29
専門基礎科目群	43	41	41
専門科目群	65	63	66
卒業要件単位数 合計	134	133	136

### 《医療技術学部》

分野	検査技術学科	放射線学科	臨床工学科
教養・共通基盤科目群	21	23	23
専門基礎科目群	27	33	44
専門科目群	79	77	69
卒業要件単位数 合計	127	133	136

※各分野内でさらに区分ごとの必要修得単位数が定められているので、学科ごとの教育課程を参照してください。

卒業に必要な単位を4年間で修得できない場合は在学期間を延長できますが、その場合通算して8年を超えて在学することはできません。

## 10. 学位

本学において所定の単位を修得し、卒業が認定されると以下の学位が与えられます。

### 《看護学部》

看護学科
学士（看護学）

### 《リハビリテーション学部》

理学療法学科	作業療法学科	言語聴覚学科
学士（理学療法学）	学士（作業療法学）	学士（言語聴覚学）

### 《医療技術学部》

検査技術学科	放射線学科	臨床工学科
学士（臨床検査学）	学士（放射線学）	学士（臨床工学）

# 11. 資格

本学において所定の単位を修得し、卒業すると以下の資格が与えられます。

## 《看護学部》

看護学科		
看護師課程のみ	保健師課程選択の場合 (定員 20 名)	助産師課程選択の場合 (定員 6 名)
看護師国家試験受験資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	看護師国家試験受験資格 助産師国家試験受験資格
※保健師課程及び助産師課程の志望者は、看護学科の卒業要件を満たすと同時に、各国家試験受験資格取得要件も満たさなければなりません。		

※保健師免許取得者は第一種衛生管理者免許と、取得単位に応じて養護教諭二種免許を申請により取得できます。

## 《看護学科 保健師課程の履修及び履修者の選考》

### (1) 保健師課程の履修

保健師国家試験受験資格を取得するためには、必修科目の他に次に挙げる科目の単位を修得する必要があります。

[教養科目群]：環境学(2単位) 情報処理(1単位)

[専門基礎科目群]：疫学(1単位) 保健統計(1単位) リハビリテーション概論(1単位) カウンセリング(1単位)

[専門科目群]：公衆衛生看護技術論(2単位) 対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ(1単位) 対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ(2単位)

個人・家族の公衆衛生看護技術演習(1単位) 集団・地域の公衆衛生看護技術演習(1単位)

公衆衛生看護活動展開論(1単位) 地域保健政策論(1単位) 施策化・政策形成過程演習(2単位)

公衆衛生看護管理(1単位) 公衆衛生看護学実習(5単位)

このうち、専門科目群の7科目12単位(個人・家族の公衆衛生看護技術演習、集団・地域の公衆衛生看護技術演習、公衆衛生看護活動展開論、地域保健政策論、施策化・政策形成過程演習、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護学実習)については20名の履修定員枠を設けます。

### (2) 履修者の選考

定員枠のある科目を履修できる学生は、履修希望者の中から選考により決定します。選考は7科目を一括して行い、一部の科目のみの履修は認めません。選考の要領は次のとおりです。

#### 1) 選考時期

3年次

#### 2) 履修者の条件

- ①公衆衛生看護学に対する興味と高い学習意欲があること
- ②看護師国家試験と保健師国家試験を同時に受験することについて十分理解し、計画的に準備を進められること
- ③上記(1)のうち、選考時においてすでに開講済みの選択科目を全て履修していること

#### 3) 応募方法

履修希望者は、指定された期日までに「履修願」を事務室へ提出してください。

#### 4) 選考方法

次の事項を総合して選考します。

- ①面接試験 ②筆記試験
- ③既修科目の成績(望ましい水準:3年次前期までの通算GPAが2.30以上)

## 《養護教諭二種免許について》

「保健師の免許を受けていること」を基礎資格として、以下の単位を取得した後、各地方自治体に申請することにより取得できる免許です。  
 ※申請には、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定められている科目（日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作）を履修し、単位を取得していることが必要です。

教育職員免許法 施行規則に定める科目	本学で開講している科目と 開講年学期	履修方法等
日本国憲法 (2)	法学（日本国憲法含む）(2)      1 年前期開講	必修科目のため全員履修
体育 (2)	健康スポーツ理論 (1)              1 年前期開講 健康スポーツ実技 (1)              1 年後期開講	2 科目とも選択履修
外国語 コミュニケーション (2)	英語リーディング (1)              1 年前期開講 医療英語会話 (1)                  2 年後期開講	必修科目のため全員履修
情報機器の操作 (2)	情報処理 (1)                          1 年前期開講 情報リテラシー (1)                  1 年後期開講	「情報処理」は選択履修 「情報リテラシー」は必修科目のため全員履修

( ) 内は単位数

## 《看護学科 助産師課程の履修及び履修者の選考》

### (1) 助産師課程の履修

助産師国家試験受験資格を取得するためには、必修科目の他に次に挙げる科目の単位を修得する必要があります。なお、国家試験受験資格が認められるのは女子のみです（保健師助産師看護師法第 1 章総則第 3 条より）。

[ 専門科目群 ] : 対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ (1 単位) 助産学概論 (1 単位) 母子と家族の心理・社会学 (1 単位)

助産基礎医学 (1 単位) 周産期診断学 (1 単位) 妊娠期助産診断技術学 (1 単位) 分娩期助産診断技術学 (2 単位)

産褥期助産診断技術学 (1 単位) 新生児・乳幼児期助産診断技術学 (1 単位) ハイリスク助産診断技術学 (1 単位)

助産診断技術学演習 (2 単位) ハイリスク助産診断技術学演習 (1 単位) 地域母子保健論 (1 単位)

助産管理 (2 単位) 助産学実習 (11 単位)

このうち、助産学概論 (1 単位)、母子と家族の心理・社会学 (1 単位)、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ (1 単位) を除く 12 科目 25 単位については 6 名の履修定員枠を設けます。

### (2) 履修者の選考

定員枠のある科目を履修できる学生は、履修希望者の中から選考により決定します。選考は 12 科目を一括して行い、一部科目のみの履修は認めません。選考の要領は次のとおりです。

#### 1) 選考時期

3 年次

#### 2) 履修者の条件

- ① 助産学に対する興味と高い学習意欲があること
- ② 看護師国家試験と助産師国家試験を同時に受験することについて十分理解し、計画的に準備を進められること
- ③ 上記(1)のうち、選考時においてすでに開講済みの選択科目を全て履修していること

#### 3) 応募方法

履修希望者は、指定された期日までに「履修願」を事務室へ提出してください。

#### 4) 選考方法

次の事項を総合して選考します。

- ① 面接試験      ② 筆記試験
- ③ 既修科目の成績 (望ましい水準 : 3 年次前期までの通算 GPA が 2.30 以上)

### 《リハビリテーション学部》

<b>理学療法学科</b>
理学療法士国家試験受験資格

※取得単位に応じて「初級パラスポーツ指導員」の資格が取得できます。

<b>作業療法学科</b>
作業療法士国家試験受験資格

<b>言語聴覚学科</b>
言語聴覚士国家試験受験資格

### 《医療技術学部》

<b>検査技術学科</b>
臨床検査技師国家試験受験資格

※取得単位に応じて「健康食品管理士」、「遺伝子分析科学認定士(初級)」受験資格が取得できます。

<b>放射線学科</b>
診療放射線技師国家試験受験資格

<b>臨床工学科</b>
臨床工学技士国家試験受験資格



## 12. 臨地・臨床実習科目

### 臨地・臨床実習科目の履修条件

#### 《看護学科》

##### (1) 臨地実習科目

臨地実習とは、「看護基礎実習」、「療養生活支援実習」、「臨床看護基盤実習」、「地域・在宅看護学実習」、「成人看護学実習」、「老年看護学実習」、「小児看護学実習」、「母性看護学実習」、「精神看護学実習」、「統合実習」、「公衆衛生看護学実習」、「助産学実習」のことをいいます。

##### (2) 臨地実習科目の履修条件

臨地実習科目を履修するためには、次の条件を満たしている必要があります。

- ・「看護基礎実習」の履修条件は1年次前期に開講される全ての必修科目の単位を修得し、かつ1年次後期に開講される専門科目群のうち基礎看護学区分の必修科目「看護学概論Ⅱ」、「コミュニケーション論」、「日常生活援助学演習Ⅰ（活動・食事・排泄）」の単位を修得していること（「日常生活援助学演習Ⅱ（清潔・安楽）」は除く）。
- ・「療養生活支援実習」の履修条件は1年次に開講される全ての必修科目の単位を修得し、かつ2年次前期に開講される専門科目のうち基礎看護学区分の必修科目（「ヘルスアセスメント」、「ヘルスアセスメント演習」、「看護過程論入門」、「看護過程展開論演習」）の単位を修得していること
- ・「臨床看護基盤実習」の履修条件は2年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を修得し、かつ2年次後期に開講される専門科目群の全ての必修科目（「治療援助学演習」、「地域・在宅看護展開論」、「慢性期看護論」、「老年看護方法論」、「小児看護方法論」、「母性看護方法論」、「精神看護方法論」、「国際看護論」）の単位を修得していること
- ・「地域・在宅看護学実習」、「成人看護学実習」、「老年看護学実習」、「小児看護学実習」、「母性看護学実習」、「精神看護学実習」の履修条件は、3年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を修得していること  
履修にあたっては、3年次前期のGPAが1.50以上であることを望ましい水準としています。
- ・「統合実習」の履修条件は、3年次までに開講される全ての必修科目の単位を修得していること
- ・「公衆衛生看護学実習」の履修条件は、3年次までに開講される全ての必修科目及び保健師課程で履修を定める科目のうち「公衆衛生看護学実習」を除くすべての科目の単位を修得していること  
※「公衆衛生看護学実習」は保健師課程履修者のみ
- ・「助産学実習」の履修条件は、3年次までに開講される全ての必修科目及び助産師課程で履修を定める科目のうち「地域母子保健論」、「助産管理」、「助産学実習」を除くすべての科目の単位を修得していること  
※「助産学実習」は助産師課程履修者のみ

#### 《理学療法学科》

##### (1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「見学実習」、「評価学実習」、「地域理学療法実習」、「総合臨床実習Ⅰ」、「総合臨床実習Ⅱ」のことをいいます。

##### (2) 臨床実習科目の履修条件

- ・臨床実習科目（見学実習を除く）を履修するためには、当該科目前に開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。  
なお、3年次後期の「評価学実習」、「地域理学療法実習」の履修にあたっては、3年次前期までの学修における通算GPAが1.50以上であり、かつ3年次前期のGPAが1.20以上であることを望ましい水準としています。

#### 《作業療法学科》

##### (1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「見学実習」、「作業療法基礎実習Ⅰ」、「作業療法基礎実習Ⅱ」、「総合臨地実習Ⅰ」、「総合臨地実習Ⅱ」、「地域臨地実習」のことをいいます。

## (2) 臨床実習科目の履修条件

臨床実習科目を履修するためには、当該科目前に開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。

### 《言語聴覚学科》

#### (1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「見学実習」、「観察実習」、「評価実習」、「統合実習」のことをいいます。

#### (2) 臨床実習科目の履修条件

臨床実習科目を履修するためには、当該科目前に開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。

### 《検査技術学科》

#### (1) 臨地実習科目

臨地実習科目とは、「総合実習（臨地実習前技能評価）」「臨地実習」のことをいいます。

#### (2) 臨地実習科目の履修条件

臨地実習科目を履修するためには、次の条件を満たしている必要があります。

- ・「総合実習（臨地実習前技能評価）」の履修条件は、当該科目を除く3年次までに開講される全ての必修科目の単位を修得していること。
- ・「臨地実習」の履修条件は、3年次までに開講される全ての必修科目の単位を修得していること。

### 《放射線学科》

#### (1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「診療放射線学導入実習」、「診療放射線学直前実習」、「診療画像解析学臨床実習Ⅰ」、「診療画像解析学臨床実習Ⅱ」、「核医学検査技術学臨床実習」、「放射線治療技術学臨床実習」、「診療放射線学総合臨床実習」のことをいいます。

#### (2) 臨床実習科目の履修条件

臨床実習科目を履修するためには、当該科目前に開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。

### 《臨床工学科》

#### (1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「総合実習」「臨床実習」のことをいいます。

#### (2) 臨床実習科目の履修条件

臨床実習科目を履修するためには、3年次後期までに開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。

## 臨地・臨床実習科目の単位認定

臨地・臨床実習では出席状況・実習態度・実習記録・課題や、臨地・臨床実習指導者による実習評価表等を総合して各単位認定者が成績評価を行います。各実習科目の具体的な成績評価方法・基準や臨地・臨床実習に関するその他詳細については、シラバス及び各学科「実習要項」で確認してください。

#### \* 期間外実習

既定の期間内における実習で合格点に達しなかった場合や、やむを得ない事情等による欠席のため既定の実習期間内に実習を終了できなかった場合、各学科の判断により期間外での実習を認める場合があります。期間外実習はその理由により以下の3種別に分類され、手続き方法も異なります。期間外実習が認められた場合は、速やかに事務室にて手続きをとってください。

種別	内容	学生の手続き	学生の実習料負担
振替実習	学科・実習施設の判断で期間外に実習を行うとき	×	×
追加実習	学生の公欠（注）により期間外に実習を行うとき	○	×
再実習	学生の責により期間外に実習を行うとき	○	○

（注）公欠の定義は「履修の手引き」にて定められているものとする。

## 振替実習

学科もしくは実習施設の判断で既定の実習が中止となり、中止になった分の実習を期間外に実施するものです。この場合、手続きや実習料の負担はありません。

\* 実習料以外の、交通費やその他にかかる費用は学生の自己負担となります。

## 追加実習

公欠（75 ページ参照）に該当する理由によって既定の実習を欠席した場合に、期間外に欠席した分の実習を行うものです。特別追試験と同様に学生の実習料は免除されますが、「追加実習願」（様式第 3-8 号）（公欠理由を証明する書類の添付）を事務室に提出し手続きをとる必要があります。なお、何日間の欠席で追加実習を行うかは、各学科の判断となります。対象となった場合は「追加実習願」（様式第 3-8 号）を事務室に提出し手続きを行ってください。

\* 実習料以外の、交通費やその他にかかる費用は学生の自己負担となります。

## 再実習

既定の実習で合格点に達しなかった場合や公欠以外の欠席（やむを得ない理由を含む）による不合格の場合、学科が認めた学生に限り期間外に再度実習を行うことがあります。再実習を行う場合は学生に再実習料の負担が発生しますので、対象となった場合は、証明書自動発行機にて「再実習願」（必要日数分の再実習料を納入）の発行を受け、必要事項を記入の上事務室へ提出して手続きを行ってください。

\* 再実習料は 1 日につき 1,500 円となります。

\* 実習料以外の、交通費やその他にかかる費用についても学生の自己負担となります。

\* 再実習の日数は、教育効果等を考慮し、本人の責による欠席日数を上回る場合があります。

## 13. 留年者の履修

留年者は、留年した学年の単位未修得科目について履修することになります(留年した学年の既に修得した単位はそのまま有効となります)。

なお、単位未修得科目以外の科目のうち、以下の場合について授業の出席その他を認めます。

※留年した場合は、原則として入学時における教育課程を履修することになります。

### 再履修

前年度未修得科目の他に既に単位を修得している科目を再履修することができます。再履修を希望する場合は「履修登録届」(別途配付)にて届け出てください。ただし、次の科目については再履修することができません。

- ・ 在籍学年以外の開講科目
- ・ 臨地・臨床実習科目

既に単位を修得している科目を再履修する場合、登録と同時に、修得済みの単位は取り消されます。したがって、再履修した科目が不合格となった場合、単位は未修得となります。

### 聴講

既に単位を修得している科目のうち希望する科目について聴講することができます。聴講を希望する場合は「履修登録届」(別途配付)にて届け出てください。登録していない科目については聴講できません。また、別学年(下位学年)開講科目について、単位認定者が認めた場合に限り聴講することができます。別学年開講科目の聴講を希望する場合は「別学年科目聴講願」(別途配付)に必要事項を記入し、単位認定者の許可を得た上で事務室へ提出してください。聴講科目の単位認定試験の受験については単位認定者と相談してください。ただし、試験の結果は成績には反映されません。



# 学 則

## IV

- 第1章 目的
- 第2章 自己点検・評価等
- 第3章 組織
- 第4章 学年・学期及び休業日
- 第5章 学部通則
- 第6章 改正、及び細則

# IV 学則

## (前文)

本学の建学の意義は、地域社会の中で求められ続けてきた「質の高い保健医療サービス」の確立とその貢献にある。地域に存する本学では「人間愛・生命の尊厳と人間尊重とは何か」ということを共同生活を通して希求し、心身ともに調和のとれた有為な社会人を育成することを使命とする。さらに、大学教育がいかに臨床の現場で活かされるかによって計られるべき教育・研究の価値を常に認識させしめ、専門職教育における臨床との連携を重視し、実践的能力、判断力涵養の重要性を本学において教授し、保健医療の深遠を探求せしめるものである。

このような建学の主旨にもとづき、群馬パース大学学則を定める。

## 第1章 目的

### (目的)

第1条 群馬パース大学（以下、「本学」という。）は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）の定めるところにより、豊かな教養と人間愛を備えた質の高い保健医療専門職を育成し、保健・医療・福祉サービスとの協働及び知の創造を通じて、国際社会、地域社会に貢献することを目的とする。

## 第2章 自己点検・評価等

### (自己点検・評価等)

第2条 本学は、その教育研究水準の改善・向上を図り、前条に掲げる目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果について公表する。

- 2 前項の点検及び評価の結果について、一定期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた評価機関（以下、「認証評価機関」という。）による評価を受けるものとする。
- 3 本学は、教育研究活動等の状況、自己点検・評価、認証評価機関の評価結果について、刊行物、広報活動等において、積極的に情報を提供するものとする。
- 4 本条第1項の点検及び評価に関する事項は別に定める。

## 第3章 組織

### 第1節 組織

#### (学部)

第3条 本学に、次の学部及び学科を置く。

- 看護学部
- 看護学科
- リハビリテーション学部
- 理学療法学科
- 作業療法学科
- 言語聴覚学科
- 医療技術学部
- 検査技術学科
- 放射線学科
- 臨床工学科

- 2 前項の各学科の入学定員及び収容定員は、別表第1のとおりとする。
- 3 学部及び学科ごとの人材の養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的については、別に定めるとおりとする。

#### (附属図書館)

第4条 本学に、附属図書館を置く。

- 2 附属図書館に関する規程は、別に定める。

#### (附属研究所)

第5条 本学に、附属研究所を置く。

- 2 附属研究所に関する規程は、別に定める。

### 第2節 職員組織

#### (教員)

第6条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教及び助手（以下、「教員」という。）を置く。

- (1) 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。
- (2) 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。



- (3) 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (4) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
- (5) 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有するものであって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (6) 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 2 前項のほか、本学に学部長、学科長を置く。
- (1) 学部長は、当該学部に関する校務をつかさどる。
- (2) 学科長は、当該学科の学務を行う。
- 3 前第2項のほか、教養部長を置く。
- (1) 教養部長は、教養教育、初年次教育に関わる学務を行う。
- 4 本学に、副学長、名誉教授、特任教授、客員教授、客員准教授を置くことができる。

#### (事務職員)

- 第7条 本学に、事務局長を置く。
- 2 前項のほか、本学に事務職員、技術職員及びその必要な職員を置く。

#### (教授会)

- 第8条 本学に教授会を置く。
- 2 教授会は、学長、教授及び事務局長をもって構成する。
- 3 前項の規定にかかわらず、教授会が必要と認めるときは、副学長、准教授、講師、助教、及び特任教授、客員教授、客員准教授、その他職員を加えることができる。
- 4 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。
- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの
- 5 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 6 その他教授会に関する規程は、別に定める。

## 第4章 学年・学期及び休業日

### (学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### (学期)

第10条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

### (休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 本学の創立記念日  
11月30日
- (4) 夏季休業日  
当該年間学事日程による
- (5) 冬季休業日  
当該年間学事日程による
- (6) 春季休業日  
当該年間学事日程による
- 2 前項に規定する休業日において、学長が必要と認めるときは、授業を行うことができる。必要がある場合は、学長は、前項の休業日を変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

## 第5章 学部通則

### 第1節 修業年限及び在学年限

#### (修業年限)

第12条 学部の修業年限は4年とする。

#### (最長在学年限)

第13条 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、編入学、転入学及び再入学した学生は、その者の在学す

べき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

## 第2節 入学

### (入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

ただし、転入学及び再入学については、学期の初めとすることができる。

### (入学資格)

第15条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

### (入学の志願)

第16条 本大学への入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び、別に定める書類を添えて願出しなければならない。

### (入学者の選考)

第17条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

### (入学手続き及び入学許可)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入学誓約書、他所定の書類を提出するとともに、別に定める入学金及び授業料を納入しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に教授会の議を経て入学を許可する。

### (保証人)

第19条 入学にあたり保証人は1名を必要とし、原則として父母の何れかとする。父母のない場合はこれに準ずる者、又は成人で独立して生計を営む者で、授業料等の債務を確実に履行できる者でなければならない。

- 2 保証人に異動があった時は、直ちに学長に届け出なければならない。

### (編入学)

第20条 学長は、本学に編入学を志願する者がいるときは、選考のうえ、教授会の議を経て相当する年次に入学を許可することができる。

### (転入学・転科)

第21条 学長は、他大学の学生で転入学を志願する者がいるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て相当年次に入学を許可することができる。

- 2 学長は、本学の学生で、同一学部の他の学科へ転科を希望する者がいるときは、選考のうえ、教授会の議を経て1学年後期の初めに限り転科を許可することができる。

### (再入学)

第22条 学長は、第42条の規定により退学した者が再入学を志願するときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て入学を許可することができる。

- 2 再入学に関する規程は別に定める。

## 第3節 教育課程及び履修方法等

### (教育課程の編成方針)

第23条 本大学においては、学部及び学科等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

- 2 教育課程の編成に当たっては、当該学部及び学科に係る専門の知識・技能を教授するとともに、広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう配慮する。
- 3 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に努めるものとする。

### (授業科目)

第24条 授業科目を分けて、教養科目群、共通基盤科目群、専門基礎科目群、専門科目群とする。授業科目及び単位数は別表第2のとおりとする。

### (単位計算方法)

第25条 授業科目の単位計算方法は1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し授業の方法に応じ、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義・演習については、15時間から30時間までの

範囲の授業をもって1単位とする。

(2) 実験・実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究については学修の成果を評価して単位を授与することが適切であると認められる場合には、これに必要な時間数を考慮して1単位とする。

#### (授業期間)

第26条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等を含め35週にわたることを原則とする。

#### (履修届の提出)

第27条 学生は、学年の始めに履修しようとする授業科目について、指定の期日までに学長に届け出て、その承認を得なければならない。

#### (単位の授与)

第28条 本学は、授業科目を履修した場合には成績の評価を行い、合格者に対して、所定の単位を与える。

#### (試験の方法)

第29条 試験は、筆答(報告を含む。)又は口頭によって行う。ただし、実習、実技、実験等は学修の成果を評価して行うことができる。

#### (他大学等における授業科目の履修等)

第30条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該大学又は短期大学等の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定により履修した授業科目について取得した単位については、教授会の議を経て、60単位を限度として卒業要件単位として認めることができる。

#### (大学以外の教育施設等における学修)

第31条 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校 の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

#### (入学前の既取得単位等の認定)

第32条 教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について取得した単位(科目等履修により取得した単位を含む。)を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

#### (本学以外での履修の許可)

第33条 本学の学生が、本学以外の大学等で授業科目の履修を希望する場合は、学長の許可を得なければならない。

#### (本学以外で履修した科目及び単位の取り扱い)

第34条 本学以外で修得した科目の単位の取り扱いは別に定める。

#### (成績)

第35条 授業科目の試験の成績は、A<sup>+</sup>、A、B、C、F(不可)をもって表わし、C以上を合格とする。

#### (その他)

第36条 授業科目の履修方法等については別に定める。

## 第4節 休学・転学・留学及び退学

#### (休学)

第37条 疾病その他特別の理由により3ヵ月以上修学することができない者は、その理由を明らかにし、保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 疾病による理由の場合には、医師の診断書を添付しなければならない。
- 3 疾病のため修学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

#### (休学期間)

第38条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別な理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

- 3 休学期間は、第13条の在学期間に算入しない。

### (復学)

第39条 休学期間の満了により復学するときは、学長に復学の届出をしなければならない。

- 2 休学期間中にその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

### (転学)

第40条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

### (留学)

第41条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第12条に定める修業年限に算入することができる。
- 3 第30条の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

### (退学)

第42条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

### (除籍)

第43条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 授業料または在籍料の納入を怠り、催促してもなお納入しない者
- (2) 第13条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第38条に規定する休学期間を超えてなお修学する見込みがない者
- (4) 死亡又は長期にわたり行方不明の者
- (5) 疾病その他の理由により成業の見込みがないと認められた者

## 第5節 卒業及び学位

### (卒業)

第44条 本学に4年以上在学し、別表第2に定める授業科目を履修し所定の単位を修得した者について、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、学位記を授与する。

### (学位授与)

第45条 学長は、前条の規定により、卒業を認定した者に次の学士の学位を授与する。

看護学部	
看護学科	学士(看護学)
リハビリテーション学部	
理学療法学科	学士(理学療法学)
作業療法学	学士(作業療法学)
言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
医療技術学部	
検査技術学科	学士(臨床検査学)
放射線学科	学士(放射線学)
臨床工学科	学士(臨床工学)

- 2 学位の授与に関し必要な事項は別に定める。

## 第6節 賞罰

### (表彰)

第46条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

### (懲戒)

第47条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、「群馬パース大学 学生の懲戒等に関する規程」に基づき、学長が懲戒する。

## 第7節 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生

### (研究生)

第48条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障がない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生を志願することができる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究期間は1年とする。ただし、特別の理由がある場合はその期間を更新することができる。

### (科目等履修生)

第49条 本学の学生以外の者で、本学の一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

#### (聴講生)

第50条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて選考のうえ聴講生として入学を許可することがある。

- 2 聴講生は学期ごとに入学を許可する。

#### (特別聴講学生)

第51条 他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

#### (外国人留学生)

第52条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入学し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 前項の外国人留学生に対しては、第24条に掲げるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

#### (その他)

第53条 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、及び外国人留学生に関する規則は、別に定める。

### 第8節 検定料、入学金及び授業料

#### (検定料、入学金及び授業料)

第54条 検定料、入学金及び授業料の額は「群馬パース大学 授業料等徴収に関する規程」の通りとする。

#### (授業料の納入)

第55条 授業料は、年額又は二分の一ずつを次の2期に分けて納入しなければならない。

区分	納期
前期(4月から9月まで)	4月中
後期(10月から翌年3月まで)	10月中

#### (復学等の場合の授業料)

第56条 前期又は後期中途において復学した者は、復学した月から当該期末までの授業料を復学した月に納入しなければならない。

#### (学年の途中で卒業する場合の授業料)

第57条 学年の途中で卒業する見込みの者は卒業する見込みの月までの授業料を納入するものとする。

#### (退学及び停学の場合の授業料)

第58条 前期又は後期中途で退学し又は除籍された者の該当期の授業料は徴収する。

- 2 停学期間中の授業料は徴収する。

#### (休学の場合の在籍料)

第59条 休学を許可され又は命ぜられた者については、休学期間中の授業料を免除する。ただし、別に定める在籍料を納入しなければならない。

#### (科目等履修生等の授業料等)

第60条 科目等履修生及び特別聴講学生の検定料及び授業料については、別に定める。

#### (納入した授業料等)

第61条 納入した検定料、入学金及び授業料は返還しない。

## 第9節 公開講座

#### (公開講座)

第62条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

- 2 公開講座に関する事項については、別に定める。

## 第6章 改正、及び細則

#### (改正)

第63条 本学則の改正は、理事会が行う。

#### (細則その他)

第64条 本学則施行についての細則その他必要な事項は、別に定める。

#### 附則

1. この学則は、平成17年5月1日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

#### 附則

1. この学則は、平成18年11月30日から施行する。ただし、第6条第1項3号から5号及び第4項の規定は、平成19年4月1日から施行する。



## 附則

1. この学則改正後の第44条第2項及び第45条第2項の規定は、平成20年12月4日から施行する。
2. この学則改正後の第15条第1項3号、第24条第1項、第44条第1項、第54条第1項の規定は、平成21年4月1日から施行する。
3. この学則改正後の第24条第1項、第44条第1項、第54条第1項の規定は、平成21年度入学生から適用し、平成20年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第2、3に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成20年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

## 附則

1. この学則は、平成23年4月1日から施行する。

## 附則

1. この学則は、平成24年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条第1項、第44条第1項の規定は、平成24年度入学生から適用し、平成23年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第2、3に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成23年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

## 附則

1. この学則は、平成25年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条第1項、第44条第1項、第54条第1項の規定は、平成25年度入学生から適用し、平成24年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第2、3に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成24年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

## 附則

1. この学則は、平成26年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条第1項、第44条第1項の規定は、平成26年度入学生から適用し、平成25年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第3に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認めた授業科目については、平成25年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

## 附則

1. この学則は、平成27年4月1日から施行する。

2. この学則改正後の第54条第1項の規定は、平成27年度入学生から適用し、平成26年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

## 附則

1. この学則は、平成28年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条第1項、第44条第1項の規定は、平成28年度入学生から適用し、平成27年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第4に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認めた授業科目については、平成27年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

## 附則

1. この学則は、平成29年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条第1項、第44条第1項の規定は、平成29年度入学生から適用し、平成28年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第2、3、4に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認めた授業科目については、平成28年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

## 附則

1. この学則は、平成30年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条第1項、第44条第1項の規定は、平成30年度入学生から適用し、平成29年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第4に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認めた授業科目については、平成29年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

## 附則

1. この学則は、2020年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条第1項、第44条第1項の規定は、2020年度入学生から適用し、2019年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第3に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認めた授業科目については、2019年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

## 附則

1. この学則は、2021年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第3条、第24条、第44条第1項、第45条の規定は、2021年度入学生から適用し、2020年度以前の

入学者に対しては従前の規定による。

附則

1. この学則は、2022年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第3条、第24条、第44条第1項、第45条の規定は、2022年度入学生から適用し、2021年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

附則

1. この学則は、2023年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条、第44条第1項の規定は、2023年度入学生から適用し、2022年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

別表第1 入学定員及び収容定員

学部・学科名	入学定員（人）	収容定員（人）	備考
看護学部			
看護学科	80	320	
リハビリテーション学部			
理学療法学科	60	240	
作業療法学科	30	120	
言語聴覚学科	30	120	
医療技術学部			
検査技術学科	60	240	
放射線学科	70	280	
臨床工学科	50	200	
計	380	1,520	



別表第2 授業科目  
看護学部 看護学科

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
教養科目群	心身の発達	教育学	2		26 単位以上
		心理学		2	
		教育心理学		1	
		健康スポーツ理論		1	
		健康スポーツ実技		1	
	人と社会及び自然の理解	現代文学		2	
		人間と宗教		2	
		芸術		1	
		哲学		2	
		生命倫理	2		
	人前と生活及び社会のしめ	法学(日本国憲法含む)	2		
		社会学	2		
		生活文化と医療		2	
		地域ボランティア活動論		1	
		経済学		1	
	自然の原理及び環境	環境学		2	
		生物学		1	
		数学		1	
		化学		1	
		情報と言語の理解	英語リーディング	1	
医療英語リーディング	1				
英語会話			1		
医療英語会話	1				
英語アカデミックリーディング・ライティング			1		
中国語			1		
ロシア語			1		
ドイツ語		1			
初修外国語	ポルトガル語		1		
	情報処理		1		
情報リテラシー	1				
大学の学びの基盤	大学の学び入門	1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門基礎科目群	疾病の成り立ちと回復の促進 人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	1		17 単位以上
		解剖学Ⅱ	1		
		臨床解剖学		1	
		生理学Ⅰ	1		
		生理学Ⅱ	1		
		臨床生理学		1	
		生化学	1		
		病理学	1		
		薬理学	1		
		臨床薬理学		1	
		栄養学(含食品学)		1	
		病態栄養学	1		
		臨床病態学Ⅰ	1		
		臨床病態学Ⅱ	1		
		臨床病態学Ⅲ	1		
	臨床病態学Ⅳ	1			
	免疫・感染症学	1			
	臨床検査学	1			
	発達心理学	1			
	臨床心理学	1			
緩和医療学		1			
健康支援と 社会保障制度	公衆衛生学	2		6 単位以上	
	疫学		1		
	保健統計		1		
	社会福祉・社会保障制度論	1			
	地域保健行政	1			
リハビリテーション概論		1			
カウンセリング		1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数		
		必修	選択			
専門科目群	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	1		49 単位以上	
		看護学概論Ⅱ	1			
		基礎看護技術演習	1			
		コミュニケーション論	1			
		日常生活援助学演習Ⅰ(活動・食事・排泄)	1			
		日常生活援助学演習Ⅱ(清潔・安楽)	1			
		ヘルスアセスメント	1			
		ヘルスアセスメント演習	1			
		看護過程論入門	1			
		看護過程展開論演習	1			
		治療援助学演習	1			
	基礎看護学特論		1			
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	1			1
		地域・在宅看護方法論	1			
		地域・在宅看護展開論	1			
		地域・在宅看護学演習	1			
		地域・在宅看護学特論		1		
	成人看護学	成人看護学総論	1			1
		成人看護方法論	1			
		慢性期看護論	1			
		周術期看護論	1			
		クリティカルケア看護論	1			
		成人看護学演習	1			
		救急看護		1		
		成人看護学特論		1		
	老年看護学	老年看護学総論	1			1
		高齢者の健康と障害	1			
		老年看護方法論	1			
		老年看護学演習	1			
		老年看護学特論		1		
小児看護学	小児看護学総論	1		1		
	小児看護方法論	1				
	小児看護過程・技術論	1				
	小児看護学演習	1				
	小児看護学特論		1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数		
		必修	選択			
専門科目群	母性看護学	母性看護学総論	1		(49 単位以上)	
		母性看護方法論	1			
		母子の健康支援	1			
		母性看護学演習	1			
		母性看護学特論		1		
	精神看護学	精神保健	1			1
		精神看護学概論	1			
		精神看護方法論	1			
		精神看護学演習	1			
		精神看護学特論		1		
	看護の統合と実践	看護学への誘い	1			1
		多職種理解と連携	1			
		国際看護論	1			
		災害看護論	1			
		臨床看護管理学	1			
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2			1
		公衆衛生看護技術論		2		
		対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ		1		
		対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ		2		
		個人・家族の公衆衛生看護技術演習		1		
		集団・地域の公衆衛生看護技術演習		1		
		公衆衛生看護活動展開論		1		
		地域保健政策論		1		
		施策化・政策形成過程演習		2		
		公衆衛生看護管理		1		
	助産学	助産学概論		1		1
		母子と家族の心理・社会学		1		
		助産基礎医学		1		
		周産期診断学		1		
		妊娠期助産診断技術学		1		
分娩期助産診断技術学			2			
産褥期助産診断技術学			1			
新生児・乳幼児期助産診断技術学			1			
ハイリスク助産診断技術学			1			
助産診断技術学演習			2			
ハイリスク助産診断技術学演習			1			
地域母子保健論		1				
助産管理		2				
臨地実習	看護基礎実習	1		23 単位以上		
	療養生活支援実習	2				
	臨床看護基盤実習	2				
	地域・在宅看護学実習	2				
	成人看護学実習	5				
	老年看護学実習	3				
	小児看護学実習	2				
	母性看護学実習	2				
	精神看護学実習	2				
	統合実習	2				
	公衆衛生看護学実習		5			
助産学実習		11				
研究	看護研究概説	1		5 単位		
	卒業研究	4				

リハビリテーション学部 理学療法学科

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
教養科目群	心身の発達	心理学	2		26 単位以上
		教育学		2	
		教育心理学		2	
		健康スポーツ理論		1	
		健康スポーツ実技	1		
	思想及び表現	生命倫理	2		
		哲学		2	
		現代文学		2	
		人間と宗教		2	
		芸術		2	
	人と社会及び自然の理解	法学(日本国憲法含む)		2	
		家族社会学		2	
		生活文化と医療		2	
		経済学		2	
		人工知能・ロボットと社会	2		
	自然の原理及び環境	地域ボランティア活動論		1	
		人間関係・コミュニケーション論	1		
		環境学		2	
		基礎生物学		1	
		生物学		1	
基礎数学		1			
基礎統計学		1			
基礎化学			1		
化学		1			
英語	基礎物理学	1			
	物理学	1			
	英語リーディング	1			
	医療英語会話	1			
	医療英語リーディング	1			
初修外国語	英語会話		1		
	中国語		1		
	ロシア語		1		
	ドイツ語		1		
	ポルトガル語		1		
情報	情報処理	1			
	情報リテラシー		1		
	データサイエンス入門		1		
共通基盤	大学の学びの基盤	1			
	大学の学び入門	1			
	大学の学び-専門への誘い- 多職種理解と連携	1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門基礎科目群	人体の構造と機能及び心身の発達	運動器解剖学	2		18 単位以上
		臓器解剖学	2		
		局所解剖学(言語・聴覚・発声・嚥下)		1	
		解剖学演習	1		
		表面解剖学と触診法	1		
		生理学Ⅰ	2		
		生理学Ⅱ	2		
		生理学実習	1		
		生化学	1		
		運動学	2		
		臨床運動学	2		
		運動学実習	1		
		人間発達学	1		
		生涯発達心理学		2	
		学習・認知心理学		2	
心理測定法		2			
行動科学とリハビリテーション		1			
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	2		19 単位	
	薬理学	1			
	臨床薬学	1			
	公衆衛生学	2			
	臨床検査・画像診断学演習	1			
	臨床医学関連領域論	1			
	内科学	1			
	整形外科学	1			
	神経内科学	1			
	精神医学	1			
小児科学	1				
リハビリテーション医学	2				
救急・免疫・感染症学	1				
栄養学	1				
緩和医療学	2				
リハビリテーションと保健医療福祉との理念	リハビリテーション概論	1		6 単位	
	チーム医療とリハビリテーション	1			
	臨床心理学	1			
	安全管理	1			
	医療統計学	1			
社会福祉・地域サービス論	1				

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な 単位数	
		必修	選択		
専門科目群	基礎理学療法学	理学療法概論	1		7 単位以上
		障害と理学療法	1		
		理学療法総合演習	1		
		理学療法研究論	1		
		障害者スポーツ・レクリエーション論		1	
		生体計測工学	1		
		支援工学		1	
		国際理学療法学		1	
		事例研究法		1	
		卒業研究		2	
	理学療法 管理学	理学療法管理学	2		2 単位
	理学療法 評価学	理学療法診断学	1		6 単位
		基礎理学療法診断学演習	1		
		運動機能系理学療法診断学演習	1		
		神経機能系理学療法診断学演習	1		
		内部機能系理学療法診断学演習	1		
		高次脳機能評価学	1		
	理学療法 治療学	基礎運動療法	1		23 単位以上
		運動機能系理学療法治療学演習	1		
		脊髄疾患理学療法治療学演習	1		
神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ		1			
神経機能系理学療法治療学演習Ⅱ		1			
内部機能系理学療法治療学演習		1			
身体活動学		1			
発達支援理学療法学		1			
理学療法関連領域論		1			
物理療法学		2			
物理療法学演習		1			
装具学		2			
義肢学		2			
スポーツ理学療法学		1			
日常生活活動学		2			
高齢者理学療法学演習		1			
リハビリテーション栄養学		1			
福祉機器論		1			
作業療法理論		1			
就労支援技術論		1			
災害保健学		1			
地域 理学療法学	地域理学療法学	1		4 単位以上	
	地域リハビリテーション学	1			
	生活環境学	2			
	国際保健学		1		
臨床 実習	見学実習	1		23 単位	
	評価学実習	5			
	地域理学療法実習	1			
	総合臨床実習Ⅰ	8			
	総合臨床実習Ⅱ	8			

リハビリテーション学部 作業療法学科

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
教養科目群	心身の発達	心理学	2		29 単位以上
		教育学	2		
		教育心理学		2	
		健康スポーツ理論		1	
		健康スポーツ実技	1		
	思想及び表現	生命倫理	2		
		哲学		2	
		現代文学		2	
		人間と宗教		2	
		芸術		2	
	人と社会及び自然の理解	法学(日本国憲法含む)		2	
		家族社会学		2	
		生活文化と医療		2	
		経済学		2	
		人工知能・ロボットと社会	2		
	自然の原理及び環境	地域ボランティア活動論		1	
		人間関係・コミュニケーション論	1		
		環境学		2	
		基礎生物学		1	
		生物学		1	
情報と言語の理解	基礎数学	1			
	基礎統計学		1		
	基礎化学		1		
	化学		1		
	基礎物理学		1		
	物理学		1		
	英語	英語リーディング	1		
		医療英語会話	1		
		医療英語リーディング	1		
	初修外国語	英語会話		1	
中国語			1		
ロシア語			1		
ドイツ語			1		
情報	ポルトガル語		1		
	情報処理	1			
	情報リテラシー		1		
共通基盤	データサイエンス入門		1		
	大学の学び入門	1			
	大学の学び-専門への誘い- 多職種理解と連携	1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門基礎科目群	人体の構造と機能及び心身の発達	運動器解剖学	2		17 単位以上
		臓器解剖学	2		
		局所解剖学(言語・聴覚・発声・嚥下)		1	
		解剖学演習	1		
		生理学Ⅰ	2		
		生理学Ⅱ	2		
		生理学実習	1		
		運動学	2		
		運動学実習	1		
		生化学	1		
		人間発達学	1		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	生涯発達心理学		2	19 単位以上
		学習・認知心理学		2	
		心理測定法		2	
		行動科学とリハビリテーション		1	
		病理学	2		
		薬理学	1		
		臨床薬学		1	
		公衆衛生学	2		
臨床検査・画像診断学演習	1				
リハビリテーションの理念	臨床医学関連領域論	1		5 単位	
	内科学	1			
	整形外科学	1			
	神経内科学	1			
	小児科学	1			
	精神医学Ⅰ	1			
	精神医学Ⅱ	1			
	リハビリテーション医学	2			
	救急・免疫・感染症学	1			
	栄養学	1			
緩和医療学	2				
保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1			
	チーム医療とリハビリテーション	1			
	臨床心理学	1			
	社会福祉・地域サービス論	1			
	医療統計学	1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な 単位数	
		必修	選択		
専門科目群	基礎作業療法学	作業療法学概論	1		7 単位以上
		基礎作業学	1		
		基礎作業学演習	1		
		基礎作業学実習	1		
		生体計測工学		1	
		作業療法学研究法演習	1		
		事例研究法		1	
		卒業研究		2	
	作業療法 管理学	作業療法管理学Ⅰ	1		2 単位
		作業療法管理学Ⅱ	1		
	作業療法 評価学	作業療法評価学	2		5 単位
		作業療法評価学演習	1		
		作業療法評価学実習	1		
		作業療法総合評価演習	1		
	作業療法治療学	身体領域の作業療法学	2		19 単位
		身体領域の作業療法学実習	1		
		認知機能作業療法学	1		
		精神領域の作業療法学	2		
		精神領域の作業療法学実習	1		
		発達領域の作業療法学	1		
		発達領域の作業療法学演習	1		
		老年期の作業療法学	1		
		内部障害作業療法学	1		
		作業療法理論	1		
		作業療法リーズニング	1		
		義肢装具学	1		
		日常生活活動学	1		
		日常生活活動学実習	1		
		作業療法総合演習	1		
		就労支援技術論	1		
	リハビリテーション栄養学	1			
	地域作業療法学	地域作業療法学	1		5 単位以上
		生活環境学	1		
福祉機器論			1		
支援工学			1		
国際保健学			1		
災害保健学		1			
地域リハビリテーション学		1			
臨床実習	見学実習	2		25 単位	
	作業療法基礎実習Ⅰ	3			
	作業療法基礎実習Ⅱ	3			
	総合臨地実習Ⅰ	8			
	総合臨地実習Ⅱ	8			
	地域臨地実習	1			

リハビリテーション学部 言語聴覚学科

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数			
		必修	選択				
教養科目群	心身の発達	心理学		2	29 単位以上		
		教育学		2			
		教育心理学		2			
		健康スポーツ理論	1				
		健康スポーツ実技	1				
	思想及び表現	生命倫理	2				
		哲学		2			
		現代文学		2			
		人間と宗教		2			
	人と社会及び自然の理解	芸術		2			
		法学(日本国憲法含む)		2			
		家族社会学		2			
		生活文化と医療		2			
		経済学		2			
		人工知能・ロボットと社会	2				
		地域ボランティア活動論		1			
		人間関係・コミュニケーション論	1				
		自然の原理及び環境	環境学			2	
			基礎生物学			1	
	生物学			1			
	基礎数学		1				
	基礎統計学			1			
	基礎化学			1			
化学			1				
基礎物理学			1				
物理学			1				
情報と言語の理解	英語リーディング	1					
	医療英語会話	1					
	医療英語リーディング	1					
	英語会話		1				
	中国語		1				
	ロシア語		1				
	ドイツ語		1				
	ポルトガル語		1				
	情報処理	1					
	情報リテラシー		1				
データサイエンス入門		1					
共通基盤科目群	大学の学びの基盤	1					
	大学の学び-専門への誘い-	1					
	多職種理解と連携	1					

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門基礎科目群	基礎医学	医学概論	1		6 単位
		解剖学総論	1		
		局所解剖学(言語・聴覚・発声・嚥下)	1		
		基礎生理学	1		
		基礎病理学	1		
		医療危機管理(窒息・誤嚥・吸引含む)	1		
	臨床医学	内科学	1		10 単位
		小児科学	1		
		精神医学	1		
		リハビリテーション医学	2		
		リハビリテーション関連領域実技実習	1		
		耳鼻咽喉科学	1		
		神経内科学	1		
		形成外科学	1		
	脳神経外科学	1			
	臨床歯科医学	歯科・口腔外科学	1		1 単位
	聴覚・言語・音声医学	口腔運動医学	1		3 単位
		言語医学	1		
		聴覚医学	1		
	心理学	臨床心理学	1		7 単位
		生涯発達心理学	2		
		学習・認知心理学	2		
		心理測定法	2		
言語学	言語学	2		2 単位	
音声学	音声学	2		2 単位	
音響学	音響音声学	1		2 単位	
	聴覚心理学	1			
言語発達学	言語発達学	2		2 単位	
社会福祉・教育	ICF とリハビリテーション	1		6 単位以上	
	AAC と教材学	1			
	臨床スキル論	1			
	リハビリテーション経済学		1		
	チーム医療とリハビリテーション	1			
	地域社会学		1		
社会福祉制度・関連法規	1				



領域	授業科目	単位数		卒業に必要な 単位数	
		必修	選択		
専門科目群	障害学 言語聴覚 障害学 総論	言語聴覚障害学概論	1		6単位
		言語聴覚障害学演習	1		
		言語聴覚障害診断学	1		
		言語聴覚障害臨床論	1		
		地域リハビリテーション学	1		
		地域参加支援総論	1		
	機能障害学 失語・高次脳	失語症学	2		8単位
		高次脳機能障害学	2		
		失語・高次脳機能障害評価法	2		
		失語・高次脳機能障害支援論	2		
	障害学 言語発達	言語発達障害学	2		6単位
		言語発達障害評価法	2		
		言語発達障害支援論	2		
	運動系障害学	病理音声学	2		11単位
		発声発語・嚥下障害評価法	2		
		器質性・機能性発話障害支援論	2		
		運動性発話障害支援論	2		
		非流暢性発話支援論	1		
		摂食・嚥下障害支援論	2		
	聴覚障害学	聴覚障害学	2		8単位
		聴覚検査法	2		
聴覚補償		1			
先天性聴覚障害支援論		2			
後天性聴覚障害支援論		1			
演習	地域参加支援演習Ⅰ	2		11単位以上	
	地域参加支援演習Ⅱ	2			
	聴覚障害演習		2		
	運動系障害演習		2		
	言語系障害演習		2		
	小児系障害演習		2		
	卒業研究		3		
臨床実習	見学実習	1		16単位	
	観察実習	3			
	評価実習	6			
	統合実習	6			

医療技術学部 検査技術学科

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数		
		必修	選択			
教養科目群	心身の発達	心理学		2	21 単位以上	
		教育学		2		
		教育心理学		2		
		健康スポーツ理論		1		
		健康スポーツ実技		1		
	思想及び表現	生命倫理	2			
		哲学		2		
		現代文学		2		
		人間と宗教		2		
		芸術		2		
	人と社会及び自然の理解	法学(日本国憲法含む)		2		
		社会学	2			
		生活文化と医療		2		
		経済学		2		
		地域ボランティア活動論		1		
	自然の原理及び環境	環境学		2		
		基礎生物学		1		
		生物学		1		
		基礎数学		1		
		数学		1		
		基礎化学		1		
化学			1			
基礎物理学			1			
物理学		1				
英語	英語リーディング	1				
	医療英語会話	1				
	医療英語リーディング	1				
	英語会話		1			
	英語アカデミックリーディング・ライティング		1			
初修外国語	中国語		1			
	コリア語		1			
	ドイツ語		1			
	ポルトガル語		1			
情報	情報処理	1				
	情報リテラシー		1			
	データサイエンス入門		1			
共通基盤	大学の学び入門	1				
	大学の学び-専門への誘い-	1				
	多職種理解と連携	1				

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数		
		必修	選択			
専門基礎科目群	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	1		27 単位以上	
		解剖学Ⅱ	1			
		生理学Ⅰ	1			
		生理学Ⅱ	1			
		生理学実習	1			
		生化学	1			
		組織学	1			
		組織学実習	1			
	基礎発生工学	1				
	臨床検査の基礎とその疾病との関連	病理学	1			
		病態薬理学	1			
		臨床医学特殊講義		1		
		内科学	1			
		老年医学	1			
		遺伝と病気		1		
		感染と免疫	1			
	健康食品学	2				
	生殖医療技術学	1				
	保健医療福祉と臨床検査	医学概論	2			
		公衆衛生学	2			
		カウンセリング		1		
臨床心理学			1			
国際医療協力論			1			
社会福祉・地域サービス論	1					
医療工学及び医療情報	医用電子工学	1				
	医用電子工学実習	1				
	医療システムとマネジメント		1			
	情報科学概論	1				
	生体計測工学		1			
	医療統計学	1				

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な 単位数	
		必修	選択		
専門科目群	病態学	臨床検査解析学 (Reversed CPC) I	1		79 単位以上
		臨床検査解析学 (Reversed CPC) II	1		
		臨床検査医学	2		
		電気泳動分析病態解析学	2		
		ビットフォール解析学	2		
	血液学的検査	血液検査学	2		
		血液検査学実習	2		
	病理学的検査	病理検査学	2		
		病理検査学実習	2		
		細胞診断学	1		
	尿・糞便等 一般検査	臨床検査学総論	1		
		臨床検査学総論実習	1		
		医動物学実習	1		
	免疫学・ 生化学的 検査	免疫検査学	2		
		免疫検査技術学実習	2		
		臨床化学検査学	2		
		臨床化学検査学実習	2		
		RI 検査学	1		
		食品衛生学		2	
	染色体検査・ 遺伝子関連	遺伝子検査学	1		
遺伝子検査学実習		1			
遺伝子分析学			1		
輸血・ 移植検査	輸血検査学	2			
	輸血検査学実習	2			
微生物学的 検査	微生物検査学	2			
	微生物検査学実習	2			
	ウイルス検査学	2			
生理学的検査	生理機能検査学	2			
	生理機能検査学実習	2			
	画像解析検査学	2			
	生理検査判読学演習	2			
	医療現場と臨床検査	2			
臨床検査 総合管理	関係法規	2			
	臨床検査学総合演習 I	2			
	臨床検査学総合演習 II	2			
医療安全管理	医療安全管理学演習	1			
	医療機器管理学	1			
実臨 習地	総合実習 (臨地実習前技能評価)	1			
	臨地実習	11			
	卒業研究	8			

医療技術学部 放射線学科

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
教養科目群	心身の発達	心理学		2	23 単位以上
		教育学		2	
		教育心理学		2	
		健康スポーツ理論		1	
		健康スポーツ実技		1	
	思想及び表現	生命倫理		2	
		哲学		2	
		現代文学		2	
		人間と宗教		2	
		芸術		2	
	人と社会及び自然の理解	法学(日本国憲法含む)		2	
		社会学		2	
		生活文化と医療		2	
		経済学		2	
		地域ボランティア活動論		1	
	自然の原理及び環境	環境学		2	
		基礎生物学		1	
		生物学		1	
		基礎数学		1	
		数学		1	
		基礎化学		1	
		化学		1	
		基礎物理学		1	
物理学			1		
英語	英語リーディング	1			
	医療英語会話	1			
	医療英語リーディング	1			
	英語会話		1		
	英語アカデミックリーディング・ライティング		1		
初修外国語	中国語		1		
	コリア語		1		
	ドイツ語		1		
	ポルトガル語		1		
情報	情報処理	1			
	情報リテラシー		1		
	データサイエンス入門		1		
共通基盤科目群	大学の学びの基盤	1			
	大学の学び-専門への誘い-	1			
	多職種理解と連携	1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門基礎科目群	基礎医学系	解剖学Ⅰ		1	33 単位以上
		解剖学Ⅱ		1	
		生理学Ⅰ		1	
		生理学Ⅱ		1	
		病理学		1	
		薬理学		1	
		生化学		1	
		公衆衛生学		2	
	臨床医学系	内科学		1	
		看護技術論		1	
		臨床心理学		1	
		画像診断学Ⅰ 画像診断学Ⅱ	2	2	
	医療理工学系	医療基礎生物学		1	
		医療基礎数学		1	
		医療基礎化学		1	
		医療基礎物理学	1		
		医療電気・電子工学Ⅰ	2		
		医療電気・電子工学Ⅱ		2	
		医療電気・電子工学演習		1	
		医療電気・電子工学実験		1	
		医療統計学	1		
	放射線科学系	放射線医療学概論	2		
		放射線救急医学		1	
放射線文献講読Ⅰ			1		
放射線文献講読Ⅱ			1		
放射線物理学Ⅰ		2			
放射線物理学Ⅱ		2			
放射線物理学演習			1		
放射化学		2			
放射化学演習			1		
放射線生物学		2			
放射線生物学演習		1			
放射線計測学Ⅰ	2				
放射線計測学Ⅱ	1				
放射線計測学演習		1			
放射線計測学実験	1				

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門科目群	診療放射線学	診療放射線学概論	2		77 単位以上
		診療画像検査学概論	2		
		診療放射線学導入実習	1		
		診療放射線学直前実習	1		
		診療放射線学総合臨床実習	2		
	診療画像解析学	診療画像解析学Ⅰ	2		
		診療画像解析学Ⅱ	2		
		診療画像解析学Ⅲ	2		
		診療画像解析学演習		1	
		診療画像解析学実習Ⅰ	1		
		診療画像解析学実習Ⅱ	1		
		診療画像解析学実習Ⅲ	1		
		診療画像解析学特論	2		
		医療放射線機器学Ⅰ	2		
		医療放射線機器学Ⅱ	2		
		医療放射線機器学Ⅲ	2		
		診療画像解剖学Ⅰ	2		
		診療画像解剖学Ⅱ	2		
		診療画像解析学臨床実習Ⅰ	2		
	診療画像解析学臨床実習Ⅱ	2			
	核医学検査技術学	核医学検査技術学Ⅰ	2		
		核医学検査技術学Ⅱ	2		
		核医学機器工学	2		
		放射線防護学	2		
		核医学検査技術学演習		1	
		核医学検査技術学実習	1		
		核医学検査技術学臨床実習	2		
	放射線治療技術学	放射線治療技術学Ⅰ	2		
		放射線治療技術学Ⅱ	2		
		放射線治療機器工学	2		
		粒子線治療技術学	1		
		放射線腫瘍学		2	
		放射線治療技術学演習		1	
放射線治療技術学実習		1			
放射線治療技術学臨床実習		2			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門科目群	医療画像情報学	医療画像情報学Ⅰ	2		(77 単位以上)
		医療画像情報学Ⅱ	2		
		医療画像工学	1		
		放射線情報システム学	2		
		医療画像情報学演習		1	
	放射線医療安全管理学	放射線安全管理学	2		
		診療放射線技師の義務と役割	1		
		放射線関係法規	1		
		放射線感染制御学	2		
		医療安全管理学	2		
	総合領域	放射線科学特別講義		1	
		診療放射線学総合演習	2		
		診療放射線技術と研究	1		
		診療放射線学研究Ⅰ	1		
		診療放射線学研究Ⅱ	4		

医療技術学部 臨床工学科

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
教養科目群	心身の発達	心理学	2		23 単位以上
		教育学		2	
		教育心理学		2	
		健康スポーツ理論		1	
		健康スポーツ実技		1	
	思想及び表現	生命倫理	2		
		哲学		2	
		現代文学		2	
		人間と宗教		2	
		芸術		2	
	人と社会及び自然の理解	法学(日本国憲法含む)		2	
		社会学		2	
		生活文化と医療		2	
		経済学		2	
		地域ボランティア活動論		1	
	自然の原理及び環境	環境学		2	
		基礎生物学	1		
		生物学		1	
		基礎数学	1		
		数学		1	
		基礎化学	1		
		化学		1	
	基礎物理学	基礎物理学	1		
物理学			1		
英語		英語リーディング	1		
		医療英語会話	1		
		医療英語リーディング	1		
	英語会話		1		
初修外国語	英語アカデミックリーディング・ライティング		1		
	中国語		1		
	ロシア語		1		
	ドイツ語		1		
	ポルトガル語		1		
情報	情報処理	1			
	情報リテラシー		1		
	データサイエンス入門		1		
共通基盤科目群	大学の学びの基盤	1			
	大学の学び-専門への誘い-	1			
	多職種理解と連携	1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門基礎科目群	人体の構造及び機能	解剖学Ⅰ	1		44 単位以上
		解剖学Ⅱ	1		
		生理学Ⅰ	1		
		生理学Ⅱ	1		
		生理学演習	1		
		生化学	1		
		基礎医学実習	1		
	臨床工学に必要な医学的基礎	医学概論	1		
		公衆衛生学	2		
		病理学	1		
		病理学演習	1		
		臨床生化学	1		
		臨床免疫学	1		
		薬理学	1		
	臨床工学に必要な理工学的基礎	薬理学演習	1		
		チーム医療概論	1		
		医療関係法規	1		
		臨床心理学		1	
		臨床神経生理学		2	
		臨床検査学総論		2	
		応用数学	2		
	臨床工学に必要な理工学的基礎	医用電気工学Ⅰ	2		
		医用電気工学Ⅱ	2		
医用電気工学実習		1			
医用電子工学		2			
医用電子工学実習		1			
計測工学		2			
医用超音波工学		1			
放射線工学概論		1			
医用機械工学		2			
基礎工学実験		1			
臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	医療情報処理工学	2			
	医療情報処理工学実習	1			
	システム工学	2			
	システム工学演習	1			
	医用情報通信工学	1			

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数	
		必修	選択		
専門科目群	医用生体工学	医用工学概論	1		69 単位以上
		人間工学	2		
		医用レーザー工学		2	
		医用画像処理工学		2	
		生体物性工学	2		
		医用材料工学	2		
	臨床支援技術学及び 医用機器学	医用機器学概論	1		
		医用治療機器学	2		
		医用治療機器学演習	1		
		生体計測装置学	2		
		生体計測装置学演習	1		
		臨床支援技術学	2		
	生体機能代行技術学	臨床支援技術学実習	1		
		生体機能代行技術学(呼吸)	1		
		生体機能代行技術学(循環)	1		
		生体機能代行技術学(代謝)	1		
		呼吸療法技術学	2		
		呼吸療法技術学実習	1		
		体外循環技術学	2		
		体外循環技術学実習	1		
		血液浄化療法技術学	2		
	血液浄化療法技術学実習	1			
	医療安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ	2		
		医用機器安全管理学Ⅱ	2		
		医用機器安全管理学実習	1		
		医療安全工学		2	
		生体計測装置学実習	1		
		医用治療機器学実習	1		
		臨床工学関係法規	1		
	関連臨床医学	臨床医学総論Ⅰ	2		
		臨床医学総論Ⅱ	2		
		臨床医学総論Ⅲ	2		
臨床医学総論Ⅳ		2			
救急救命医学			2		
臨床実習	総合実習	1			
	臨床実習	7			
臨床工学の 統合と探求	臨床工学総合演習Ⅰ	2			
	臨床工学総合演習Ⅱ	2			
	臨床工学英文講読		2		
	臨床工学研究セミナー	2			
	卒業研究	4			





# 校舎案内

## V

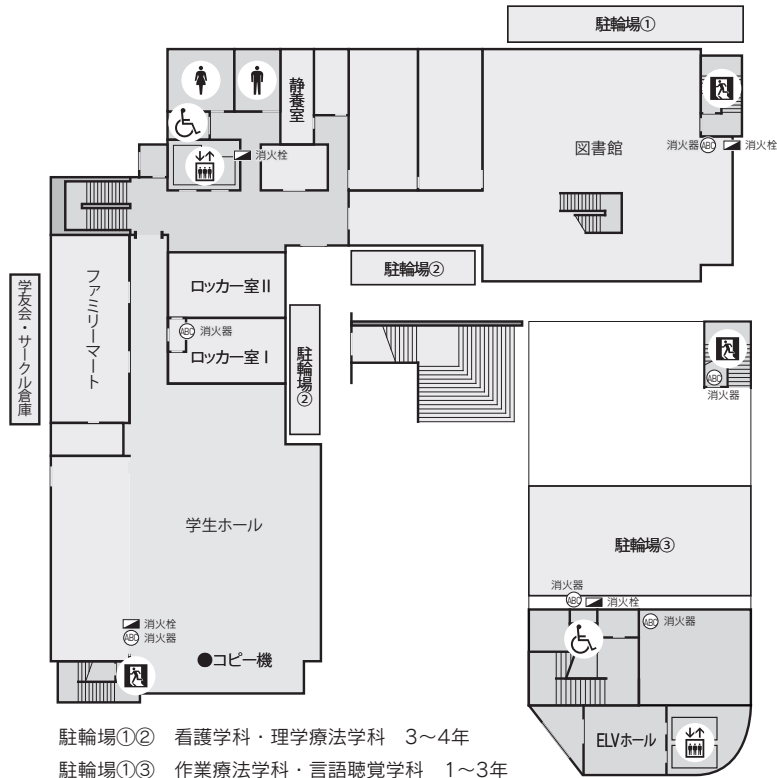
- 1号館 【看護学科・理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科・  
図書館棟】
- 2号館 【検査技術学科棟】
- 3号館 【体育棟】
- 4号館 【放射線学科・臨床工学科棟】
- 5号館 【学生支援センター・健康管理センター・国際交流センター・  
地域連携センター・看護実践教育センター・学生専用マンション】

# V 校舎案内

## 1号館 【看護学科・理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科・図書館棟】

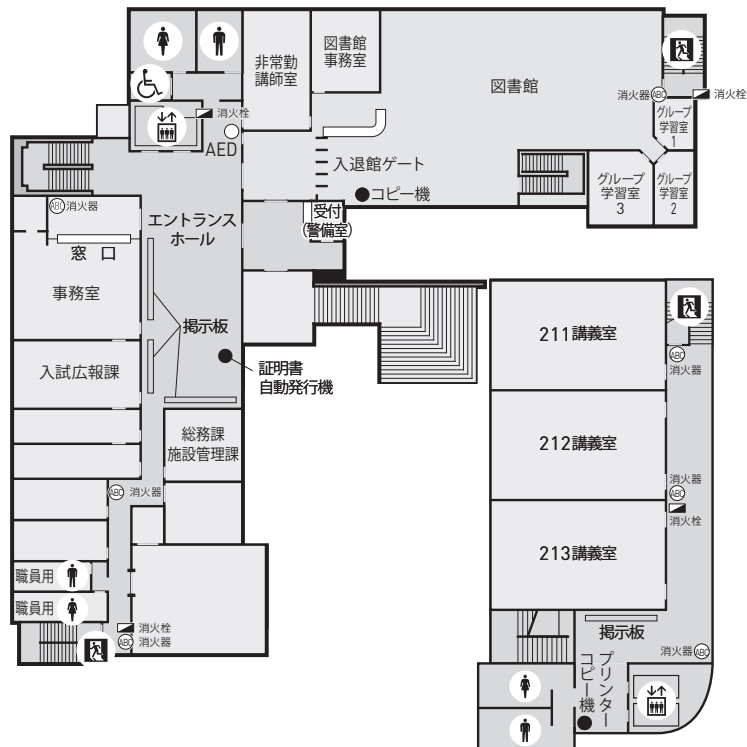
1号館

1F

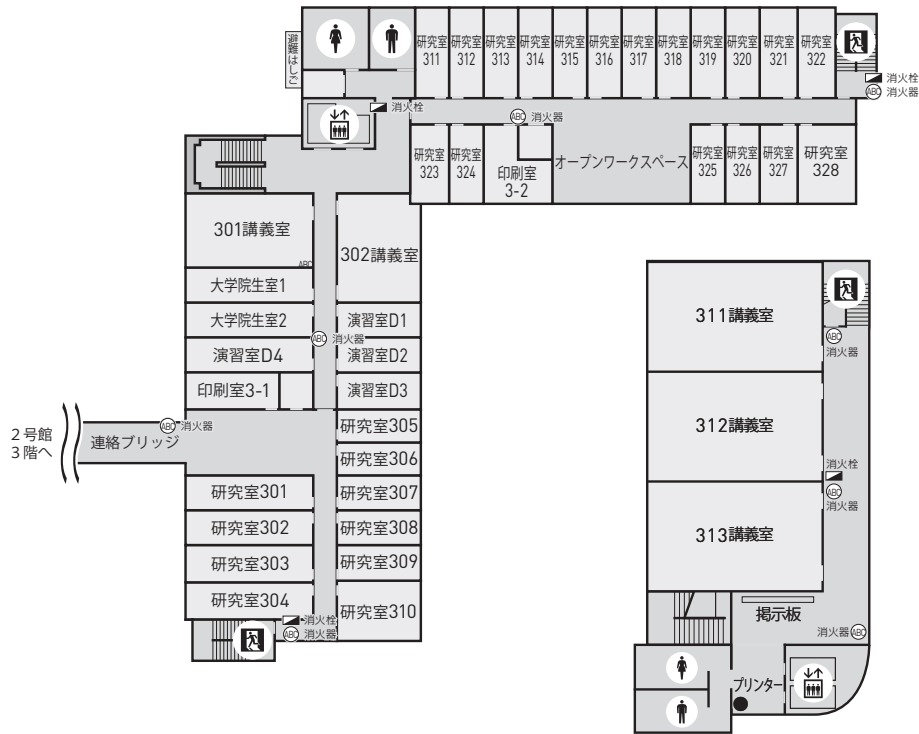


1号館

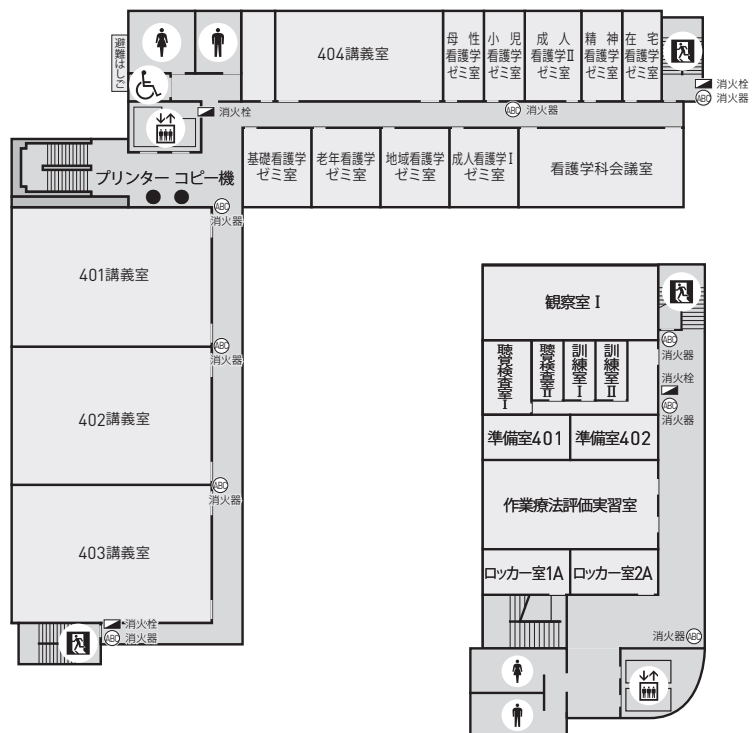
2F



1号館  
3F

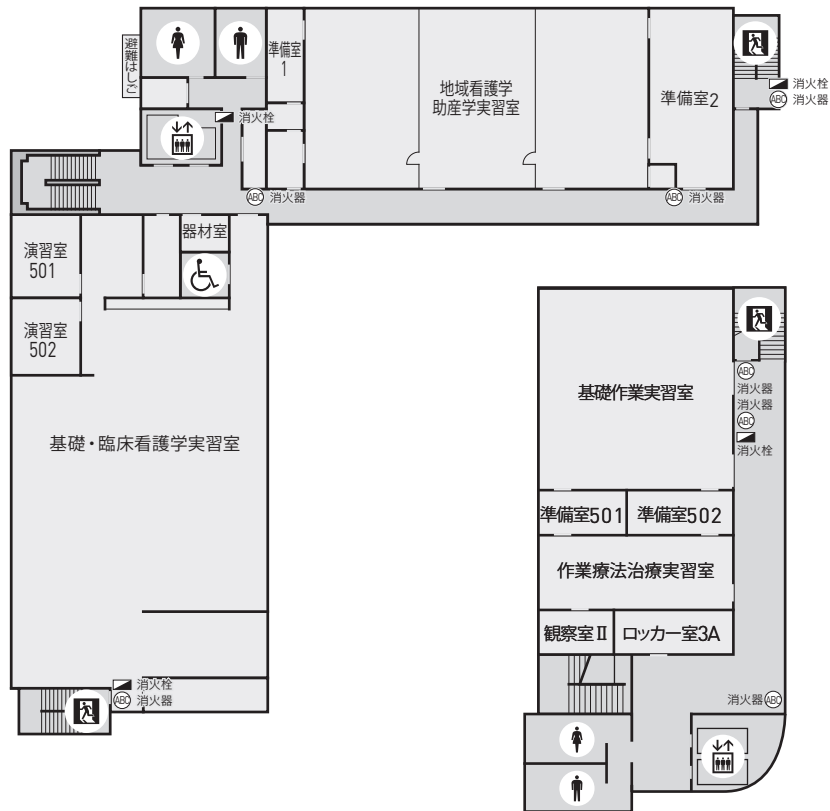


1号館  
4F



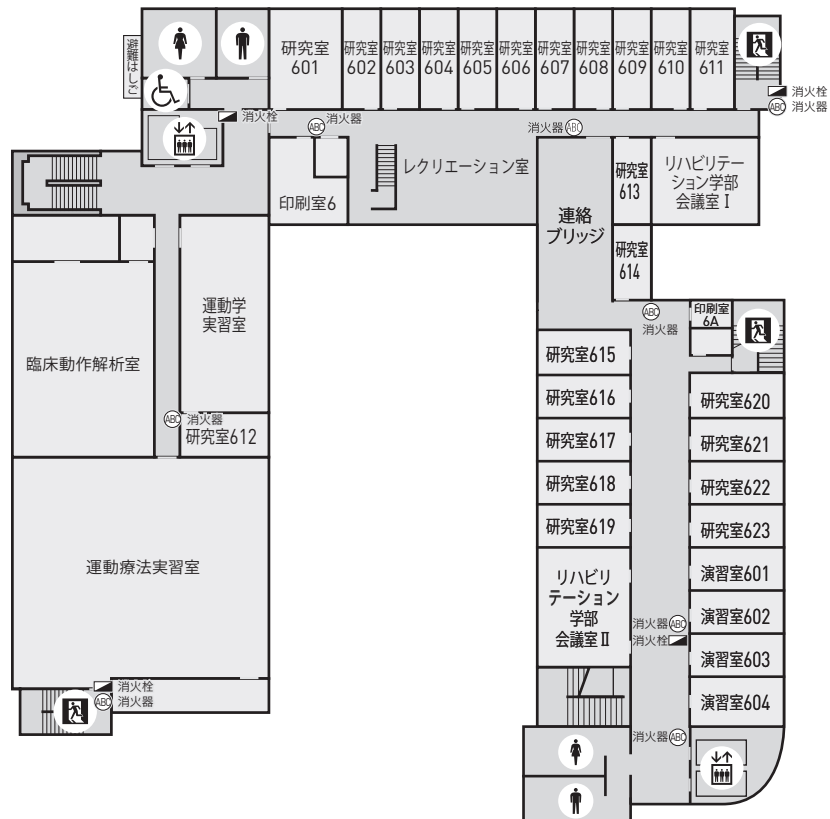
1号館

5F

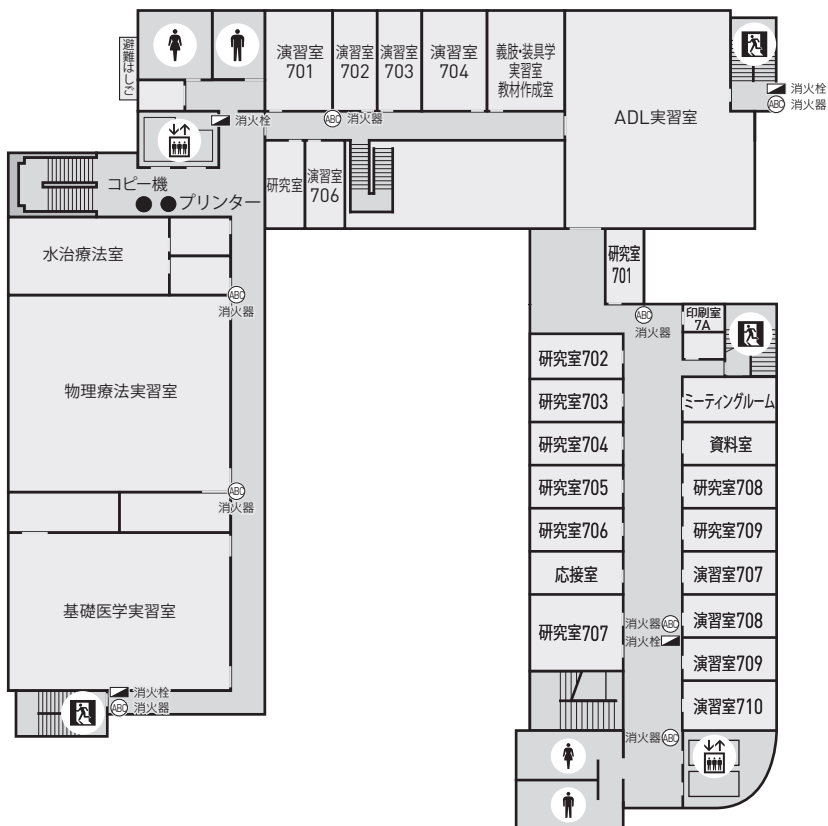


1号館

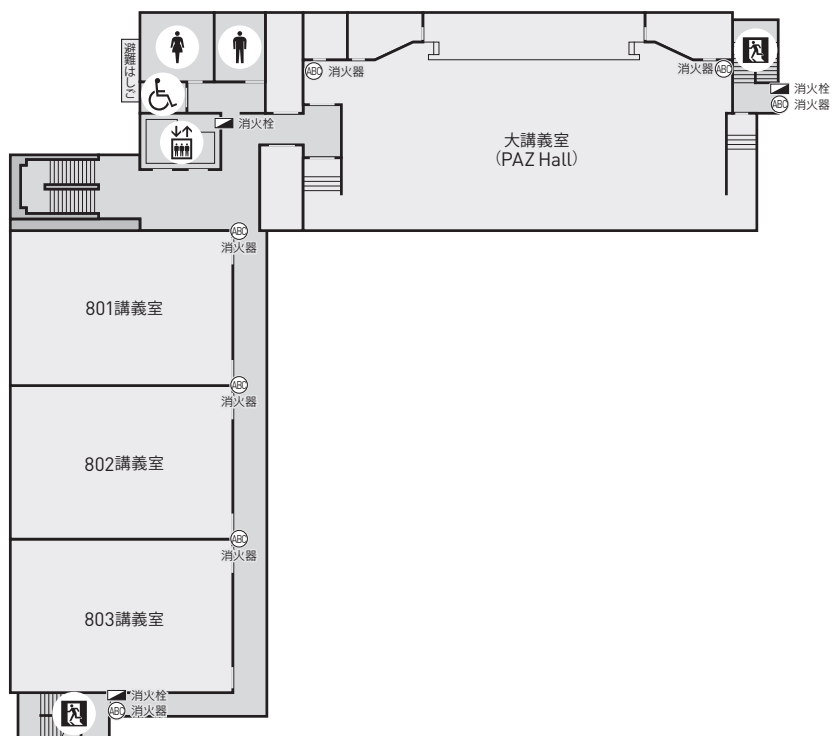
6F



1号館  
7F



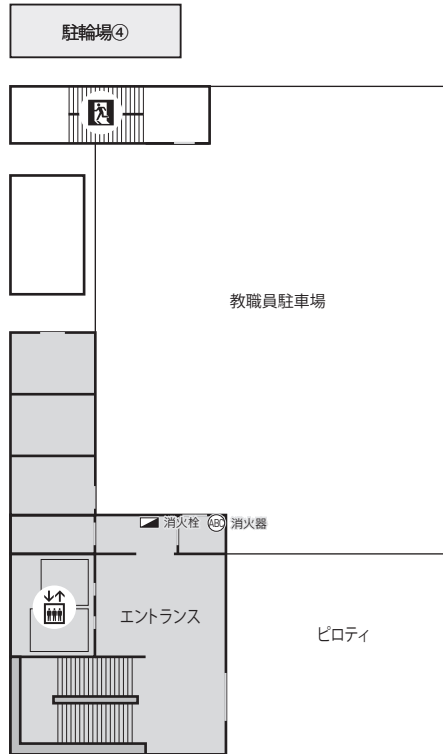
1号館  
8F



## 2号館 【検査技術学科棟】

2号館

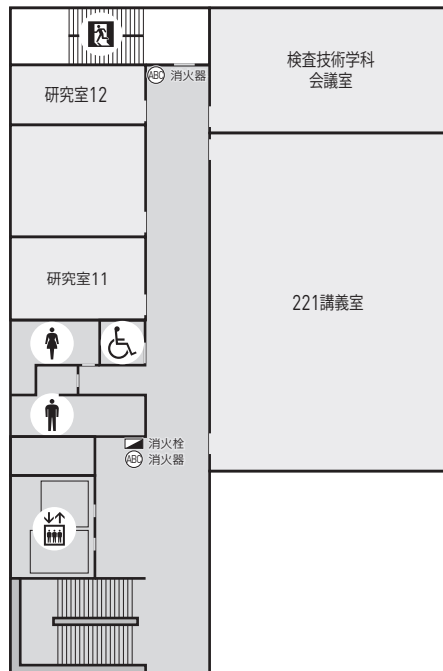
1F



駐輪場④ 検査技術学科 1年

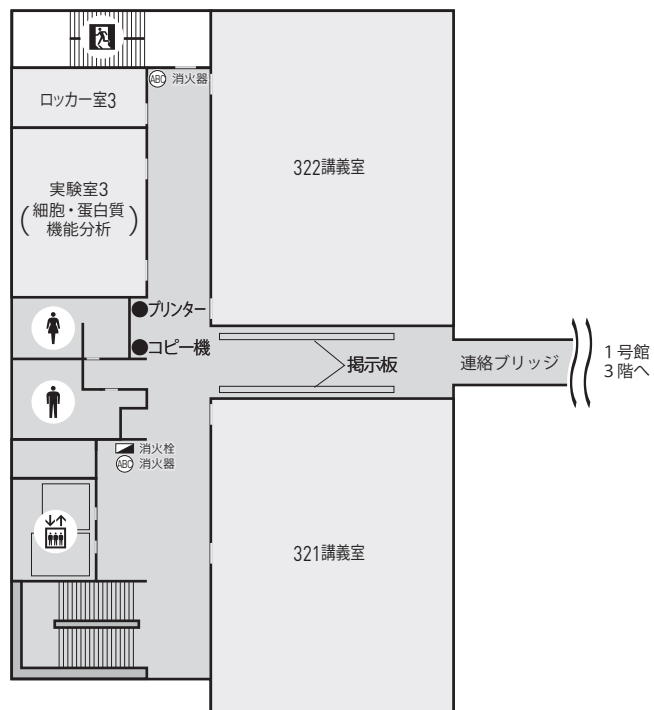
2号館

2F

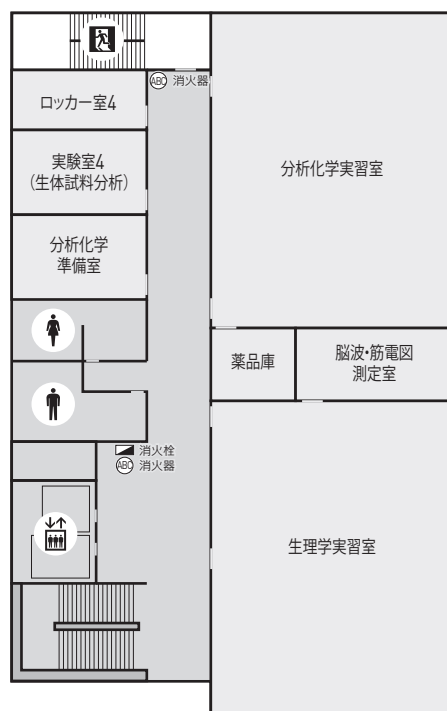




2号館  
3F

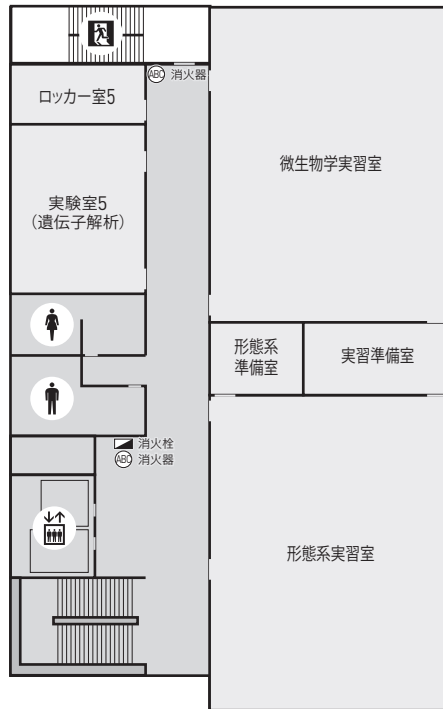


2号館  
4F



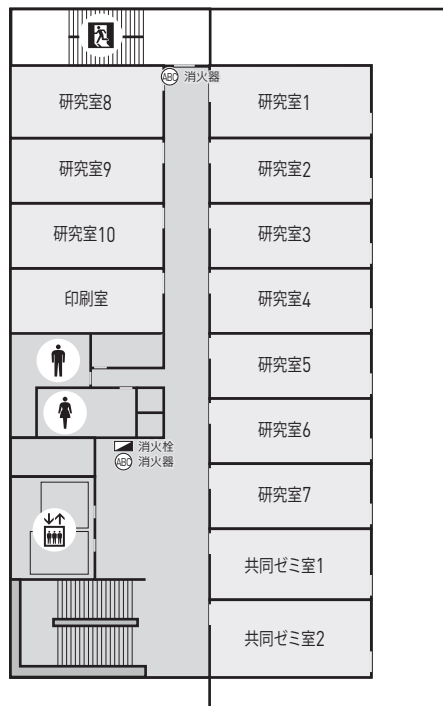
2号館

5F



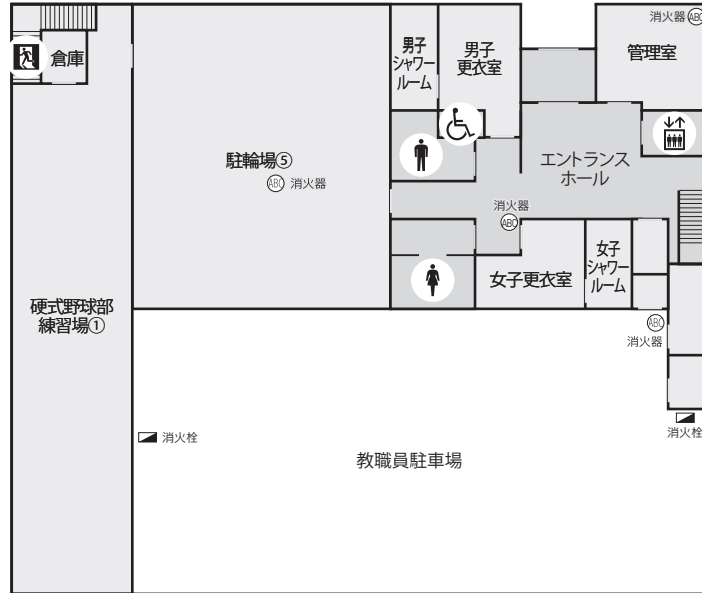
2号館

6F



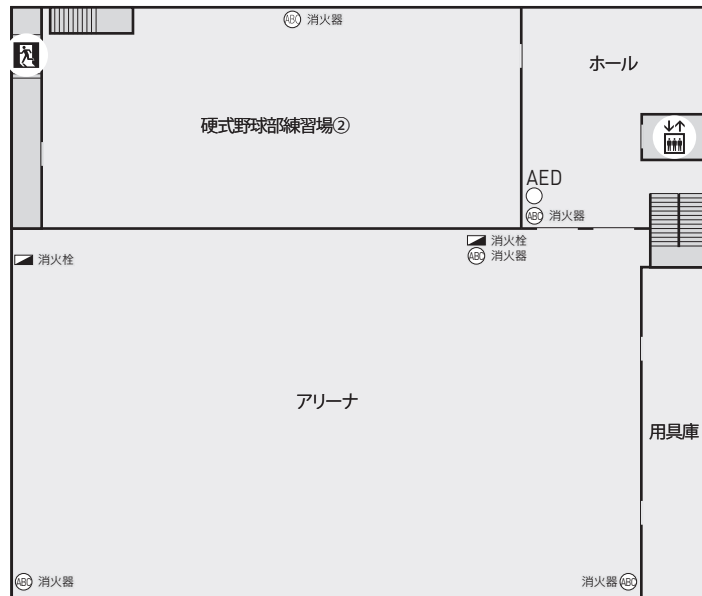
# 3号館 【体育棟】

3号館  
〔体育棟〕  
1F

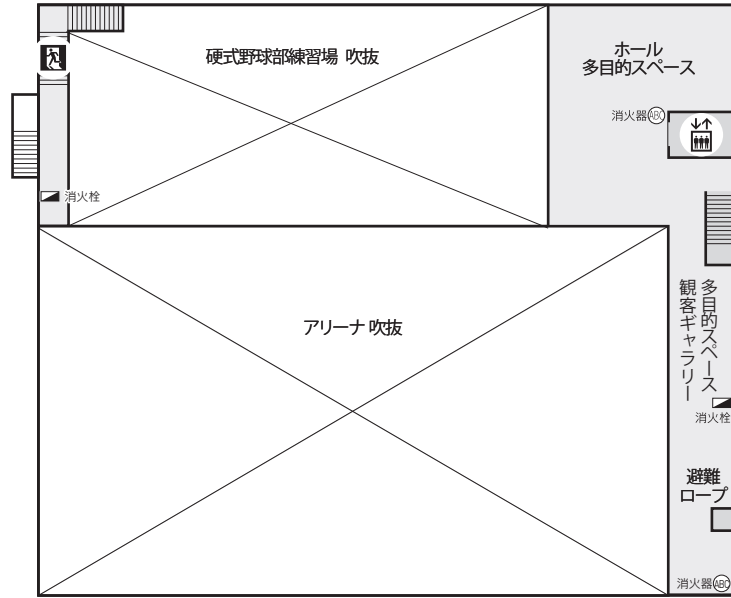


駐輪場⑤ 看護学科・理学療法学科 1～2年  
検査技術学科 2～4年

3号館  
〔体育棟〕  
2F



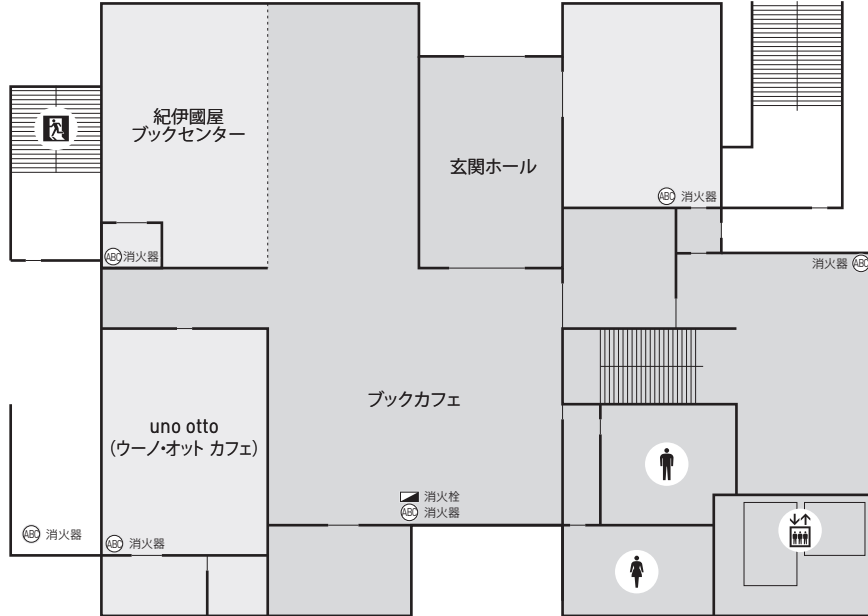
3号館  
〔体育棟〕  
3F



# 4号館 【放射線学科・臨床工学科棟】

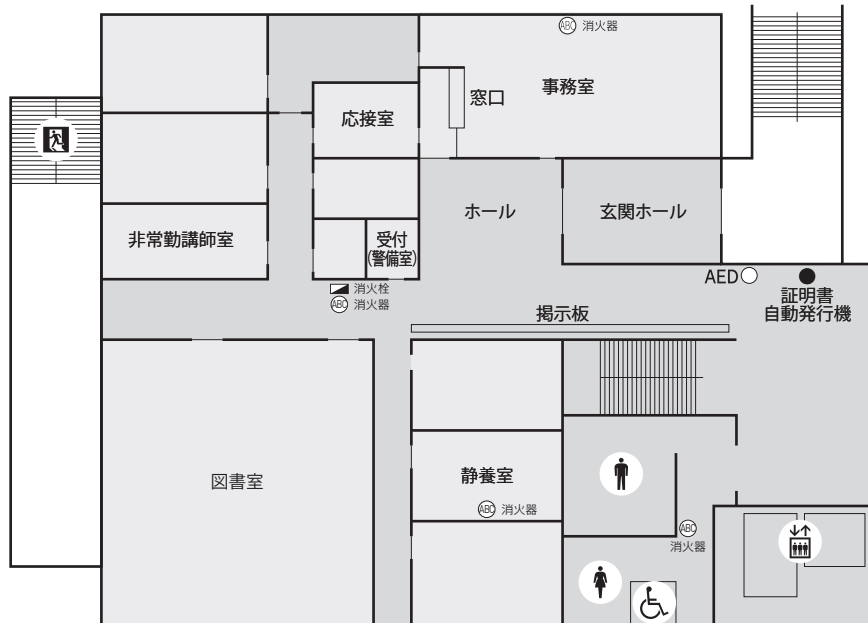
4号館

1F



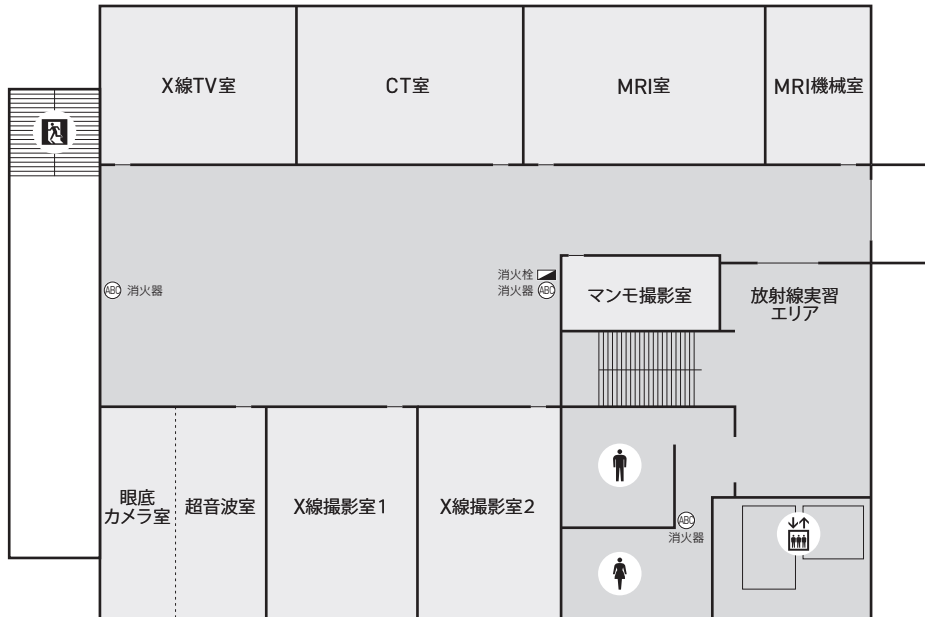
4号館

2F



4号館

3F

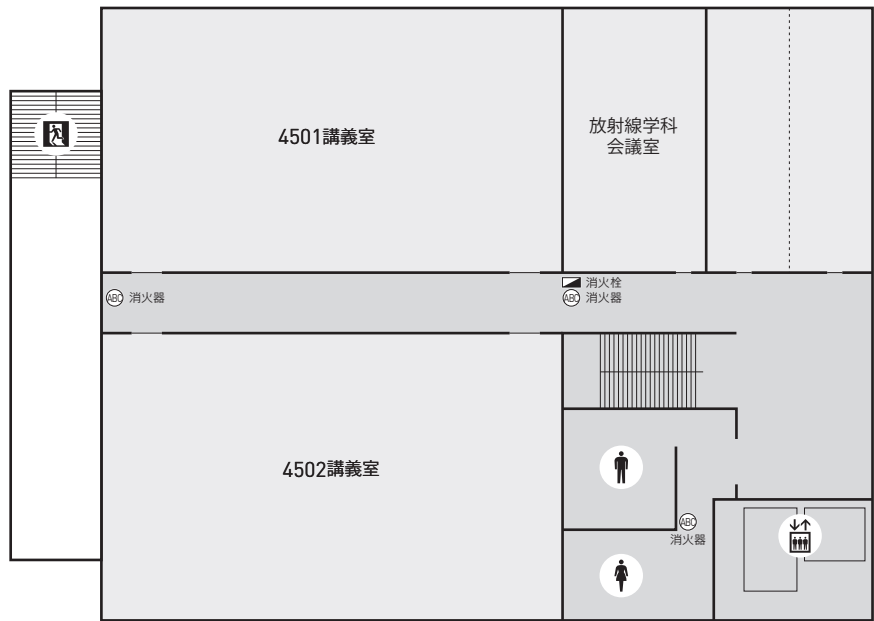


4号館

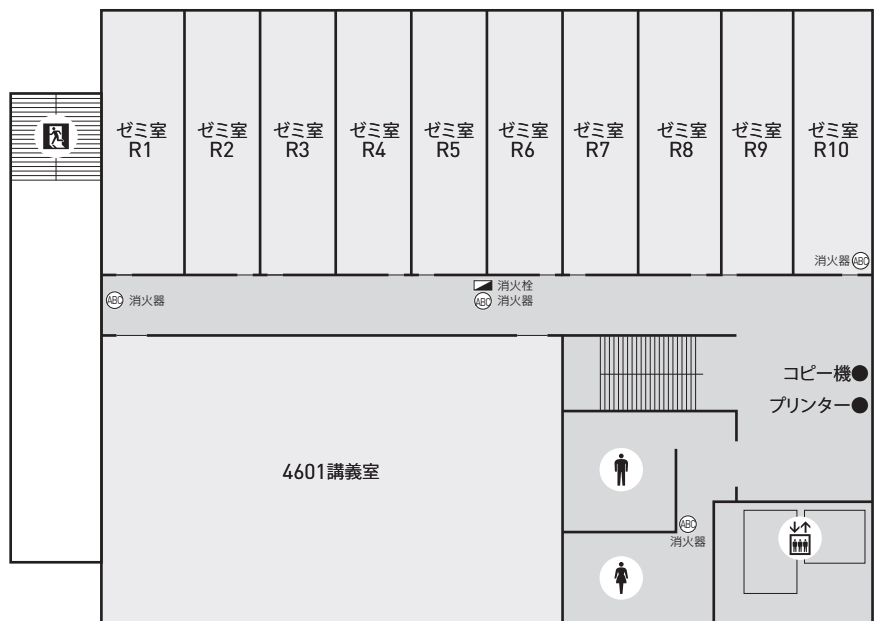
4F



4号館  
5F

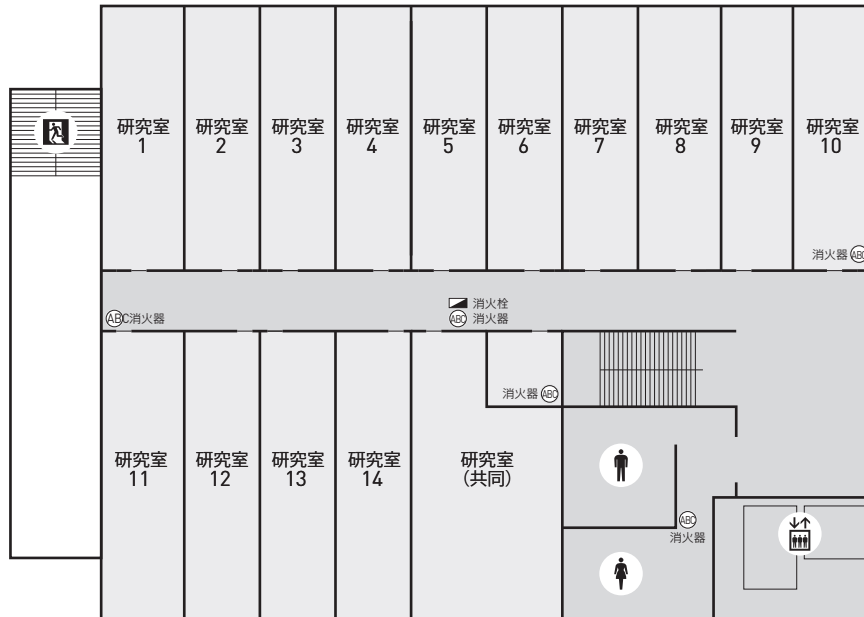


4号館  
6F



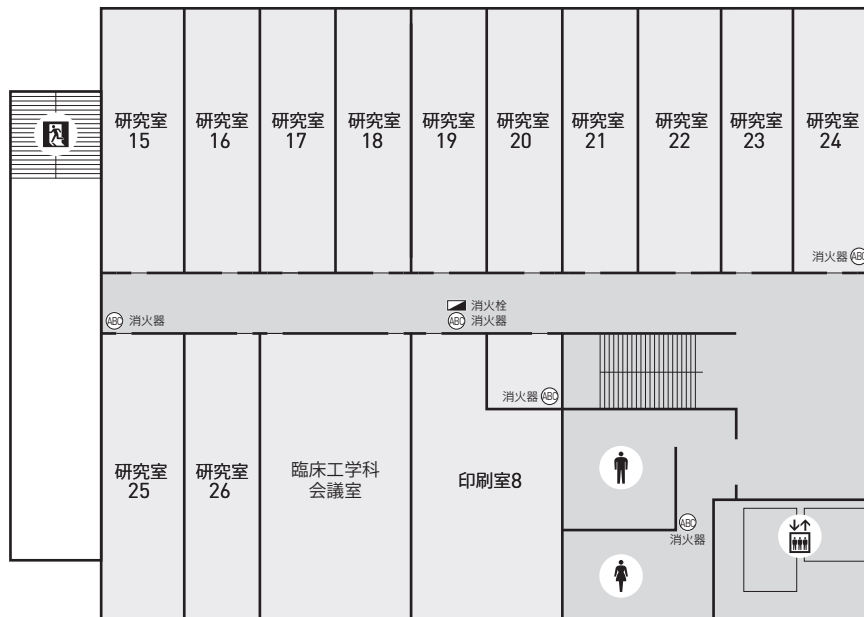
4号館

7F



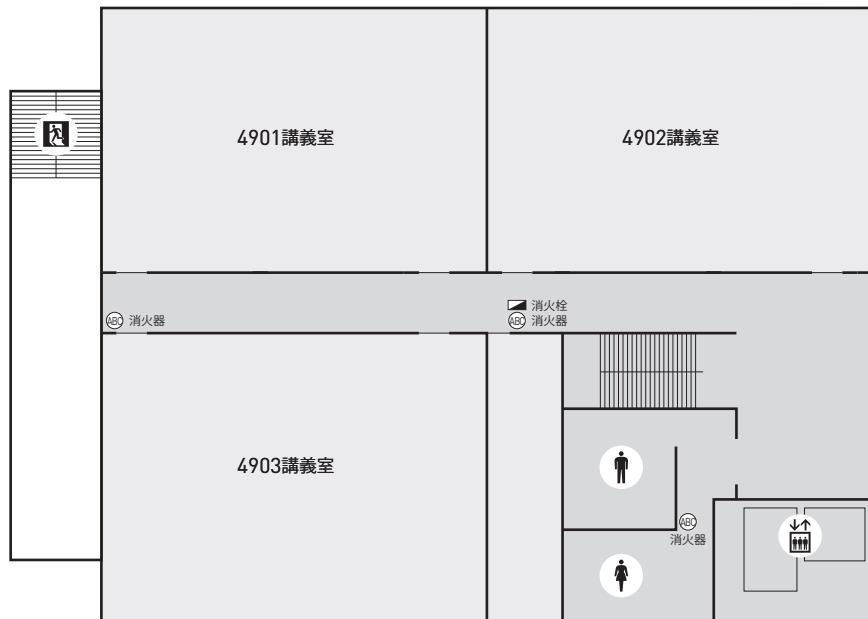
4号館

8F

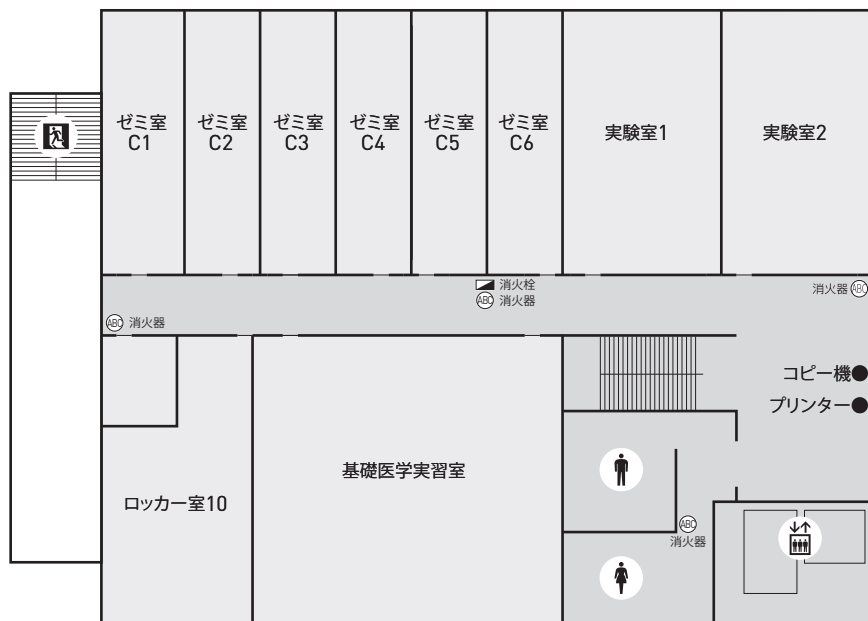




4号館  
9F

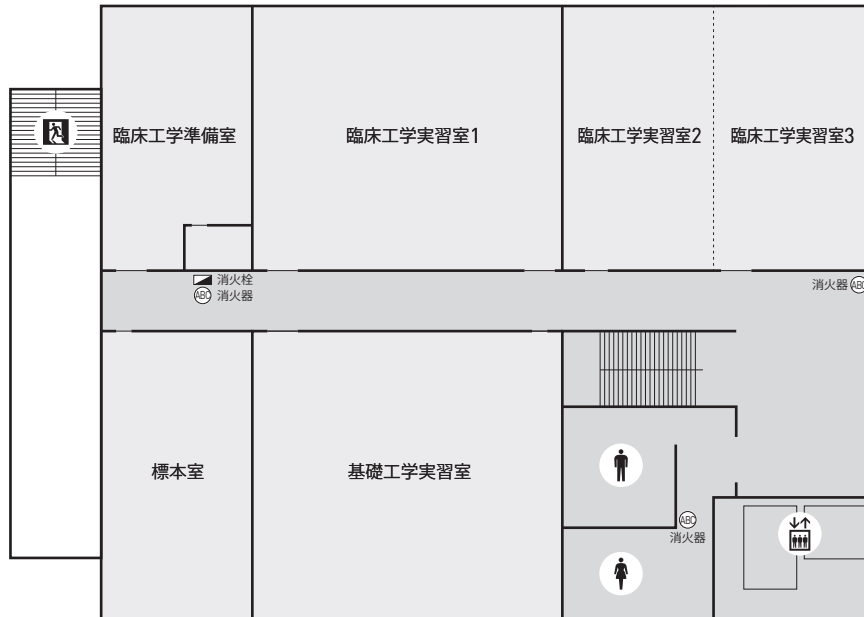


4号館  
10F



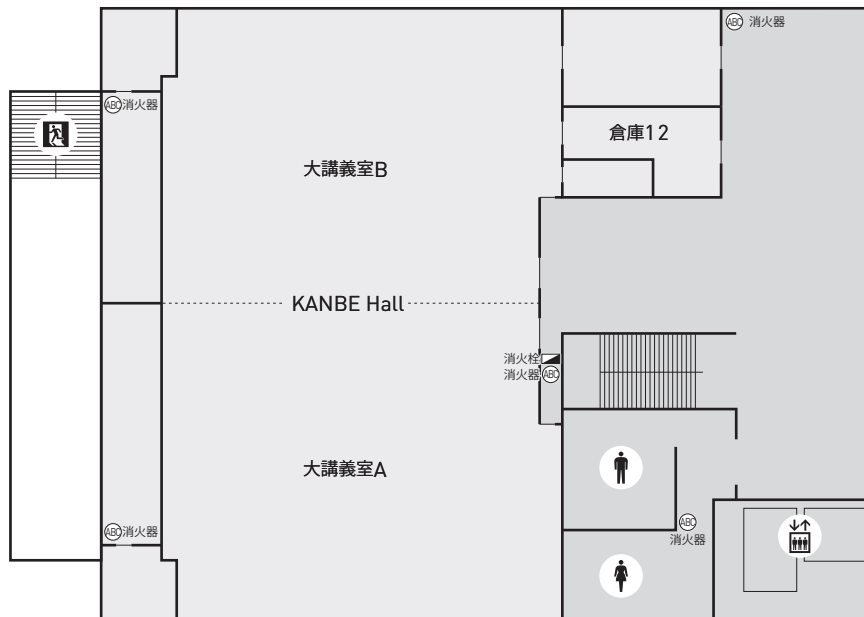
4号館

11F



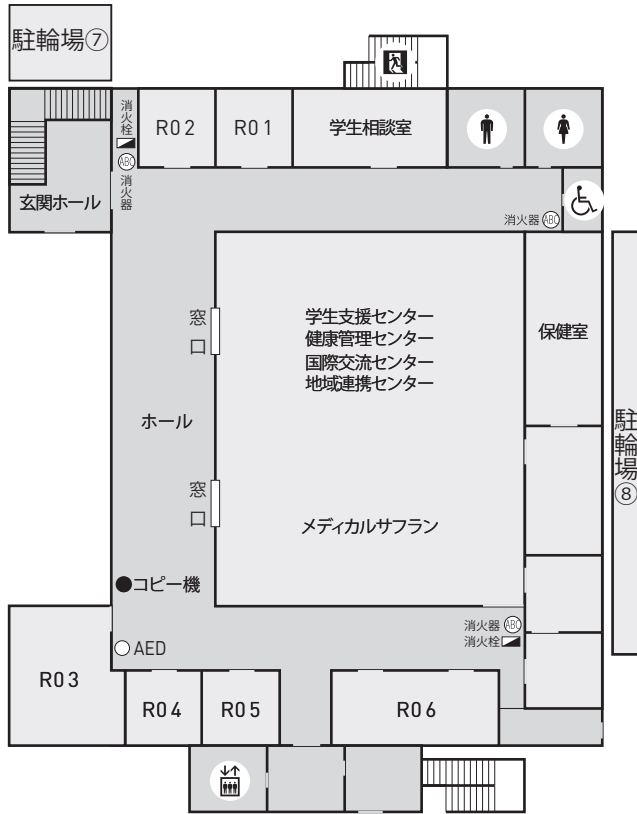
4号館

12F



**5号館** 【学生支援センター・健康管理センター・国際交流センター・地域連携センター・看護実践教育センター・学生専用マンション】

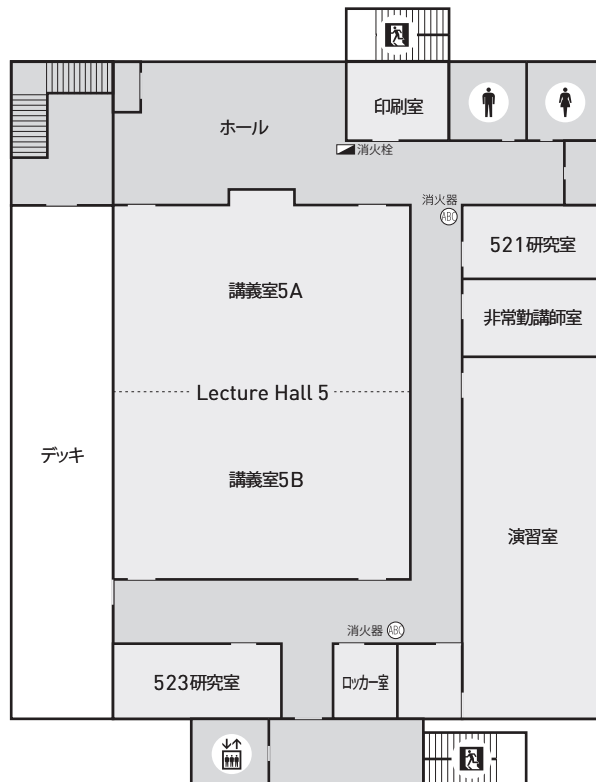
5号館  
1F



駐輪場⑦  
5号館利用者

駐輪場⑧  
学生専用マンション入居者

5号館  
2F



5号館  
3~5F

学生専用マンション

# 群馬パース大学校歌

わ か た け は こ こ に つ ど え り め—  
 ぶ き さ え あ か る き お か よ さ  
 く ら さ く こ か げ に い こ い さ—  
 み ど り の く さ に か た れ ば パ  
 — — ス の パ — — ス の あ い  
 と き ぼ う

## 校歌

作詞 神戸照子  
 作曲 入野義朗  
 編曲 峰岸小織

- 一、若竹はここにつどえり  
 芽吹きさえ明るき丘よ  
 桜咲くこかげにいこい  
 さみどりの草に語れば  
 パースのパースの  
 愛と希望
- 二、若竹はここにつどえり  
 清らなる平和の空に  
 みなぎれる ひるの光よ  
 わきいづる汗のよるこび  
 パースのパースの  
 愛と信頼
- 三、若竹はここにつどえり  
 照る月のさやかにすめば  
 友としてかたくちかいぬ  
 いつの日かの心のみり  
 パースのパースの  
 愛とまこと
- 四、若竹はここにつどえり  
 雪のごと生命白かれ  
 ひとすじのみちにめざめぬ  
 とこしえの美しきあゆみ  
 パースのパースの  
 愛と祈り

## 讃歌

作詞 大橋住江  
 作曲 杉本龍之

- 一、もえる緑の草原に  
 わたりくるひかりの風よ  
 天使のつばさのように  
 至福の時をさそう  
 響き合う 響き合う  
 いのちの滴 いのちの滴  
 愛と叡智と  
 ささげるこころを湛え
- 二、星降る夜  
 世界に聴きいる  
 はるかな星座との対話のように  
 わが学舎の  
 やさしい窓辺に  
 福祉の福祉の  
 未来を担う 未来を担う  
 愛と叡智と  
 ささげるこころを湛え
- 三、しずかに夜が明ける  
 山々は悠々と姿をあらわし  
 讃歌を いのちの讃歌を  
 ひびかせる ひびかせる  
 わが青春の わが青春の  
 ひかりの泉 ひかりの泉  
 愛と叡智と  
 ささげるこころを湛え
- 夢みる 愛のために  
 夢みる 世界のために  
 夢みる 愛の世界のために

# パースの夢

作詞 群馬パース大学創設者 樋口 建介

- 一、 出会いは 人生 出会いは 眼醒  
仲間とともに 心はひとつ  
すべてを乗り越え パースは進む  
胸に灯した 熱きロマン  
真っ赤な夢は 夢は ZERO  
美しく輝き 未来を照らす
- 二、 出会いは 喜び 出会いは 感謝  
やさしいおもい つつましく  
羽ばたく蝶々 パースは平和  
楽しさあふれる 癒しを与え  
真っ赤な夢は 夢は SPERO  
人に向き合い 人を育てる
- 三、 出会いは 情熱 出会いは 感動  
豊かな学びは わざを磨き  
みんなの力 パースはゆるぎなく  
元気を生み出す みんなの笑顔  
真っ赤な夢は 夢は SPERO  
すなおとまことの 愛あふれ
- 四、 出会いは 愛 出会いは 勇気  
生命の限り 希望あり  
美しい心 パースは永久に  
夢と愛とは 明日への希望  
真っ赤な夢は 夢は P.A.Z  
命の限り 走り続けよう

2023年度 学生便覧  
2023年4月1日 発行

群馬パース大学

〒370-0006  
群馬県高崎市問屋町1-7-1

